

学 生 便 覧

2025 年度

新島学園短期大学

＜教育のモットー＞

Ἡ ΑΛΗΘΕΙΑ	真 理
ΔΙΚΑΙΟΣΥΝΗ	正 義
ΕΙΡΗΝΗ	平 和

…立って、真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして
着け、平和の福音を告げる準備を履物としなさい。

なおその上に、信仰を盾として取りなさい。…

エフェソの信徒への手紙第6章第14節～第16節

(『新約聖書:聖書協会共同訳』)

本学は、京都に同志社を創立した新島襄の精神を受け継いで、70年以上の歴史を歩んできた新島学園を母体とし、1983年に開学した短期大学です。

冒頭に掲げた教育モットーは、開学の際本学が、教職員・学生の生き生きとした人格的交流にあたって、お互いの胸に刻んでゆきたいという願いを込めて制定されたものです。

実りある1年を

学 長

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今、大学という新しい環境に馴染んでいけるかどうか、少々心細さを感じているかもしれません。また、2年次に進まれた皆さんは、進路決定に向けての活動が本格化する時期を迎え、不安な気持ちを抱いているかもしれません。新島学園短期大学の教職員は、そんな皆さんの学生生活を様々な側面から支え、実りある1年を過ごすことができるように、お手伝いしたいと考えています。

この「学生便覧」には、本学での生活に関わるさまざまな情報が掲載されています。学生として守るべき規則も収録されていますが、充実した学生生活を送るために必要な、最低限のルールです。それらを踏まえた上で、どうぞ積極的に学習や活動に取り組んでください。履修や学生生活に関する手引きをよく読み、もし不明な点があれば、遠慮なく教職員に尋ねてください。学校行事やキリスト教関連行事、クラブ等のことも知り、多くの方が参加してくれることを期待しています。

この1年が、皆さんにとって楽しく得がたい経験に満ちた時となり、それぞれの目標に向けて成果が得られる時となることを祈念します。

新島学園短期大学 3つのポリシー

新島学園短期大学の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

新島学園短期大学は、学則第1条に定める建学の精神であるキリスト教的教育の特色を発揮し、真理と平和を愛し、社会に有用な人材を養成することを目的としています。この目的の具体的な像として以下に掲げた資質能力を総合的に身につけた学生に対して学位を授与するものとします。

知識・技能

- 1 建学の精神や教育のモットーを理解している。
- 2 社会人に必要な教養等を有している。
- 3 専門領域の知識・技能を身につけ、地域社会において実践的に生かすことができる。
- 4 選択的な学びによる専門的な知識・技能を身につけている。

思考力・判断力・表現力

- 5 他者の意見や価値観を尊重しつつ、自らの考えを構築し表現する思考力・判断力・表現力を有している。
- 6 専門領域の知識・技能を踏まえて、深く考え、行動し、地域社会に貢献することができる。

主体性・多様性・協働性

- 7 多様な人々の価値観を尊重しつつ、他者と協働することができる。
- 8 専門領域の知識・技能を踏まえて、主体性を持って行動することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

新島学園短期大学が掲げているディプロマポリシーを実現するために、必修科目・選択必修科目、選択科目、幼免必修科目及び留学生限定科目を体系的に編成しています。教育内容について以下のように定めます。

教育内容

- 1 キリスト教についての理解が得られるための授業科目や活動を配置している。
- 2 学びの基盤となる知識・技能を身につけるための授業科目を配置している。
- 3 専門的な知識・技能を身につけるための授業科目を配置している。
- 4 自らのキャリアデザインに合った学びができるように体系的に授業科目を配置している。
- 5 自ら考え物事を判断し、表現する力を身につけるための授業科目を配置している。
- 6 地域社会に貢献する力を身につけるための授業科目を配置している。
- 7 他者と協働する力を身につけるための授業科目を配置している。
- 8 主体性を身につけるための授業科目を配置している。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

アドミッションポリシーとは、本学の建学の精神に基づき、本学が求める人を積極的に受け入れるための方針です。この方針に基づき、次のような人を求めます。

知識・技能

- 1 学びに対して意欲を持ち、基礎的な知識・技能を身につけている。

思考力・判断力・表現力

2 基礎的な思考力・判断力を持ち、自らの考えを表現できる。

主体性・多様性・協働性

3 他者との関係に配慮し、主体的に協働する意欲がある。

キャリアデザイン学科の3つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

キャリアデザイン学科は、建学の精神のもと、幅広い知識やスキルを身につけ、自らの使命を真摯に探求し、信念に基づく行動を行い、他者の思想や価値観を尊重したうえで、地域に貢献できる学生に対して学位を授与します。

知識・理解

- 1 建学の精神や教育のモットーを理解している。
- 2 社会人に必要な教養・知識・技能を身につけている。
- 3 [4年制大学進学希望者の場合] 4年制大学の学修に必要な知識・技能を身につけている。
- 4 社会に貢献するための資格を取得している。
- 5 選択的な学びによる専門的な知識・技能を身につけている。

思考力・判断力・表現力

- 6 知識・技能を生かし、深く考察し、適切に判断することができる。
- 7 批判的思考力を養い、自らの使命を探求し専門的な学びを深めることができる。
- 8 必要な情報を収集・分析し、それらを適切に表現することができる。
- 9 信念に基づく行動をし、地域社会に貢献することができる。

主体性・多様性・協働性

- 10 知識・技能を踏まえて、自らのキャリアを主体的に設計することができる。
- 11 多様な人々と共生するために、コミュニケーション力と協働の姿勢を身につけている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科のディプロマポリシーを実現し、自らの使命を真摯に探求し、信念に基づく行動を行い、他者の思想や価値観を尊重する社会に有意な人材を育成するために、以下の方針に基づき教育課程を編成しています。

知識・技能

- 1 本学の教育の根幹であるキリスト教についての基本的な理解が得られるための授業科目や活動を配置している。
- 2 専門的な学びの基盤となる知識・技能・能力を身につけるために「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を配置している。
- 3 社会人に必要な日本語力や情報スキル、教養を修得するための科目を配置している。
- 4 言語や文化を英語で学ぶ英語イマージョンの科目を含む実践的な英語コミュニケーション力を身につける英語の科目グループを配置している。
- 5 歴史、文学、文化、日本語、韓国語などの専門的な知識・技能を身につける人文科学の科目グループを設置している。
- 6 政治、経済、法律、経営、キャリアなどの専門的な知識・技能を身につける社会科学の科目グループを設置している。
- 7 情報などの専門的知識を身につける自然科学の科目グループを設置している。

- 8 「食」に関する専門的知識を身につけるフードの科目グループを設置している。
- 9 将来の進路に必要とされる資格の科目グループを配置している。
- 10 キャリアデザイン専攻ではコース制を採用し、自らキャリアデザインに合った学びができるように体系的に授業科目を配置している。また、フードビジネス専攻では「食」の現場から学ぶためにフィールドスタディの授業科目を配置している。

思考力・判断力

- 11 各自の興味・関心や課題を探究することができるように「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を配置している。
- 12 地域社会に貢献する力を身につけるための授業科目を配置している。

主体性・多様性・協働性

- 13 自らのキャリアを主体的に設計するのに必要な授業科目を配置している。
- 14 コミュニケーション力と協働の姿勢を身につけるのに必要な授業科目を配置している。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

キャリアデザイン学科は、建学の理念に基づき、自らの使命を真摯に探求し、信念に基づく行動を行い、他者の思想や価値観を尊重する社会に有意な人材を育成することが目的です。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

知識・技能

- 1 高校で学習した知識・技能を具体的に示すことができる。
- 2 自分の将来に必要とされる知識・技能を修得する意欲がある。

思考力・判断力・表現力

- 3 幅広い学びに関心を持ち、学びをもとに自らの適性を考えることができる。
- 4 高校で学習した内容をもとに、自らの意見を明確に表現できる。

主体性・多様性・協働性

- 5 多様な人と接しながら、自らの成長を図るために主体的に協働し、学習活動等に取り組む意欲がある。

コミュニティ子ども学科の3つのポリシー

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

コミュニティ子ども学科は、建学の精神や教育のモットーに基づき、保育者に必要とされる知識・技能を修得し、地域社会に貢献しうる学生に対して学位を授与します。

知識・技能

- 1 建学の精神や教育のモットーを理解している。
- 2 社会人に必要な教養・知識・技能・マナーを身につけている。
- 3 保育の専門的な知識・技能を修得し、保育を実践することができる。
- 4 地域の課題を理解し、知識・技能を活かして解決に貢献することができる。
- 5 選択的な学びによる専門的な知識・技能を修得している。

思考力・判断力・表現力

- 6 保育の課題について考え、知識・技能をもとに判断し、表現することができる。

主体性・多様性・協働性

- 7 責任感や使命感を持ち、保育者として実践していこうとする主体性がある。

- 8 保育者に必要なコミュニケーション力を身につけ、他者と協働することができる。
- 9 社会における自分の役割を自覚し、地域社会に貢献することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

保育者として必要とされる知識やスキルを、体系的に身につけられるように学修内容を提供します。また、コース制を採用し、自らの興味・関心に応じた選択的な学び（子どもの文化・環境、福祉・心理、音楽・表現）を提供します。

知識・技能

- 1 本学の教育の根幹であるキリスト教についての基本的な理解が得られるための授業科目や活動を配置している。
- 2 専門的な学びの基盤となる知識・技能・能力を身につけるために、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」を配置している。
- 3 社会人として必要な日本語力や情報スキル、教養、マナーを身につけるために、「教養科目」を配置している。
- 4 保育の専門的な知識・技能を身につけられるように専門科目に「保育の本質・目的」、「保育の対象の理解」、「保育の内容・方法」、「実習」、「総合演習」を構成している。
- 5 地域に貢献する人材の育成を目指した教育内容として、1年次に「地域と子ども」、2年次に「子育て支援」を配置している。
- 6 保育者として必要とされる技能やスキルを身につけられるように授業科目だけではなく課外活動も含んだ特色ある取り組みを実施している。
- 7 コース制により自らの興味・関心に応じた専門的な学びを配置している。

思考力・判断力

- 8 自らの課題や興味・関心をもとに探求することができるように、「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」を配置している。

主体性・多様性・協働性

- 9 地域社会に貢献する力を身につけるための授業科目を配置している。
- 10 他者と協働する力を身につけるための授業科目を配置している。
- 11 主体性を身につけるための授業科目を配置している。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

コミュニティ子ども学科は、建学の理念に基づき、地域社会に貢献し得る保育士及び幼稚園教諭を養成することを目的とします。そのために、次に示す学力の三要素を有している人を求めます。

知識・技能

- 1 保育の知識を学ぶために必要な高校卒業程度の基礎的な学びを有している。
- 2 保育実践を学ぶための基礎となる学力・技能を有している。

思考力・判断力・表現力

- 3 保育に興味を持ち、基礎的な思考力・判断力を有している。
- 4 他者に伝えるためのコミュニケーション力・表現力を有している。

主体性・多様性・協働性

- 5 保育者として子どもと関わることに對して、興味と意義を有している。
- 6 自らの成長を図るために主体的に学ぶ意欲を有している。
- 7 地域社会に貢献するために、多様な価値観を尊重し、他者と協働して学ぶ意欲を有している。

目 次

I. 2025年度学年暦	… 9
II. 新島学園の沿革と概要	… 13
III. 学則	… 17
IV. キリスト教主義教育	… 27
V. 履修の手引き	… 28
1. 各学科の概要	… 29
2. 教育課程（カリキュラム）	… 41
3. 履修登録手続きについて	… 62
4. 長期履修学生制度について	… 63
5. 短期留学・スタディツアーについて	… 63
6. 転学科について	… 63
VI. 学生生活の手引き	… 64
1. 日常生活	… 65
2. 健康管理	… 67
3. 生活設計	… 68
4. キャンパスライフ支援	… 70
5. 課外活動	… 71
6. 学費	… 72
7. 学籍	… 74
8. 諸手続	… 74
9. 事務取扱時間	… 77
10. 正門、西門開門時間	… 77
VII. 卒業後の進路	… 78
VIII. 附属図書館利用の手引き	… 81
IX. 教職員組織	… 83
X. 学内配置図	… 86
XI. 各種規程集	… 93
XII. ソーシャルメディアポリシー	… 106
XIII. 生成AIガイドライン	… 109

CD＝キャリアデザイン学科／CC＝コミュニティ子ども学科
* 丸数字は、授業回数。CC学科は左の丸数字が1年、右の丸数字が2年。

4 月			5 月			6 月		
	CD	CC		CD	CC		CD	CC
1 火			1 木	④	④ ④	1 日	オープンキャンパス	オープンキャンパス
2 水	入学式/オリエンテーション	入学式/オリエンテーション	2 金	④	④ ⑤	2 月	⑧	⑧
3 木	履修ガイダンス、 健康診断等	履修ガイダンス、 健康診断等 1年スタートアップセミナー 2年授業開始 ①	3 土	憲法記念日	憲法記念日	3 火	⑧	⑧
4 金			4 日	みどりの日	みどりの日	4 水	⑨	⑨
5 土			5 月	学園創立記念日 こどもの日	学園創立記念日 こどもの日	5 木	⑨	⑨
6 日			6 火	振替休日	振替休日	6 金	⑧	⑧ 2年教育実習Ⅱ終了
7 月	① 授業開始	① ① 1年授業開始	7 水	⑤	⑤ ⑤	7 土		
8 火	① 始業チャペル	① ① 始業チャペル	8 木	⑤	⑤ ⑤	8 日		
9 水	①	① ①	9 金	⑤	⑤ ⑥	9 月	⑨	⑨ ⑦
10 木	①	① ①	10 土			10 火	⑨	⑨ ⑦
11 金	①	① ②	11 日			11 水	⑩	⑩ ⑧
12 土			12 月	⑤	⑤ ⑤	12 木	⑩	⑩ ⑧
13 日			13 火	⑤	⑤ ⑤	13 金	⑨	⑨ ⑧
14 月	②	② ②	14 水	⑥	⑥ ⑥	14 土	父母の会総会	父母の会総会
15 火	②	② ②	15 木	⑥	⑥ ⑥	15 日		
16 水	②	② ②	16 金	学内スポーツ大会	学内スポーツ大会	16 月	⑩	⑩ ⑧
17 木	②	② ②	17 土			17 火	⑩	⑩ ⑧
18 金	②	② ③	18 日			18 水	⑪	⑪ ⑨
19 土			19 月	⑥	⑥ ⑥	19 木	⑪	⑪ ⑨
20 日			20 火	⑥	⑥ ⑥	20 金	⑩	⑩ ⑨
21 月	③	③ ③	21 水	⑦	⑦ ⑦	21 土	オープンキャンパス	オープンキャンパス
22 火	③ イースターチャペル	③ ③ イースターチャペル	22 木	⑦	⑦ ⑦	22 日		
23 水	③	③ ③	23 金	⑥	⑥ ⑦	23 月	⑪	⑪ ⑨
24 木	③	③ ③	24 土			24 火	⑪	⑪ ⑨
25 金	③	③ ④	25 日			25 水	⑫	⑫ ⑩
26 土			26 月	⑦	⑦ 2年教育実習Ⅱ開始	26 木	⑫	⑫ ⑩
27 日	オープンキャンパス	オープンキャンパス	27 火	⑦	⑦	27 金	⑪	⑪ ⑩
28 月	④	④ ④	28 水	⑧	⑧	28 土		
29 火	④ 昭和の日 学園創立記念チャペル	④ ④ 昭和の日 学園創立記念チャペル	29 木	⑧	⑧	29 日		
30 水	④	④ ④	30 金	⑦	⑦	30 月	⑫	⑫ ⑩
			31 土					

CD＝キャリアデザイン学科／CC＝コミュニティ子ども学科

* 丸数字は、授業回数。CC学科は左の丸数字が1年、右の丸数字が2年。

7 月					8 月					9 月				
		CD	CC				CD	CC				CD	CC	
1	火	⑫		⑫ ⑩	1	金	↓ 定期試験終了		↓1年定期試験終了 2年⑮	1	月	リトリート		リトリート
2	水	⑬		⑬ ⑪	2	土				2	火	↑ ↓		↑ ↓
3	木	⑬		⑬ ⑪	3	日				3	水			
4	金	⑫		⑫ ⑪	4	月	↑		2年⑮	4	木			1年 履修ガイダンス スタートアップセミナー
5	土				5	火	↓ ボランティアプロジェクト		2年⑮	5	金			1年①
6	日	オープンキャンパス		オープンキャンパス	6	水	↓		2年補講日	6	土	総合型選抜第1期		総合型選抜第1期
7	月	⑬		⑬ ⑪	7	木			2年定期試験開始 ↑ ↓	7	日			
8	火	⑬		⑬ ⑪	8	金			2年定期試験終了	8	月			2年履修ガイダンス ① ①
9	水	⑭		⑭ ⑫	9	土				9	火	始業チャペル		① ① 始業チャペル
10	木	⑭		⑭ ⑫	10	日				10	水			① ①
11	金	⑬		⑬ ⑫	11	月	山の日		山の日	11	木			① ①
12	土				12	火				12	金			② ①
13	日				13	水	夏期休日		夏期休日	13	土			
14	月	⑭		⑭ ⑫	14	木	夏期休日		夏期休日	14	日			
15	火	⑭		⑭ ⑫	15	金	夏期休日		夏期休日	15	月	敬老の日		② ②敬老の日
16	水	⑮		⑮ ⑬	16	土				16	火			② ②
17	木	⑮		⑮ ⑬	17	日				17	水	履修ガイダンス		② ②
18	金	⑭		⑭ ⑬	18	月				18	木			② ②
19	土				19	火			↑	19	金	①		③ ②
20	日				20	水	ボランティア活動			20	土			
21	月	⑮海の日		⑮ ⑬海の日	21	木			↓	21	日			
22	火	⑮		⑮ ⑬	22	金	成績発表 追・再試験該当者発表		成績発表 追・再試験該当者発表	22	月	①		③ ③
23	水	補講日		1年補講日 2年⑭	23	土				23	火	秋分の日		③ 秋分の日
24	木	補講日		1年補講日 2年⑭	24	日	オープンキャンパス		オープンキャンパス	24	水	①		③ ③
25	金	⑮		⑮ 2年⑭	25	月				25	木	①		③ ③
26	土	補講日		補講日	26	火	追・再試験開始 ↑		追・再試験開始 ↑	26	金	②		④ ③
27	日	オープンキャンパス		オープンキャンパス	27	水	↓		↓	27	土			
28	月	定期試験開始 ↑		1年定期試験開始 2年⑭ ↑	28	木				28	日	オープンキャンパス		オープンキャンパス
29	火			2年⑭	29	金	↓ 追・再試験終了		↓ 追・再試験終了	29	月	②		④ ④
30	水			2年⑮	30	土				30	火	①		④ ③
31	木			2年⑮	31	日								

CD＝キャリアデザイン学科／CC＝コミュニティ子ども学科
* 丸数字は、授業回数。CC学科は左の丸数字が1年、右の丸数字が2年。

10 月				11 月				12 月			
		CD	CC			CD	CC			CD	CC
1	水	②	④ ④	1	土	フードビジネス甲子園		1	月	⑩	⑩ ⑩
2	木	②	④ ④	2	日			2	火	⑨	⑩ ⑨
3	金	③	⑤ ④	3	月	文化の日	文化の日	3	水	⑪	⑪ ⑩
4	土	総合型選抜第2期 私立大学スポーツ大会	総合型選抜第2期 私立大学スポーツ大会	4	火	⑤	1年教育実習Ⅰ終了	4	木	⑪	⑪ ⑩
5	日	私立大学スポーツ大会	私立大学スポーツ大会	5	水	⑦	1年⑦ 2年保育実習Ⅱ・Ⅲ終了	5	金	裏祭準備日	裏祭準備日
6	月	③	⑤ ⑤	6	木	⑦	⑦ 2年補講日	6	土	裏祭	裏祭
7	火	②	⑤ ④ 特別講演会	7	金	⑧	⑧ ⑦	7	日		
8	水	③	⑤ ⑤	8	土	学校推薦型選抜第1期 他	学校推薦型選抜第1期 他	8	月	⑪	⑪ ⑪
9	木	③	⑤ ⑤	9	日			9	火	⑩	⑪ ⑩
10	金	④	⑥ ⑤	10	月	⑦	⑦ ⑦	10	水	⑫	⑫ ⑪
11	土			11	火	⑥	⑦ ⑥	11	木	⑫	⑫ ⑪
12	日			12	水	⑧	⑧ ⑦	12	金	⑫	⑫ ⑪
13	月	④ スポーツの日	⑥ ⑥ スポーツの日	13	木	⑧	⑧ ⑦	13	土	学校推薦型選抜第2期他	学校推薦型選抜第2期他
14	火	③	⑥ ⑤	14	金	⑨	⑨ ⑧	14	日		
15	水	④	⑥ ⑥	15	土			15	月	⑫	⑫ ⑫
16	木	④	⑥ ⑥	16	日			16	火	⑪	⑫ ⑪
17	金	⑤	⑦ ⑥	17	月	⑧	⑧ ⑧	17	水	⑬	⑬ ⑫
18	土			18	火	⑦	⑧ ⑦	18	木	⑬	⑬ ⑫
19	日	オープンキャンパス	オープンキャンパス	19	水	⑨	⑨ ⑧	19	金	⑬	⑬ ⑫
20	月	⑤	1年教育実習Ⅰ開始 2年保育実習Ⅱ・Ⅲ開始	20	木	⑨	⑨ ⑧	20	土		
21	火	④		21	金	⑩	⑩ ⑨	21	日		
22	水	⑤		22	土			22	月	⑬	⑬ ⑬
23	木	⑤		23	日	勤労感謝の日	勤労感謝の日	23	火	⑫ キャンドルライトサービス	⑬ ⑫キャンドルライトサービス
24	金	⑥		24	月	⑨	⑨ ⑨	24	水	補講日	⑭ ⑬
25	土			25	火	⑧ クリスマスツリー点灯式	⑨ ⑧ クリスマスツリー点灯式	25	木	クリスマス	1年⑭ クリスマス
26	日			26	水	⑩	⑩ ⑨	26	金	補講日	⑭ ⑬
27	月	⑥		27	木	⑩	⑩ ⑨	27	土		
28	火	群馬県民の日	群馬県民の日	28	金	⑪	⑪ ⑩	28	日		
29	水	⑥		29	土			29	月	年末休日	年末休日
30	木	⑥		30	日	オープンキャンパス	オープンキャンパス	30	火	年末休日	年末休日
31	金	⑦						31	水	年末休日	年末休日

CD＝キャリアデザイン学科／CC＝コミュニティ子ども学科

* 丸数字は、授業回数。CC学科は左の丸数字が1年、右の丸数字が2年。

1 月			2 月			3 月		
	CD	CC		CD	CC		CD	CC
1 木	年始休日 元旦	年始休日 元旦	1 日			1 日		
2 金	年始休日	年始休日	2 月			2 月		
3 土			3 火		↓ 1年保育実習 I B終了	3 火	一般選抜第2期他	一般選抜第2期他
4 日			4 水			4 水		↓ 1年保育実習 I A終了
5 月	⑭	⑭ ⑭	5 木			5 木		
6 火	⑬	⑭ ⑬	6 金	2年追・再試験該当者発表	2年追・再試験該当者発表	6 金		1年追・再試験該当者発表
7 水	⑭	⑮ ⑭	7 土			7 土		
8 木	⑭	⑮ ⑬	8 日			8 日		
9 金	⑭	⑮ ⑭	9 月	2年追・再試験開始 ↑	2年追・再試験開始 ↑	9 月		
10 土		補講日	10 火	↓ 2年追・再試験終了	↓ 2年追・再試験終了	10 火		1年追・再試験開始 ↑
11 日			11 水	建国記念の日	建国記念の日	11 水		↓ 1年追・再試験終了
12 月	成人の日	1年⑮ 成人の日	12 木	一般選抜第1期他	一般選抜第1期他	12 木		
13 火	⑭ 新島襄召天記念礼拝	⑮ ⑭ 卒業研究・学科発表会 新島襄召天記念礼拝	13 金			13 金		
14 水	⑮	1年定期試験開始 2年⑮ ↑	14 土			14 土		
15 木	⑮	2年⑭ ↓	15 日			15 日	オープンキャンパス	オープンキャンパス
16 金	⑮	1年定期試験終了 2年⑮	16 月		1年保育実習 I A開始 ↑	16 月		
17 土	補講日	補講日	17 火			17 火		
18 日			18 水	2年成績発表	2年成績発表	18 水	卒業式	卒業式
19 月	⑮	1年保育実習 I B開始 ↑ 2年⑮	19 木			19 木		
20 火	⑮	2年⑮	20 金	1年追・再試験該当者発表		20 金	春分の日	春分の日
21 水	定期試験開始 ↑	2年補講日	21 土			21 土		
22 木		2年⑮	22 日			22 日		
23 金	新島襄召天記念祈禱会	2年定期試験開始 ↑ 新島襄召天記念祈禱会	23 月	天皇誕生日	天皇誕生日	23 月	1年成績発表 クラブリーダー研修 会	1年成績発表 クラブリーダー研修会
24 土	オープンキャンパス	オープンキャンパス	24 火	1年追・再試験開始 ↑		24 火	一般選抜第3期	一般選抜第3期
25 日			25 水			25 水		
26 月			26 木			26 木		
27 火	↓ 定期試験終了	↓ 2年定期試験終了	27 金	↓ 1年追・再試験終了		27 金		
28 水			28 土			28 土		
29 木						29 日		
30 金						30 月		
31 土						31 火		

Ⅱ. 新島学園の沿革と概要

1. 学校法人新島学園と新島襄

学校法人新島学園の歴史は、新島襄（1843-1890）の掲げたキリスト教主義教育の理念継承を志す安中のキリスト者たちの長年に亘る祈りと献金を基に、1947年に設立された男子中学校をその源流としています。新島襄は、キリスト教伝道者（牧師）、また教育者として、19世紀末、日本が徳川幕府の封建支配から近代的国家へと転換を遂げる時代に、「日本伝道会社」（後に「日本組合基督教会」）を設立して日本に会衆派キリスト教会を設立し、また京都に「同志社英学校」を建て、キリスト教信仰に基づく高等教育機関（＝大学）の設立のために尽力した、「江戸は神田生まれの上州人」です。

新島の「自由教育・自治教会」実現の志を継承した人々は、敗戦後の困窮の中にあって、平和主義、民主主義、国際主義を理想とする「新しい国」の未来を担う青少年の教育のために情熱を注ぎ、やがてこの男子中学は男女共学の中高一貫教育を実現、そして更に、1983年、旧高崎市立女子高等学校の校地を引き継ぐ形で、現在地に女子短期大学を新設しました。「中学校」設立の発起から今日までの歴史の概観は以下の年表の通りです。

- 1928年 日本組合基督教会（現・日本基督教団）渋谷教会牧師・栗原陽太郎が、安中で開催された両毛基督教青年大会で「新島中学校」設立発起の演説を行い、献金を募る。
- 1945年 有田屋第四代当主・湯浅三郎の遺言により、新島襄を記念する学校設立が具体化。キリスト教精神・新島の心・敗戦日本の復興・世界市民の自覚を教育目標とする。
- 1947年 「財団法人」新島学園設立とともに、安中市に新島学園中学校を設立。キリスト教精神を教育の基とする・一人ひとりの生徒を愛し、その人格を重んずる・知識水準を高くし、勉学の喜びを教える・勤労を尊び、天然資源の利用を学ぶ・己を知り、国を愛し、隣人に仕え、世界を友とする心を養う、との「教育の五原則」を掲げる。
- 1977年 新島学園創立三十周年記念集会で、短期大学設立の希望が語られる。
- 1980年 「新島学園女子短期大学設立準備室」開室。岩井文男、初代学園長就任。
- 1983年 新島襄の教育理念を継承し、「キリスト教的教育の特色を発揮し、真理と平和を愛し、国際社会に有用な女性を養育する」（「新島学園女子短期大学学則」第一条）ことを目標とし、新島学園女子短期大学（国際文化学科単科）開設。
- 2004年 国際文化学科を改組し、キャリアデザイン学科・保育学科を新設。また、男女共学への移行により、大学名を新島学園短期大学と改称。
- 2006年 保育学科で、保育士資格に加え、幼稚園教諭二種免許の取得が可能になり、学科名をコミュニティ子ども学科と改称。
- 2017年 学園創立70周年。短期大学、両学科にコース制導入。
- 2018年 短期大学創立35周年。旧高崎市立女子高等学校から引き継いだ円形校舎が国の登録有形文化財に。

新島襄は、1843年、安中藩主板倉勝明に仕える祐筆・新島民治の子として生まれました。当時、民治は江戸詰めであったので、新島は江戸（東京）神田にあった安中藩江戸屋敷で生まれ、「幕末」の激動の江戸で、青年期を迎えました。藩主・板倉勝明は学問振興に熱心で、新島は勝明が設けた学問所で10歳から漢学を学び、更に14歳で、藩主の招いた教師の下で蘭学の手ほどきを受ける等、1850年代としては大変恵まれた学びの環境を与えられました。

新島は更に、親や上司を説得して、江戸幕府が開設した軍艦教授所に通う許可を得、17歳から2年間、西洋式帆船（軍艦）の操縦に必要な近代的学問（オランダ語、数学、物理学、天文学など）を学びました。これらの学びが新島に大きなチャンスをもたらします。

安中藩板倉家の本家である松山藩（現在の倉敷・高梁市）板倉家の当時の藩主・勝清（当時の幕府老中）が、イギリスから帆行式軍艦「快風丸」（砲台2門）を購入し、これを国元（倉敷）へと回航させるにあたり、分家である安中藩から、軍艦教授所で学ぶ新島を航海の一員として抜擢したのです。新島は、この練習航海で松山藩の

若い藩士たちと気脈を通じ、この人脈が、彼を函館へと導くことになります。新島は、倉敷から江戸に帰った快風丸が函館へと向かうことを知らされ、藩の上司たちを説得し、函館遊学の許可を取り付けます。しかし、新島はこの時には、幕末の混乱の後に訪れるであろう「新しい時代」の日本のために、アメリカへ渡って勉強したい、という希望を固く抱いており、函館留学は、幕府の「国禁」を犯して海外渡航を果たすための口実でした。新島が函館からの脱国直前に詠んだ漢詩に、その思いが記されています。

一襲弊袍三尺剣 回頭世事思悠々
男児自有蓬桑志 不涉五洲都不休

「着古した着物に刀だけを差して、頭の中は世の中を憂うる思いで一杯だ。
しかし私には沸き立つような志がある。五大陸の町々を渡り歩くまでは休むことはない。」

1864年3月10日、新島は函館から「脱国」、1865年7月20日、ボストンに到着しました。新島は、自分を密航させてくれたワイルド・ローバー号の船主で商船会社を営むA・ハーディーの保護を受け、アメリカでの約10年に亘る高等教育の機会を得、またその過程で、キリスト教信仰に深く触れ、自らも牧師となる決意に至るのです。アメリカを始め欧米列強の文明が、キリスト教の信仰とその価値観、精神文化に深く根差していること、それを正真に獲得するためには、日本にも教育を通してキリスト教主義の精神文化を根付かせ、民主主義・自由主義・国際主義の価値を知る「良心の全身に充満したる」人物を育てることが不可欠と確信する新島は、帰国後、日本にキリスト教主義の大学を建てるという一大事業に、「宣教師」として邁進します。

新島は1874年11月に帰国すると、直ぐに、隠居をして安中に住まう両親を訪ね、約二か月半、滞在します。この時、新島は請われるままに安中で、キリスト教と、新島の目指す新しい時代の教育について講演をしました。この新島の言葉に触れて、安中藩御用の醤油醸造業者「有田屋」の湯浅治郎を中心に30人の男女がキリスト教に関心を寄せ、勉強会を立ち上げます。この勉強会は、その後3年間、新島と文通をしながら自主的にキリスト教の学びを続け、やがて日本組合基督教会（現・日本基督教団）安中教会を設立するのです。安中教会は、日本近代教会史の中でも数少ない、宣教師や牧師の主導ではなく、草の根の信徒の自主的な活動から生まれた教会の最初のもので、新島の説く、新たな時代を担う、自ら立ち、自ら治める、自由で、キリスト教的価値を体現する人々の群れとして形成された、この安中教会は、群馬の近代史の中でも、経済・産業・文化・政治の中核を担う人々を輩出しました。そして、この教会の歴史を受け継いだ人々が、祈りと財とを捧げて設立した学び舎が新島学園なのです。

こうした「自主・自立・自治」を誇りとする、自由な精神の伝統を今日の私たちも継承したいと願っています。

2. 沿革

- 1947年3月 財団法人新島学園中学校設立認可
初代理事長兼校長に湯浅八郎、校長事務取扱に江川栄牧師就任。
- 1948年4月 学制改正に伴い新島学園高等学校及び附属中学校に移行する。
- 1951年3月 学校法人新島学園に組織変更、名称を新島学園高等学校高等学部、同中学部と改める。
- 1971年2月 名称を新島学園高等学校、新島学園中学校と改める。
- 1980年9月 初代学園長に岩井文男就任
- 1981年8月 第2代理事長に湯浅正次就任
- 1983年4月 新島学園女子短期大学国際文化学科（英語文化圏、中国語文化圏、フランス語文化圏の3コース）開学
初代学長に岩井文男、学長事務取扱に高道基就任。
- 1983年6月 第2代学園長に湯浅正次就任
- 1983年7月 第2代学長に高道基就任
- 1983年11月 実践家政経済専科学校（台湾）と姉妹校提携
- 1984年2月 短期留学（アメリカ合衆国、台湾、フランス）開始
- 1985年2月 アジア（タイ）スタディーツアー開始
- 1986年4月 日本文化コース新設

1986 年 6 月 ブルゴーニュ大学（フランス）と姉妹校提携
1986 年 9 月 州立テネシー大学マーティン校（アメリカ合衆国）と姉妹校提携
1989 年 2 月 放送大学と単位互換の協定結ぶ。
1991 年 4 月 第 3 代学長に緒方純雄就任
1992 年 4 月 臨時定員増実施（200 人から 300 人）
1993 年 2 月 イギリス短期留学、国内スタディツアー開始
1993 年 3 月 校舎グレース・ホール完成
1993 年 5 月 開学 10 周年記念式典挙行
1994 年 2 月 韓国スタディツアー開始
1995 年 6 月 エヴァンズビル大学（アメリカ合衆国）と姉妹校提携
1997 年 4 月 第 4 代学長に小倉襄二就任
第 3 代学園長に緒方純雄就任
専攻科（国際文化専攻）（定員 20 人）開設
1997 年 11 月 学園創立 50 周年記念式典挙行
1998 年 7 月 チェスター大学（イギリス）と姉妹校提携
1999 年 2 月 第 3 代理事長に湯浅太郎就任
1999 年 4 月 第 4 代学園長に中嶋剛就任
2000 年 4 月 恒常的入学定員 300 人認可
第 5 代学長に萬代愼逸就任
2001 年 4 月 現代情報コース新設
第 6 代学長に田中久雄就任
2002 年 4 月 入学定員 200 人認可
英語メディア、現代情報、日本文化の 3 コースとなる。
第 7 代学長に中島伸一就任
2002 年 9 月 西オーストラリア大学と姉妹校提携
2004 年 2 月 開学 20 周年記念式典挙行
2004 年 4 月 国際文化学科を改組し、キャリアデザイン学科新設（入学定員 130 人）。
保育学科新設（入学定員 50 人）
保育士資格取得認可
大学名を新島学園短期大学と変更し、男女共学制とする。
2005 年 4 月 第 8 代学長に大平良治就任
2006 年 4 月 保育学科を改組し、コミュニティ子ども学科新設（入学定員 50 人）。
幼稚園教諭二種免許取得認可
2011 年 4 月 第 4 代理事長に大平良治就任
2011 年 10 月 第 9 代学長に狩野俊郎就任
2013 年 11 月 開学 30 周年記念式典挙行
2015 年 4 月 第 5 代理事長に湯浅康毅就任
第 10 代学長に岩田雅明就任
2015 年 5 月 校舎コルスイエ・ホール（体育館）完成
2016 年 4 月 入学定員変更（キャリアデザイン学科 115 人、コミュニティ子ども学科 65 人）
2017 年 4 月 キャリアデザイン学科・コミュニティ子ども学科 コース制導入
2017 年 12 月 学園創立 70 周年記念式典挙行
2018 年 2 月 旧館 解体工事
2018 年 5 月 円形校舎、国登録有形文化財登録
2018 年 10 月 開学 35 周年記念礼拝挙行
2020 年 4 月 入学定員変更（キャリアデザイン学科 130 人、コミュニティ子ども学科 50 人）
2020 年 6 月 新木造校舎竣工
2023 年 10 月 開学 40 周年記念式典挙

2025 年 4 月 キャリアデザイン学科 専攻制導入(キャリアデザイン専攻 入学定員 100 人、フード
ビジネス専攻 入学定員 30 人)
第 11 代学長に高山有紀就任

3. 概要

(1) 教職員数 (2025 年 4 月現在)

学 長	1 人
教 授	7 人
特 任 教 授	3 人
准 教 授	1 人
専 任 講 師	5 人
事 務 職 員	17 人

(2) 施設 (2025 年 4 月現在)

敷地面積	20,614 m ²	
建物延面積	9,909 m ²	
ヴェリタスホール	2,399 m ²	鉄筋コンクリート造 3 階建 教室、事務室、会議室、学長室、保健室、造形室、
グレース・ホール	2,325 m ²	鉄筋コンクリート造 3 階建 教室、コンピュータ室、学生ホール、セミナーハウス
ビブリオホール	1,559 m ²	鉄筋コンクリート造 3 階建 保育実習室、音楽室、ピアノ練習室、図書館、礼拝室、 学生相談室
コルヌイエ・ホール	1,252 m ²	鉄骨造 1 階建 体育館、教官室、更衣室、多目的室
ソレイユ	1,552 m ²	鉄筋コンクリート造 3 階建 教員研究室、調理室、同窓会室、講師室、学科室、 新島文化研究所
フォレストホール	802 m ²	木造ルーフィングぶき 2 階建 教室、多目的講堂
その他の建物	20 m ²	鉄骨・コンクリートブロック造り平屋建 倉庫

Ⅲ. 学 則

目次

第1章	総則（第1条—第3条の2）
第2章	教育課程及び授業科目（第5条・第5条の2）
第3章	履修方法及び課程修了の認定等（第6条—第11条の2）
第4章	入学、在学、休学、退学、転学及び除籍（第12条—第22条）
第5章	入学金、授業料その他の費用（第23条—第28条）
第6章	教職員組織（第29条・第30条）
第7章	教授会及び学科会議（第31条—第33条）
第8章	付属施設（第34条—第35条の2）
第9章	学年、学期及び休業日（第36条—第38条）
第10章	削除
第11章	科目等履修生及び外国人留学生（第39条—第41条）
第12章	公開講座（第42条）
第13章	厚生保健施設（第43条）
第14章	賞罰（第44条・第45条）
第15章	学則の変更（第46条）
附則	

第1章 総則

（目的）

第1条 この学則は、教育基本法（平成18年法律第120号）に則り、学校教育法（昭和22年法律第26号）の定める短期大学として、学術を教授研究し、あわせて建学の精神であるキリスト教的教育の特色を発揮し、真理と平和を愛し、社会に有用な人材を養成することを目的とする。

（自己点検・評価）

第1条の2 学校法人新島学園（以下「本学」という。）は、その教育水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、自ら点検及び評価を行うものとする。

2 前項の点検及び評価の項目並びにその実施体制等については、別に定める。

（学科、専攻及び学生定員）

第2条 第2条 本学において設置する学科、専攻及び学生定員は、次のとおりとする。

学科	入学定員	総定員
キャリアデザイン学科	130人	260人
キャリアデザイン専攻	100人	200人
フードビジネス専攻	30人	60人
コミュニティ子ども学科	50人	100人

（学科の目的等）

第2条の2 本学の各学科における人材の養成に関する目的及びその他の教育研究上の目的については、次のとおりとする。

- (1) キャリアデザイン学科は、建学の理念に基づき、自らの使命を真摯に探求し、信念に基づく行動を行い、他者の思想や価値観を尊重する社会に有意な人材を育成する。
- (2) コミュニティ子ども学科は、建学の理念に基づき、地域社会に貢献し得る保育士及び幼稚園教諭を養成する。

(修業年限及び在学年限)

第3条 本学の修業年限は、2年とする。

2 学生は、4年を超えて在学することはできない。

(長期履修学生)

第3条の2 本学は、前条第2項の規定にかかわらず、学生が職業を有している等の事情により、修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、卒業することを希望する旨を申し出たときは、この計画的な履修を認めることができる。

2 前項の規定により計画的な履修を認められた学生を「長期履修学生」という。

3 長期履修学生が希望する第1項で定める一定の期間は、2年6箇月以上4年以下とする。

4 長期履修学生は、6年を超えて在学することはできない。

5 長期履修学生に関し必要な事項は、別に定める。

第2章 教育課程及び授業科目

第4条 削除

(課程の設置及び授業科目の種類等)

第5条 本学の授業科目は、別に定める教育課程編成の方針により設置する。

2 授業科目の種類、必修科目、選択必修科目、選択科目の区分、単位数等は別に定める。

第5条の2 前条に定めるもののほか、教職に関する科目を置く。

2 前項に規定する授業科目の単位数等は、別に定める。

第5条の3 第5条に定める授業は、文部科学大臣が別に定めるところにより、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。

2 前項の授業方法により修得する単位数は、30単位を超えないものとする。

第3章 履修方法及び課程修了の認定等

(卒業資格及び要件)

第6条 学生は2年以上在学し、新島学園短期大学履修規程（以下「履修規程」という。）の定めるところにより、キャリアデザイン学科にあっては68単位以上を、コミュニケーション子ども学科にあっては65単位以上を修得しなければならない。

(履修方法及び履修届)

第7条 授業科目の履修は、必修科目、選択必修科目及び選択科目によって行う。

2 学生は、履修しようとする授業科目を、毎年所定の期間内に届け出なければならない。

(単位の計算方法)

第8条 各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算するものとする。

(1) 講義、演習、語学及び情報については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(2) 実験、実習及び実技については、45時間の授業をもって1単位とする。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位とする。

(単位の授与)

第9条 一つの授業科目の課程修了の認定は、試験による。合格したものについては、所定の単位を与える。

2 試験に関し必要な事項は、別に定める。

(他の短期大学等における授業科目の履修等)

第9条の2 学長は、教授会の意見を参考にして教育上有益と認めるときは、学生が他の短期大学又は大学（以下「他短期大学等」という。）において履修した授業科目について修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学長は、教授会の意見を参考にして教育上有益と認めるときは、学生が外国の短期大学又は大学に留学し修得した単位及び我が国において外国の短期大学又は大学が行う通信教育における授業科目を履修し修得した単位を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

3 学長は、教授会の意見を参考にして教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目とみなし、単位を与えることができる。

4 前3項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、各項それぞれ30単位（合わせて30単位）を超えないものとする。

(入学前の既修得単位等の取扱い)

第9条の3 学長は、教授会の意見を参考にして教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に他短期大学等において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生として修得した単位を含む。）を本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 学長は、教授会の意見を参考にして教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に行った前条第3項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。

3 前2項の規定により修得したものとみなし、又は与えることができる単位数は、転入学等の場合を除き、前条第1項及び第3項の規定により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。ただし、同条の第2項における単位数と合わせるときは、45単位を超えないものとする。

(学習の評価)

第10条 学習の評価は、S（90点以上）、A（80～90点）、B（70～79点）、C（60～69点）、E（40～59点）、F（39点以下）の5段階とし、S、A、B、Cは合格、E、Fを不合格とする。

2 前項の学習の評価のSを4点、Aを3点、Bを2点、Cを1点として、GPAを計算する。

(卒業)

第11条 本学に2年以上在学して、所定の科目を履修し、第6条に定める単位数を修得した者については、教授会の意見を参考にして、学長が卒業を認定する。なお、学位授与の方針は別に定める。

2 学長は、卒業を認定した者に対して、学位記を授与する。

3 卒業者は、次の区分により短期大学士の学位を取得する。

(1) キャリアデザイン学科 短期大学士（キャリアデザイン）

(2) コミュニティこども学科 短期大学士（コミュニティ子ども）

(資格等の付与)

第11条の2 本学において取得することができる資格及び免許状の種類は、次のとおりとする。

学科名

資格及び免許状の種類

コミュニティ子ども学科

保育士資格、幼稚園教諭二種免許状

- 2 保育士資格を取得しようとする者は、履修規定の定めるところに従い、所定の単位を取得しなければならない。
- 3 幼稚園教諭二種免許状を取得しようとする者は、履修規程の定めるところに従い、所定の単位を修得しなければならない。

第4章 入学、在学、休学、退学、転学及び除籍

(入学の時期)

第12条 入学の時期は、学年の始めとする。

(入学資格)

第13条 本学に入学を志願することのできる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。この場合において、外国人の志願者のうち、その入学資格の判明し難いときには、当該外国公館の証明を必要とする。

- (1) 高等学校卒業生
- (2) 通常の課程による12年の学校6教育を修了した者
- (3) 外国において、前2号に相当する課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

(入学の出願)

第14条 入学志願者は、指定期日までに所定の書類を提出し、所定の検定料を納入しなければならない。

(入学者の選考)

第15条 前条の入学志願者について、別に定めるところにより、高等学校卒業程度の入学試験を行う。なお、入学者受入れの方針は別に定める。

(入学手続き及び入学許可)

第16条 前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに保証書その他本学所定の書類を提出するとともに、所定の入学金、授業料その他の費用を納付しなければならない。

- 2 学長は、前項の入学手続きを完了した者に入学を許可する。

(保証人)

第17条 保証人は2人とし、その1人は父母（父母がない者は、これに代わる親戚等）とする。

- 2 保証人は、その学生の在学中は、本人にかかわる一切の事件につき、連帯の責任を負わなければならない。
- 3 保証人が転籍、転居等をしたときは、その旨を直ちに届け出なければならない。
- 4 保証人が死亡したとき、又はその資格を失ったときは、新たに保証人を定めて、保証書を提出しなければならない。

(休学)

第18条 学生が疾病その他やむを得ない事由により、3箇月以上修学できないときは、保証人連署の上学長に届け出て、学長の許可を得た上で休学することができる。

(休学期間)

第19条 休学の期間は、1年を超えることができない。ただし、特別の事由があるときは、許可を得て、更に1年以内に限り休学することができる。

2 休学の事由が消滅したときは、学長に届け出て、学長の許可を得た上で復学することができる。

3 休学期間は、在学年数に算入しない。

(転学及び編入学)

第20条 転学及び編入学を希望する者があるときは、学長は、希望理由を考慮し、これを許可することができる。

(転学科)

第20条の2 学生が他の学科に転学科を希望する場合は、学長は、希望理由を考慮し、これを許可することができる。

2 前項の転学科に関し必要な事項は、別に定める。

(退学)

第21条 病気その他の事由により、退学しようとする者は、保証人連署の上、学長に退学願いを提出しなければならない。

(再入学)

第21条の2 退学した者が再入学を希望する場合は、学長は、希望理由を考慮し、これを許可することができる。

2 前項の再入学に関し必要な事項は、別に定める。

(転入学)

第21条の3 他の短期大学から本学へ転入学を希望する学生があった場合は、学長は、希望理由を考慮し、これを許可することができる。

2 前項の規定により転入学を許可された学生の既修得単位は、教授会の意見を参考にして、学長が本学で修得した単位として認定することができる。

(除籍)

第22条 次の各号のいずれかに該当する者は、教授会の意見を参考にして、学長が除籍する。

- (1) 授業料その他の費用の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
- (2) 第3条第2項に定める在学年限を超える者
- (3) 第3条の2第4項に定める在学年限を超える者
- (4) 第19条に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (5) 2年以上にわたり行方不明の者

第5章 入学金、授業料その他の費用

(授業料等の納入)

第23条 学生は、別表第1及び別表第2に定める入学金、授業料その他の費用を学年の始めにおいて、指定期日までに納付しなければならない。ただし、これを延納又は分納することができる。

2 受講料の納入方法及び時期も、前項に準ずる。

(授業料等の延納及び分納)

第24条 正当な事由により、授業料その他の費用を延納又は分納しなければならなくなったときは、学生は直ちにその旨届け出て、許可を得なければならない。

- 2 原則として、延納及び分納の納入期限は指定期日から3箇月以内とし、また分納の回数は期限内において3回以内とする。

(授業料等の完納)

第25条 所定の授業料その他の費用を完納しなければ、卒業することができない。

(退学者、休学者及び停学者の授業料等)

第26条 退学する者、休学する者、停学期間中の者の学費（以下「授業料その他の費用」という。）の納入は次の各号のとおりとする。

(1) 退学する者

当該期分の学費を全学徴収する。

(2) 休学する者

休学する学期開始前までに手続をし、休学が認められた場合は、休学期間中の学費は徴収しない。ただし、学期の初日から末日まで引き続き休学する場合は、在籍料50,000円を徴収する。

(3) 学期の途中で休学する者

在籍料50,000円に加え、休学していない期間の学費として1箇月につき6分の1を徴収する。ただし、1箇月未満の端数は切り捨てとする。

(4) 停学期間中の者

停学期間中の学費は、徴収する。

(復学の場合の授業料等)

第27条 学期の中途において復学した者は、当該期分の授業料その他の費用を復学した月に納付しなければならない。

(納付した入学金等)

第28条 納付した入学金、授業料その他の費用及び検定料等は、返付しない。

第6章 教職員組織

(教職員組織)

第29条 本学に学長、教授、事務職員を置く。

2 必要と認められた場合は、准教授、専任講師、助教、助手、その他必要な職員を置くことができる。

3 必要と認められた場合は、副学長を置くことができる。

(職務)

第30条 教職員の職務は、学校教育法に定めるところによる。

第7章 教授会及び学科会議

(教授会)

第31条 学校教育法第93条の規定に基づき、本学に教授会を置く。

(教授会の構成)

第32条 教授会は、学長、教授、准教授及び専任講師をもって組織する。

(学科会議)

第32条の2 各学科に重要な事項を審議するため、学科会議を置く。

(その他)

第33条 この章に定めるもののほか、教授会及び学科会議に関し必要な事項は、別に定める。

第8章 附属施設

(附属図書館)

第34条 本学に、本学の教育研究活動の基盤的施設として、附属図書館を置く。

2 附属図書館に関し必要な事項は、別に定める。

(附属研究所)

第35条 本学に、特定の課題に関する調査研究、企画及び実施等を行う施設として、附属研究所を置くことができる。

2 附属研究所の設置に関し必要な事項は、別に定める。

第9章 学年、学期及び休業日

(学年)

第36条 学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。ただし、学長が教育上支障がないと認めた秋学期入学生に係る学年は、10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

(学期)

第37条 学年を分けて、次の2学期とする。

春学期 4月1日から9月30日まで

秋学期 10月1日から翌年3月31日まで

2 各学期授業日数は、各15週を下らないものとする。

(休業日)

第38条 本学の休業日は、次のとおりとする。ただし、教育実習、保育実習等を行う場合は、この限りでない。

(1) 土曜日及び日曜日

(2) 国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

(3) 創立記念日 5月5日

(4) 県民の日 10月28日

(5) 基督降誕祭 12月25日

(6) 春期休業日 3月20日から同月31日まで

(7) 夏期休業日 8月10日から9月10日まで

(8) 冬期休業日 12月25日から翌年1月4日まで

2 必要がある場合、学長は、前項の休業日を臨時に変更することができる。

3 第1項に定めるもののほか、学長は、臨時の休業日を定めることができる。

第10章 削除

第11章 科目等履修生及び外国人留学生

(科目等履修生)

第39条 本学の授業科目の履修を希望する者があるときは、本学の教育に支障のない限りにおいて、科目等履修生として履修を許可することができる。

2 科目等履修生には、第10条及び第13条の規定を準用して、単位を与えることができる。

3 科目等履修生に関し必要な事項は、別に定める。

第40条 削除

(外国人留学生)

第41条 外国人で、短期大学等において教育を受ける目的をもって入国し、本学に入学を

志望するものがあるときは、選考の上、外国人留学生として、入学を許可することができる。

2 外国人留学生に関し必要な事項は、別に定める。

第12章 公開講座 (公開講座)

第42条 本学は、適宜、公開講座を設け、学生及び一般市民の研究に資する。

2 公開講座に関し必要な事項は、別に定める。

第13章 厚生保健施設 (保健室)

第43条 保健室を設置し、教職員及び学生の健康相談に応じ、必要な場合は救急措置を行う。

第14章 賞罰 (表彰)

第44条 本学の目的及び使命に則り、他の模範となる行為のあった学生に対し、教授会の意見を参考にして、学長は、これを賞する。

(罰則)

第45条 本学の学則に違反し、又は学生の本分に反する行為等があると認められる者に対し、学長は、これを懲戒する。懲戒は、訓戒、謹慎、停学及び退学とする。

2 前項の懲戒に関する事項は、別に定める。

第15章 学則の変更 (学則の変更)

第46条 この学則を変更しようとするときは、学校法人新島学園理事会の議決によらなければならない。

附 則

1 この学則は、昭和58年4月1日から施行する。

2 昭和58年度における総定員は、第2条の規定にかかわらず、次のとおりとする。

昭和58年度 200人

附 則 (2025年4月1日)

この学則は、2025年4月1日から施行する。(第2条、第23条関係)

別表第1（第23条関係）
キャリアデザイン学科

検定料	30,000円
入学金	250,000円
授業料	620,000円
教育振興費	280,000円
施設設備費	100,000円
※1 上記の他、キャリアデザイン学科フードビジネス専攻は実習費（実費）を納付しなければならない。	
（長期履修学生）	
〔入学時に定めた一定の期間が3年間の場合〕	
検定料	30,000円
入学金	250,000円
授業料	414,000円
教育振興費	188,000円
施設設備費	68,000円
〔入学時に定めた一定の期間が4年間の場合〕	
検定料	30,000円
入学金	250,000円
授業料	310,000円
教育振興費	140,000円
施設設備費	50,000円
※1 修業年限（2年）分の授業料等総額のうち検定料・入学金を除いた全金額を、計画的に定めた一定の期間の年数で分割した額を学期・年度ごとに納付しなければならない。	
※2 上記のほか、基本在籍費（修業年限を超える期間に応じて1年50,000円）を納付しなければならない。	
（科目等履修生）	
検定料	5,000円
登録料	10,000円
受講料	1単位 5,000円
教育振興費	10,000円

別表第2（第23条関係）
コミュニティ子ども学科

検定料	30,000円
入学金	250,000円
授業料	650,000円
教育振興費	280,000円
施設設備費	100,000円
※1 上記の他、実習費（実費）を納付しなければならない。 （長期履修学生） 〔入学時に定めた一定の期間が3年間の場合〕	
検定料	30,000円
入学金	250,000円
授業料	434,000円
教育振興費	188,000円
施設設備費	68,000円
〔入学時に定めた一定の期間が4年間の場合〕	
検定料	30,000円
入学金	250,000円
授業料	325,000円
教育振興費	140,000円
施設設備費	50,000円
※1 修業年限（2年）分の授業料等総額のうち検定料・入学金を除いた全金額を、計画的に定めた一定の期間の年数で分割した額を学期・年度ごとに納付しなければならない。	
※2 上記のほか、基本在籍費（修業年限を超える期間に応じて1年50,000円）を納付しなければならない。 （科目等履修生）	
検定料	5,000円
登録料	10,000円
受講料	1単位 5,000円
教育振興費	10,000円

IV. キリスト教主義教育

キリスト教主義に基づく人格教育は本学の教育の根幹です。本学のあらゆる教育活動は、京都に同志社を設立した新島襄の掲げた理念を継承し、特定の知識や技術の獲得のみを強調して学生を「偏僻の模型中に入れる（押し付けの型にはめる）」のではなく、広く教養を深め、徳性を磨き、品性を高めて、精神的な文化を創造する「一国の良心ともいべき人物」を社会に送り出すことを目指しています。新島の言う「一国の良心」とは、文明開化の時代に、物質的・経済的な進歩発展が国策として推し進められる中であって（「富国強兵・殖産興業」）、日本の社会、そして国際社会の「市民」として、「真理・正義・平和」（本学の「建学の精神」を現わす教育モットー）を真摯に求めることに価値を置く「人物」を指しています。そのような「人物」はまた、自らの内にも「良心」を培い、その「良心を手腕に運用」し、自由な、「自治自立」を貫く存在として生きる力を持つのです。新島が「人材」養成ではなく、「人物」を教育する、と述べているのも、一人ひとりの学生を人間＝個人として大切に、その全人格的な成長を願ったからでしょう。

本学では、このような、新島の理想としたキリスト教主義教育を実現するため、「キリスト教入門」、「平和学」、「新島襄」などの、キリスト教・「建学の精神」関連の授業を提供するのみでなく、学校生活全体を通して、学生の皆さんが、キリスト教が 2000 年の歴史を経て育んだ文化の豊かさに親しく触れることができるよう、以下に掲げるような様々な行事を通して学びと体験の機会を提供しています。また、学生への進路や生活、学業に関する「指導」についても、学生ひとりひとりが自主的・自立的な人間としてその品格(character)を確立することを大切に考えています。

新島学園短期大学で学ぶ二年間を通して、学生の皆さんが、主体的にキリスト教文化・思想とその価値観に触れ、豊かな人間性・精神性を培っていかれるよう願っています。

〈本学のキリスト教主義教育を特徴づけるプログラム〉

- *チャペル・アワー(毎週火曜日 2 時限目)
- *メディテーションタイム(毎週水曜日 12:40~15 分程度)
- *イースターイベント(4 月)
- *新島襄ゆかりの地を訪ねる安中ツアー(5 月)
- *音楽チャペル・アワー(春学期)
- *リトリート(9 月)
- *特別伝道礼拝(9 月)
- *クリスマス・カード デザイン・コンテスト(10~11 月)
- *クリスマス・ツリー点灯式(11 月下旬)
- *クリスマス・キャンドルライト・サービス(12 月下旬)
- *新島襄召天記念礼拝(1 月中旬)、及び召天祈祷会(1 月 23 日)
- *卒業礼拝(3 月中旬)
- *ボランティア活動(授業として提供の他、課外活動クラブとしても)
- *キリスト教関連クラブ・サークル活動(聖歌隊、Gospel、オルガニストクラブ)

特にチャペル・アワーは、本学にとって最も重要な時間です。週に一度、学生と教員がチャペル・アワーに集まり、心を静かにして共に聖書の言葉に聴き、祈り、賛美歌を歌う体験を他では代え難いものではないでしょうか。皆さんの積極的な参加を願っています。

履修の手引き 目次

1. 各学科の概要

キャリアデザイン学科

コミュニティ子ども学科

2. 教育課程（カリキュラム）

2-1 本学における教育課程

2-1-1 必修科目

2-1-2 選択必修科目

2-1-3 選択科目

2-1-4 幼免必修科目

2-1-5 留学生限定科目

2-1-6 単位について

2-1-7 授業科目一覧

2-1-8 授業科目及び教員配置表

2-2 授業

2-2-1 授業期間

2-2-2 授業の方法

2-2-3 授業科目の単位

2-2-4 授業時間

2-2-5 授業欠席（公欠）の取り扱い

2-3 試験・成績評価・単位の付与

2-3-1 定期試験

2-3-2 追試験

2-3-3 再試験

2-3-4 卒業再試験

2-3-5 定期試験等受験上の注意点

2-4 卒業

2-4-1 卒業の要件

2-4-2 短期大学士の学位

3. 履修登録手続きについて

3-1 履修上の注意事項

3-2 履修登録

4. 長期履修学生制度について

5. 短期留学・スタディツアーについて

6. 転学科について

V. 履修の手引き

1. 各学科の概要

(キャリアデザイン学科)

1-1 キャリアデザイン学科の目指す教育とは

「キャリア (career)」という言葉が近年頻繁に使用され、「キャリアウーマン」から始まって「キャリアアップ」までよく目にする時代になりました。この「キャリア」とは、主に履歴、職業を意味します。本学においては、この意味するところから派生して、職業に対する資質、言い換えるならば資格を身に付けることをその教育の目的の一つにしています。このために多様な資格取得講座が設定されています。本学では自分の進路にふさわしい資格を身に付け、合わせて自分の将来をデザイン（設計）できる能力を養成します。まずは自分の目指すべき進路の発見から始めましょう。

しかしただ資格だけでは、生活上のさまざまな決断を迫られた場合その判断ができません。幅広い発想を具えた教養が必要となります。そのために本学は教養教育を重視し、「教養と資格」を身に付けることを目指しています。一人ひとりが将来に夢を描いて卒業して行くことを期待しています。

これらを踏まえたうえで、2年間で展望した履修計画を立ててください

1-2 教育内容

2025 年度からキャリアデザイン学科に「キャリアデザイン専攻」と「フードビジネス専攻」の 2 つの専攻が設置されました。キャリアデザイン専攻では、コースごとに分かれた教育カリキュラムを採用しています。自己啓発をしながら将来を探る「ライフデザインコース」、就職希望の学生のための「ビジネスキャリアコース」、英語教育に力をいれた「グローバルキャリアコース」、四年制大学編入を目指す「アカデミックブリッジコース」の 4 つから将来の目標に合わせたコースを選び、それぞれの学びを深めることができます。

【キャリアデザイン専攻】

ライフデザインコース

新たな自己発見に繋がる環境と学びが豊富に用意されたコースです。知識を深めながら、様々なことにチャレンジし、これまで気づかなかった自分の可能性を引き出すことで新たな将来設計の構築から目標の実現を目指します。

ビジネスキャリアコース

就職することを前提に、社会人として必要なノウハウをはじめ経営学の基礎や情報に関する知識などを学ぶコースです。実践で役立つ資格取得の支援やインターンシップ制度も取り入れながら、一人ひとりの適性にあった業界・職種を探り、内定獲得を目指します。

グローバルキャリアコース

グローバル化が進む現代社会で不可欠とされる英語でのコミュニケーション能力だけでなく、韓国語でのコミュニケーション能力を身につけ、国際的なビジネス能力を養うコースです。語学力を身につけると同時に他国の文化を学ぶことで貿易・観光・旅行・ホテル業界をはじめ、多方面で活躍できる人材を育てます。

アカデミックブリッジコース

本学を卒業した後の進路として四年制大学への編入学を目指すコースです。編入学試験に不可欠な科目の学修や面接対策に重きを置き、国公立大学や有名私立大学への「再チャレンジ」をバックアップ。将来に向けた新たな第一歩を踏み出すために必要な学力を養います。

【フードビジネス専攻】

『「食」と「ビジネス」をつなぐ「人」になる』をコンセプトに「食」で人を幸せにする新たなフードビジネスの担い手を育成するために設置された専攻です。

以下の3つのポイントを中心にカリキュラムが組み立てられています。

- ①群馬という恵まれた「産地」でフードビジネスを学ぶことができます。
- ②実践的なカリキュラムや「フードビジネス」の専門家による特別講義が設置されています。
- ③企業や地域の「食」の現場から学ぶフィールドスタディの科目も設置されています。

卒業後に「食」に関わる業界で活躍できる人材を育成します。

フードビジネス専攻では、スーパーマーケット検定（S検）やフードコーディネーター資格認定試験の取得を目指すことができます。

1-3 学習成果

2年間の学生生活で獲得する学習成果とその検証方法については、本学ホームページに掲載しています。

キャリアデザイン学科カリキュラムマップ

大項目	DP1-1 建学の精神や教育のモットーを理解している。	DP1-2 社会人に必要な教養・知識・技能を身につけている。	DP1-3 4年制大学の学修に必要な知識・技能を身につけている。	DP1-4 社会に貢献するための資格を取得している。	DP1-5 選択的な学びによる専門的な知識・技能を身につけている。	DP2-1 知識・技能を生かし、深く考察し、適切に判断することができる。	DP2-2 批判的思考力を用いて、自らの使命を探究し、専門的な学びを深めることができる。	DP2-3 必要な情報を収集・分析し、それらを適切に表現することができる。			DP2-4 信念に基づく行動をし、地域社会に貢献することができる。	DP3-1 知識・技能を踏まえて、自らのキャリアを主体的に設計することができる。	DP3-2 多様な人々と共生するために、コミュニケーション力と協働の姿勢を身につける。	
中項目(学習ベンチマーク)	知的な好奇心 ①	知的な好奇心 ②	知的な好奇心 ③	知識・技能の活用力	知的な好奇心 ④	判断力	思考力	a情報収集力	b分析力	c表現力	社会的な動向性	主体性	aコミュニケーション力	b協調性
基礎演習Ⅰ								○	○	○			○	
基礎演習Ⅱ								○	○	○			○	
キャリアデザイン論		○										○		
キリスト教入門	○										○			
情報処理		○						○	○					
総合英語		○								○				
数的リテラシー		○					○							
文章表現法		○								○				
フードビジネス入門		○				○								
フィールドスタディⅠ		○									○		○	○
ライティング		○								○				
オーラル・イングリッシュA		○											○	
オーラル・イングリッシュB		○											○	
日常英語表現A		○								○				
トピックス・イン・コミュニケーション		○								○			○	
観光英語		○		○							○			
ビジネス英会話		○											○	
マスメディアの英語		○	○				○							
英文法Ⅰ		○	○											
アカデミック・リーディングⅠ			○											
アカデミック・リーディングⅡ			○											
英検対策			○	○										
TOEIC対策			○	○										
短期留学A			○										○	○
短期留学B			○										○	○
新島襄	○										○			
ボランティア活動	○										○			○
ボランティアプロジェクト	○										○			○
スタディツアーA	○												○	○
群馬キリスト教史	○						○				○			
平和学	○						○							
日本教育論						○						○		
日本史概論			○				○							
日本思想史			○				○							
国文学概論			○		○							○		
文学		○			○							○		
地域の文学		○			○							○		
美術			○				○							
音楽	○				○									
日本文化財論			○		○									
日本の伝統文化		○			○									
スタディツアーB	○												○	○
食文化概論		○			○									
思想					○	○	○							
心理学			○		○									
家族の心理学			○		○									
日本語教育A		○			○									
日本語教育B		○			○									
日本語の仕組みⅠ		○											○	
日本語の仕組みⅡ		○											○	
文章理解		○							○					
小論文作成法			○						○	○				
韓国語初級Ⅰ					○								○	
韓国語初級Ⅱ					○								○	
韓国文化Ⅰ					○								○	
韓国文化Ⅱ					○								○	
政治学			○		○	○								
国際関係論			○		○	○								
まちづくり論		○									○		○	○
行政学			○		○	○								
市民参加論			○		○	○								
政策形成ワークショップ		○									○		○	○
ミクロ経済学			○		○									
マクロ経済学			○		○									
日本経済論			○		○									
地域食品産業論					○	○								

[illegible]

(コミュニティ子ども学科)

1-1 コミュニティ子ども学科の目指す教育とは

「コミュニティ(communitiy)」とは地域社会を意味します。今、人口減少問題や経済のグローバル化などの社会問題が、家庭・地域社会における子どもの環境を大きく変えています。「誰ひとり取り残さない」持続可能な社会の実現に向けて、子育て支援の必要性が強く求められ、保育者が社会に果たす役割も重要性を増しています。この現状を踏まえ、コミュニティ子ども学科は、一人ひとりの子どもにキリスト教主義の精神を持って接することのできる保育者、地域に密着して地域の人々と共に子育て支援ができる保育者を育てる教育をしています。

1-2 教育内容

子どもの育ちを支える環境への学びを深める「子どもの文化・環境コース」、辛い経験をした子どもや障がいのある子どもたちとその養育者に寄り添う力をつける「福祉・心理コース」、音楽などを通して子どもたちの感性や創造性を育む保育者を目指す「音楽・表現コース」で自分の好きなことや特技を伸ばした保育者を育成します。もちろん、どのコースも保育士資格・幼稚園教諭二種免許状を取得できます。

子どもの文化・環境コース

子どもが本来持っている無限の可能性、多様な才能が豊かに開花できるよう、一人ひとりの発達に必要な活動やあそび、保育教材の活用や環境の構成について学ぶコースです。子どもの育ちに豊かな環境(ヒト、モノ、コト)づくりや必要な援助ができる保育者を目指します。

福祉・心理コース

対人援助職としての保育者という視点を大切に、特別なニーズのある子どもや家族、家庭を理解し支援する力を伸ばすコースです。今日の子どもに関わる心理臨床的課題を取り扱います。子ども理解の技法や 子育て支援、家族支援の専門性を持つ保育者を目指します。

音楽・表現コース

子どもの想像力や感性を豊かに育めるよう、保育者自身の感性や表現力を磨くコースです。音楽をはじめとした表現の技能をさらに伸ばします。

1-2-1 コースの推奨科目

子どもの文化・環境コース

造形表現、子どもの運動と表現、海外保育事情

福祉・心理コース

福祉のこころ、支援のこころ、障がい者福祉

音楽・表現コース

子どもの音楽と表現、造形表現、子どもの運動と表現、器楽演習、リトミック

1-2-2 推奨科目の履修条件

所属するコースの推奨科目を自由に履修してください。

※コース推奨科目の履修単位は決まっています。

※コースの推奨科目は卒業必修や幼稚園教諭免許状・保育士資格の取得のための科目ではありません。このため推奨科目を履修しなくても、卒業や免許資格の取得に影響はありません。

※所属するコース以外の推奨科目を履修することもできます。

1-2-3 コースの登録・変更

1年次4月にコースの登録をします。また、希望者はコースの変更ができます。コースの変更は1年次秋学期開始時期及び2年次春学期開始時期です。コース登録・変更は履修ガイダンス等で説明します。

1-3 学習成果

2年間の学生生活で獲得する学習成果とその検証方法については、本学ホームページに掲載しています。

コミュニティ子ども学科カリキュラムマップ

大項目	DP-1 大学の精神や教育モットーを理解している。	DP1-2 社会人として必要な知識・技能・マナーを身につけている。	DP1-3 保育の専門的な知識・技能を修得し、保育者として実践することができる。	DP1-4 地域的な学びによる専門的な知識・技能を修得している。	DP1-5 選択的に判断し、表現することができる。	DP2-1 保育の課題について考え、知識・技能を身に付けることができる。	DP3-1 責任感や使命感を持ち、保育者として実践しているという主体性がある。	DP3-2 保育者に必要なコミュニケーション力を身につけることができる。	DP3-3 社会における自分の役割を自覚し、地域社会に貢献することができる。			
中項目(学習ベンチマーク)	知的な好奇心①	知的な好奇心②	知的な好奇心③	知識・技能の活用力	知的な好奇心④	思考力/判断力 a	表現力 b	責任性 a	主体性 b	コミュニケーション力 a	協調性 b	社会的能動性
新島襄ーその時代と生涯	○											
日本国憲法		○										
キリスト教入門	○											
音楽	○				○							
心理学		○			○							
基礎演習Ⅰ										○	○	
基礎演習Ⅱ										○	○	
文章表現法		○										
地域と子ども				○		○						○
社会人マナー		○										
情報リテラシーⅠ		○										
情報リテラシーⅡ		○			○							
英語コミュニケーション		○								○		
身体運動		○									○	
健康科学論		○										
保育原理			○			○						
教育原理			○			○						
子ども家庭福祉			○					○				
社会福祉			○			○		○				
子ども家庭支援論			○			○		○				
社会的養護Ⅰ			○					○	○			
保育者論			○					○				
障がい者福祉			○		○	○						
キリスト教保育	○							○	○			
海外保育事情					○	○						
教職基礎理論			○			○		○	○			
保育の心理学			○			○		○	○			
子ども家庭支援の心理学			○			○		○				
子どもの理解と援助			○			○						
子どもの保健			○			○						
子どもの食と栄養			○			○						
福祉のこころ					○					○	○	
支援のこころ					○					○	○	
子どもと健康			○									
子どもと人間関係			○					○				
子どもと言葉			○			○	○					
子どもと表現			○				○					
カリキュラム論			○									
保育内容総論			○						○	○		
保育内容環境			○						○	○		
保育内容言葉			○				○	○				
保育内容健康			○									
保育内容人間関係			○			○			○			
保育内容表現			○			○					○	
保育内容の理解と方法（音楽）			○					○		○	○	
保育内容の理解と方法（身体）			○					○	○	○		
保育内容の理解と方法（造形）			○					○			○	
保育内容の理解と方法（児童文化）			○									
乳児保育Ⅰ			○									
乳児保育Ⅱ			○									
子どもの健康と安全			○			○		○				
特別支援教育と保育			○			○		○				
社会的養護Ⅱ			○					○	○			
子育て支援			○					○			○	○
保育方法論			○			○			○			
教育相談			○			○		○				
伴奏法			○									
器楽演習			○		○		○				○	
子どもの音楽と表現			○							○	○	
造形表現					○		○				○	
子どもの運動と表現					○							
リトミック					○		○					
保育実習Ⅰ A				○					○		○	
保育実習指導Ⅰ A				○							○	
保育実習Ⅰ B				○					○		○	
保育実習指導Ⅰ B				○							○	
保育実習Ⅱ				○					○		○	
保育実習指導Ⅱ				○							○	
保育実習Ⅲ				○					○		○	
保育実習指導Ⅲ				○							○	
教育実習Ⅰ				○					○		○	
教育実習指導			○	○							○	
教育実習Ⅱ				○					○		○	
保育・教職実践演習（幼稚園）								○		○		
卒業研究Ⅰ						○						
卒業研究Ⅱ						○	○					
特色ある活動												
特別講演会			○			○		○				
こどもフェス							○		○	○		○
チャイルド広場				○		○	○	○			○	○
地域活動												○
ボランティア												○
卒業研究発表会					○	○	○					

1-4 学科の特色ある取り組み

1-4-1 初年次教育プログラム

本学科の授業、行事、課外活動と関連を持たせながら、初年次教育プログラムを実施します。初年次教育プログラムは、社会人基礎力の育成を目指して各種プログラムを構成します。

①充実した学生生活のためのプログラム

プログラム	内容
学生生活充実のためのスタートアップセミナー、中間セミナー	自分自身を知り、他者とかかわり、目的を持って充実した学生生活が送れるようにコミュニケーション力をつけるセミナーです。
冊子「保育者をめざして－実習の手引き－」	冊子「保育者をめざして－実習の手引き－」を活用し、学生生活の目標を立て、自身の課題を見つけ出します。

②他者とかかわるプログラム

地域で子どもや利用者などの他者とかかわる

プログラム	内容
地域と子ども	保育の現場で体験学習を行います。
チャイルド広場	チャイルド広場に携わり、子育て支援について理解します。
一般ボランティア	保育の現場やイベント等の地域のボランティアに参加します。
こどもフェス	学生が主体となりこどもフェスを企画・運営し、キャンパスで子どもたちと学生がふれあい、保育の実践や学習発表をします。

③仲間とかかわる

プログラム	内容
交流会、学生企画	学生が企画・運営し、協力しながら交流会を実施し、互いの親睦を深めます。

④学びの基本プログラム

入学前課題は、短期大学の学習に備えて、基礎的学習と音楽の学習を実施しています。短期大学への入学後は、文章表現等の授業により日本語力の育成を図ります。

1-4-2 行事

特別講演会

保育・福祉・教育の講師を招き、特別講演を年1回開催しています。講演を通して、保育者としての専門性を高めることを目的にしています。

卒業研究発表会

2年間の学びの集大成として、卒業研究を発表します。1年生は2年生の発表を聴き、保育に対する理解を深めます。

1-4-3 子育て支援

チャイルド広場

地域の子どもと保護者向けの子育て支援事業です。コミュニティ子ども学科の地域貢献の事業であり、学生がチャイルド広場の運営に携わりながら子育て支援についての理解を深めます。

1-5 保育士資格・幼稚園教諭免許状

①資格・免許状の取得

・「保育士」(国家資格)登録について

保育士として業務を行うためには、都道府県の登録申請手続きを行い、保育士証の交付を受けなければなりません。短大で登録申請をとりまとめて行います。

・幼稚園教諭二種免許状について

幼稚園教諭二種免許状は、都道府県の教育委員会が発行されます。短大で教員免許状の申請をとりまとめて行います。

②必要単位数

	保育士・幼免取得	保育士取得	幼免取得	卒業
最低単位数	99	95	68	65

注1 「保育士・幼免取得」は、保育士資格と幼稚園教諭二種免許状をあわせて取得する場合の最低単位数です。

注2 「保育士取得」は保育士資格のみを取得する場合の最低単位数です。

注3 「幼免取得」は幼稚園教諭二種免許状のみを取得する場合の最低単位数です。

注4 「卒業」は、卒業資格を取得するための最低単位数です。

1-6 教職課程の設置の理念

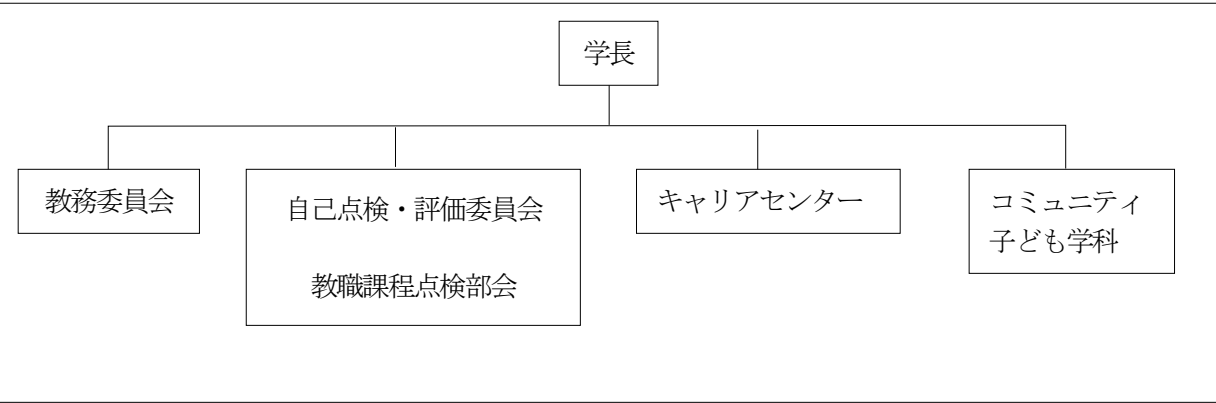
教職課程の設置の理念

子どもを取り巻く環境や教育の社会的ニーズ、子育て支援の必要性、地域の教育現場の現状を踏まえ、建学の理念に基づいて教員を養成し、地域の教育に貢献する。

教員養成の目標

教員養成機関としての社会的な責任を自覚し、建学の理念に基づき、地域社会に貢献し得る教員を養成する。目指す教員像は、幼稚園教諭の資質としての学習成果に示す。

教職課程に係る組織図



別表1 (保育士資格)

保育士資格取得に要する必修科目

告示別表第1による教科目					「告示」に対する本学開設科目	本学 保育士資格必修・選択	単位数
系列	教科目	設置単位数	履修単位数	形態			
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	2	講義	保育原理	必修	2
	教育原理	2	2	講義	教育原理	必修	2
	子ども家庭福祉	2	2	講義	子ども家庭福祉	必修	2
	社会福祉	2	2	講義	社会福祉	必修	2
	子ども家庭支援論	2	2	講義	子ども家庭支援論	必修	2
	社会的養護Ⅰ	2	2	講義	社会的養護Ⅰ	必修	2
	保育者論	2	2	講義	保育者論	必修	2

保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	2	講義	保育の心理学Ⅰ	必修	2
	子ども家庭支援の心理学	2	2	講義	子ども家庭支援の心理学	必修	2
	子どもの理解と援助	1	1	演習	子どもの理解と援助	必修	1
	子どもの保健	2	2	講義	子どもの保健	必修	2
	子どもの食と栄養	2	2	演習	子どもの食と栄養	必修	2
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	2	講義	カリキュラム論	必修	2
	保育内容総論	1	1	演習	保育内容総論	必修	1
	保育内容演習	5	5	演習	保育内容 環境	必修	2
					保育内容 言葉	必修	2
					保育内容 健康	必修	2
					保育内容 人間関係	必修	2
					保育内容 表現	必修	2
	保育内容の理解と方法	4	4	演習	保育内容の理解と方法（音楽）	必修	1
					保育内容の理解と方法（身体）	必修	1
					保育内容の理解と方法（造形）	必修	1
					保育内容の理解と方法（児童文化）	必修	1
	乳児保育Ⅰ	2	2	講義	乳児保育Ⅰ	必修	2
	乳児保育Ⅱ	1	1	演習	乳児保育Ⅱ	必修	1
	子どもの健康と安全	1	1	演習	子どもの健康と安全	必修	1
	障害児保育	2	2	演習	特別支援教育と保育	必修	2
	社会的養護Ⅱ	1	1	演習	社会的養護Ⅱ	必修	1
	子育て支援	1	1	演習	子育て支援	必修	1
保育実習	保育実習Ⅰ	4	4	実習	保育実習Ⅰ A	必修	2
					保育実習Ⅰ B	必修	2
	保育実習指導Ⅰ	2	2	演習	保育実習指導Ⅰ A	必修	1
					保育実習指導Ⅰ B	必修	1
総合演習	保育実践演習	2	2	演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	必修	2
計		51	51		計		56

保育士資格取得に要する選択必修科目

告示別表第2による教科目			形態	告示に対する本学開設科目	本学 保育士資格必修・選択必修	本学 卒業要件	単位数		
教科目	設置単位数	履修単位数							
①保育の本質・目的に関する科目	①、②、③「保育実習Ⅱ又はⅢ」「保育実習指導ⅡまたはⅢ」を合わせて18単位以上	①、②、③「保育実習Ⅱ又はⅢ」「保育実習指導ⅡまたはⅢ」を合わせて9単位以上	講義	障がい者福祉	選択必修	選択	2		
			演習	キリスト教保育	選択必修	必修	2		
			講義	海外保育事情	選択必修	選択	2		
			講義	教職基礎理論	選択必修	選択	2		
②保育の対象の理解に関する科目			演習	福祉のこころ	選択必修	選択	1		
			演習	支援のこころ	選択必修	選択	1		
			③保育の内容・方法に関する科目	講義	保育方法論	選択必修	選択	2	
				演習	教育相談	選択必修	選択	2	
演習				伴奏法	必修	選択	1		
演習				器楽演習	選択必修	選択	1		
演習				子どもの音楽と表現	選択必修	選択	1		
演習				子どもの運動と表現	選択必修	選択	1		
演習				造形表現	選択必修	選択	1		
演習				リトミック	選択必修	選択	1		
保育実習Ⅱ又はⅢ（実習）			2以上	2以上	実習	保育実習Ⅱ	選択必修	選択	2
						保育実習Ⅲ	選択必修	選択	2
保育実習指導Ⅱ又はⅢ			1以上	1以上	演習	保育実習指導Ⅱ	選択必修	選択	1
						保育実習指導Ⅲ	選択必修	選択	1
計	18以上	9以上							

注1：保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲのいずれかを選択

別表2（幼稚園教諭二種免許状）

教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等		単位数	対応する本学開設科目	単位数	共通開設
科目	各科目に含めることが必要な事項				
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	6	教育原理	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職基礎理論	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		（教育原理で対応）		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		保育の心理学	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育と保育	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		カリキュラム論	2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	保育方法論	2	
	幼児理解の理論及び方法		（教育相談で対応）		
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2	

教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習Ⅰ	2	
			教育実習Ⅱ	3	
			教育実習指導	1	
	学校体験活動		—		
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼稚園）	2	
計		17	計	22	

領域及び保育内容の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		対応する本学開講科目	単位数	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項		必修	選択
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論	1	
		保育内容 環境	2	
		保育内容 言葉	2	
		保育内容 表現	2	
		保育内容 健康	2	
		保育内容 人間関係	2	
領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康	1	
	人間関係	子どもと人間関係	1	
	環境	—		
	言葉	子どもと言葉	1	
	表現	子どもと表現	1	
		計	15	

大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		対応する本学開講科目	単位数	
科目区分			必修	選択
		キリスト教保育	2	
		計	2	

教養科目

別表第一備考第四号に規定する文部科学省令で定める科目		対応する本学開講科目	単位数
教科目	単位数		
情報機器の操作	2	情報リテラシーⅠ	2
日本国憲法	2	日本国憲法	2
外国語コミュニケーション	2	英語コミュニケーション	2
体育	2	健康科学論	1
		身体運動	1
計	8	計	8

1-7 実習

1-7-1 実習について

実習は授業で学んだことを保育場面で確認し、保育実践を学習し、実践力を培います。実習は保育士資格取得のための保育実習と、幼稚園教諭二種免許状取得のための教育実習があります。

1-7-2 スケジュール

保育実習および教育実習の実施時期

時期	1 年次 10 月	1 年次 1 月	1 年次 2 月	2 年次 6 月	2 年次 10 月
保 育 実 習		保育実習ⅠB(施設) 11 日間以上かつ 総実習時間が 90 時間以上 (2 単位) (全員)	保育実習ⅠA(保育所) 11 日間以上かつ総 実習時間が 90 時間 以上 (2 単位) (全員)		保育実習Ⅱ(保育所) 11 日間以上かつ総実習時間 が 90 時間以上 (2 単位) (選択)
					保育実習Ⅲ(施設) 11 日間以上かつ総実習時間 が 90 時間以上 (2 単位) (選択)
教 育 実 習	教育実習Ⅰ(幼稚園) 10 日間以上 (2 単位)			教育実習Ⅱ(幼稚園) 10 日間以上 (3 単位)	

	(全員)			(全員)	
--	------	--	--	------	--

*保育所の表記は、認定保育所・認定こども園(保育所型・幼保連携型)

*施設の表記は、乳児院・児童養護施設・障がい者支援施設など

*幼稚園の表記は、認定幼稚園・認定こども園(幼稚園型・幼保連携型)

1-7-3 保育実習

保育士資格取得のための保育実習は、保育実習ⅠA及び保育実習ⅠBならびに保育実習Ⅱ及び保育実習Ⅲから構成されます。

保育実習の履修モデル

履修モデル		1年次春学期休暇	1年次春学期休暇	2年次10月
履修モデル1	①	保育実習ⅠB (施設) 11日間	保育実習ⅠA (保育所) 11日間	保育実習Ⅱ (保育所) 11日間
履修モデル2	②	保育実習ⅠB (施設) 11日間	保育実習ⅠA (保育所) 11日間	保育実習Ⅲ (施設) 11日間

1-7-4 教育実習

幼稚園教諭二種免許状の取得のための教育実習は、教育実習Ⅰ及び教育実習Ⅱから構成されます。

1-7-5 実習の事前・事後指導

各実習に対応する事前・事後指導は、正課の授業として実施するほか、必要に応じて個別指導等も実施します。各実習に対応する事前・事後指導の正課授業は次の表の通りとします。

実習の名称	対応する事前・事後指導
保育実習ⅠA	保育実習指導ⅠA
保育実習ⅠB	保育実習指導ⅠB
保育実習Ⅱ	保育実習指導Ⅱ
保育実習Ⅲ	保育実習指導Ⅲ
教育実習Ⅰ	教育実習指導
教育実習Ⅱ	—

1-8 その他の資格

社会福祉主事任用資格

「心理学」、「保育原理」、「子ども家庭福祉」、「社会福祉」のうちから3科目を履修すると任用資格の取得が可能です。

日本赤十字社幼児安全法支援員

乳・幼児の事故・病気の予防や手当などの知識を学ぶ資格です。取得には講習の受講及び試験が必要です。

おもちゃインストラクター

子どもの成長・発達に合ったおもちゃの選び方・遊び方をアドバイスするスキル等を学ぶ講習（2年に一度開催予定）を受講（1日）して取得できます。

2. 教育課程（カリキュラム）

2-1 本学における教育課程

前述した本学の教育目的に沿って教育上必要な授業科目（必修科目、選択必修科目、選択科目、幼免必修科目及び留学生限定科目）が2年間の完結教育として位置づけられ、体系的に編成されています。

2-1-1 必修科目（キャリアデザイン学科、コミュニティ子ども学科）

必修科目とは、本学の教育の核（コア）になる一番重要な科目で、必ず履修する科目です。

2-1-2 選択必修科目（コミュニティ子ども学科）

選択必修科目とは、定められた単位数をそれぞれ一定の科目の中から、必ず履修する科目です。

2-1-3 選択科目（キャリアデザイン学科）

選択科目とは、自由に選択できる科目です。

2-1-4 幼免必修科目（コミュニティ子ども学科）

幼免必修科目とは、幼稚園教諭二種免許の取得を目指す学生が、必ず履修する科目です。

2-1-5 留学生限定科目（キャリアデザイン学科）

留学生限定科目とは、留学生が日本の言語や文化を学び、日本の社会に早く馴染んでもらうために、特別に設置する科目です。

2-1-6 単位について

単位

①単位制について

単位制とは、所定の単位数の修得を進級や卒業の要件とする制度です。授業科目に定められている単位を在学中に一定の基準に従って履修し、教科担当者が学修状況とその成果考査のうえ合格判定をすれば単位を修得できます。卒業に必要な単位を満たすと卒業の資格が与えられ学位が授与されます。

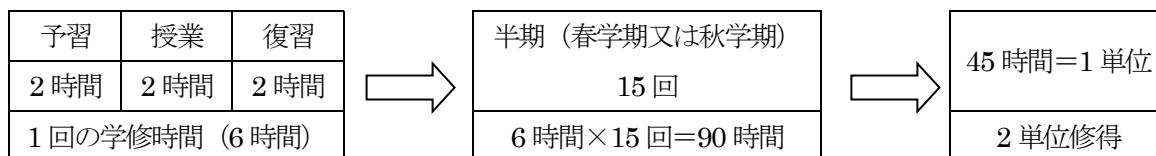
②単位と時間数

学年は春学期・秋学期の2学期に分かれ、授業は15週ずつ、年間30週実施されます。単位については、『短期大学設置基準（文部省令第21号第7条）』に1単位を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することと定められています。本学ではこの規定に基づき、講義、演習、語学、情報については、15時間の授業をもって1単位としています。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位としています。

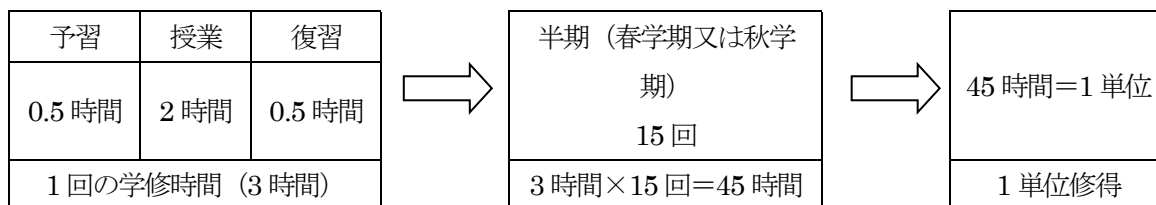
また、実験、実習、及び実技については、45時間の授業をもって1単位としています。ただし、別に定める授業科目については、30時間の授業をもって1単位としています。

本学では45分を1時間として計算しており、実質90分を2時間として取り扱います。1回の授業（90分）を2時間と換算し、これに予習・復習（各2時間）を行うと合計6時間になります。授業回数を半期15回とすれば、計90時間となり、1単位が45時間ですから2単位の科目となります。つまり予習・復習を含んで単位修得となることを充分留意し、授業に臨む必要があります。

講義科目、演習科目：15時間の授業で1単位の場合



講義科目、演習科目：30時間の授業で1単位の場合



＜キャリアデザイン学科キャリアデザイン専攻 授業科目一覧＞2025年度入学生

グループ	1年次				2年次			
	ユニット	授業科目	学期	単位	ユニット	授業科目	学期	単位
必修 (REQ)	基礎演習	基礎演習Ⅰ	春7	2	卒業研究	卒業研究Ⅰ	春7	2
		基礎演習Ⅱ	秋7	2		卒業研究Ⅱ	秋7	2
	必修科目	キャリアデザイン論	春	2	必修科目			
		キリスト教入門	春	2				
		情報処理	春3	2				
		総合英語	春2秋1	2				
		数的リテラシー	春1秋2	2				
文章表現法		春	2					
英語 (ENG)	基礎英語	ライティング	秋	2	基礎英語			
		オーラル・イングリッシュA	春2	2				
		オーラル・イングリッシュB	秋	2				
		日常英語表現A	秋	2				
		日常英語表現B(2026開講予定)	秋	2				
		トピックス・イン・コミュニケーション	秋	2				
	ビジネスと観光	ビジネス英会話	秋	2	ビジネスと観光	観光英会話	春	2
	英語 イマージョン				英語 イマージョン	スピーチ・コミュニケーション	春	2
						英語で学ぶアメリカ社会	秋	2
		進学と留学	英文法Ⅰ	春	2	進学と留学	アカデミック・リーディングⅡ	春
英文法Ⅱ			秋	2	英米文学		春	2
アカデミック・リーディングⅠ			春	2				
英検対策			春	2				
TOEIC対策			秋	2				
短期留学A			春	4				
短期留学B(2026開講予定)	春		4					
人文科学 (HUM)	キリスト教	新島襄	春	2	キリスト教			
		ボランティア活動	春	2				
		ボランティアプロジェクト	春	2				
		スタディツアーA(2026開講予定)	秋	2				
		群馬キリスト教史	春	2				
		平和学	秋	2				
	教育	日本教育論	秋	2	教育			
	歴史	日本史概論	春	2	歴史			
		日本思想史(2026開講予定)	秋	2				
	文学	国文学概論	秋	2	文学			
		文学	秋	2				
		地域の文学	春	2				
	文化	美術	秋	2	文化	スローフード論	春	2
		音楽	秋	2				
		日本文化財論	春	2				
		日本の伝統文化	秋	2				
		スタディツアーB	秋	2				
食文化概論		秋	2					
思想	思想	秋	2	思想				
心理	心理学	春	2					
	家族の心理学	秋	2					
日本語	小論文作成法	秋	2	日本語				
	日本語教育A	春	2					
	日本語教育B	秋	2					
	日本語の仕組みⅠ	春	2					
	日本語の仕組みⅡ	秋	2					
韓国	韓国語初級Ⅰ	春	2	韓国	韓国語中級Ⅰ	春	2	
	韓国語初級Ⅱ	秋	2		韓国語中級Ⅱ	秋	2	
	韓国文化Ⅰ	春	2					
	韓国文化Ⅱ	秋	2					
社会科学 (SOC)	政治	政治学	春	2	政治	現代地方自治	春	2
		まちづくり論	春	2		社会政策論	春	2
		国際関係論	秋	2				
		行政学	秋	2				
		市民参加論	秋	2				
		政策形成ワークショップ	春	2				
	経済	ミクロ経済学	春	2	経済			
		マクロ経済学	秋	2				
		日本経済論	秋	2				
		地域食品産業論	秋	2				
法律	日本国憲法	秋	2	法律				
社会科学 (SOC)	経営	簿記・会計の基礎	春	2	経営	原価計算・工業簿記	春	2
		観光マーケティング	春	2		経営学Ⅱ		
		マーケティング論	春	2				
		起業論	春	2				
		財務会計	春	2				
		経営学Ⅰ	秋	2				
		流通論	秋	2				
		商品開発	秋	2				
		消費者行動論	秋	2				

グループ	1年次				2年次					
	ユニット	授業科目	学期	単位	ユニット	授業科目	学期	単位		
一般教養 (GEC)	キャリア	ビジネスインターンシップ	春	2	キャリア					
		日本語表現学	春	2						
社会人力養成講座		春	2							
プロジェクトワークショップ		秋	2							
ビジネスマナー		春	2							
秘書検定対策		秋	2							
キャリアデザイン演習		秋	2							
	社会学	社会学	秋	2	社会学					
自然科学 (NAT)	情報技術	Webコミュニケーション	春	2	情報技術	コンピュータ科学	春	2		
		ITデータ分析	秋	2						
		Web技術入門	秋	2						
		データベース管理入門	秋	2						
		プログラミング入門	秋	2						
		動画制作	秋	2						
フード (FOD)	フード	フードビジネス特別講義Ⅰ	秋	2	フード	フードビジネス特別講義Ⅱ	春	2		
						食と健康・美	春	2		
						外食産業論	秋	2		
資格 (QUL)	試験対策	SPI対策	秋	2	試験対策	公務員試験プログラムⅡ	春	2		
		公務員試験プログラムⅠ	秋	2		公務員試験プログラムⅢ	春	2		
	情報	CGⅠ	秋	2	情報	CGⅡ	春	2		
		MOS Word	秋	2						
		MOS Excel	春・秋	2						
		MOS PowerPoint	秋	2						
		ITパスポート対策	秋	2						
	商業	日商簿記試験対策Ⅰ	春	2	商業	ファイナンシャルプランナーⅡ	春	2		
		日照簿記試験対策Ⅱ	秋	2						
		ファイナンシャルプランナーⅠ	秋	2						
	事務	色彩学入門	秋	2	事務					
		医療事務試験対策Ⅰ	春	2						
医療事務試験対策Ⅱ		秋	2							
フード	フード・コーディネーター対策講座Ⅰ	春	2	フード	フードコーディネーター対策講座	春	2			
	フード・コーディネーター対策講座Ⅱ	秋	2							
	スーパーマーケット検定対策	秋	2							

* 卒業要件

- ・必修:20単位すべて履修
- ・選択:必修以外の科目の中から48単位以上履修(ただし留学生限定科目「日本語の仕組みⅠ」「日本語の仕組みⅡ」を除く)
- ・合計:68単位以上履修

* 学期欄の数字はクラス数で、数字のないものは1クラス

* コミュニティ子ども学科の科目も履修すれば、原則として単位認定される。ただし、卒業要件には含まれない。

＜キャリアデザイン学科フードビジネス専攻 授業科目一覧＞2025年度入学生

グループ	1年次				2年次			
	ユニット	授業科目	学期	単位	ユニット	授業科目	学期	単位
必修 (REQ)	基礎演習	基礎演習Ⅰ	春	2	卒業研究	卒業研究Ⅰ	春	2
		基礎演習Ⅱ	秋	2		卒業研究Ⅱ	秋	2
	必修科目	キャリアデザイン論	春	2	必修科目	フードビジネス特別講義Ⅱ	春	2
		キリスト教入門	秋	2				
		情報処理	春3	2				
		フードビジネス入門	春	2				
		フィールドスタディⅠ	春	2				
		フードビジネス特別講義Ⅰ	秋	2				
英語 (ENG)	基礎英語	ライティング	秋	2	基礎英語			
		オーラル・イングリッシュA	春2	2				
		オーラル・イングリッシュB	秋	2				
		日常英語表現A	秋	2				
		日常英語表現B(2026開講予定)	秋	2				
		トピックス・イン・コミュニケーション	秋	2				
人文科学 (HUM)	ビジネスと観光	ビジネス英会話	秋	2	ビジネスと観光	観光英会話	春	2
	英語 イマージョン				英語 イマージョン	スピーチ・コミュニケーション	春	2
						英語で学ぶアメリカ社会	秋	2
	進学と留学	英文法Ⅰ	春	2	進学と留学	アカデミック・リーディングⅡ 英米文学	春	2
		英文法Ⅱ	秋	2			春	2
		アカデミック・リーディングⅠ	春	2				
		英検対策	春	2				
		TOEIC対策	秋	2				
		短期留学A	春	4				
		短期留学B(2026開講予定)	春	4				
	キリスト教	新島襄	春	2	キリスト教			
		ボランティア活動	春	2				
		ボランティアプロジェクト	春	2				
		スタディツアーA(2026開講予定)	春	2				
		群馬キリスト教史	秋	2				
		平和学	秋	2				
	教育	日本教育論	秋	2	教育			
	歴史	日本史概論	春	2	歴史			
		日本思想史(2026開講予定)	秋	2				
	文学	国文学概論	秋	2	文学			
		文学	秋	2				
		地域の文学	春	2				
	文化	美術	秋	2	文化	スローフード論	春	2
		音楽	秋	2				
		日本文化財論	春	2				
		日本の伝統文化	秋	2				
		スタディツアーB	春	2				
	思想	食文化概論	秋	2	思想			
		思想	秋	2				
	心理	心理学	春	2				
		家族の心理学	秋	2				
	日本語	小論文作成法	秋	2	日本語			
		日本語教育A	春	2				
		日本語教育B	秋	2				
		日本語の仕組みⅠ	春	2				
		日本語の仕組みⅡ	秋	2				
	韓国	韓国語初級Ⅰ	春2	2	韓国	韓国語中級Ⅰ 韓国語中級Ⅱ	春 秋	2 2
		韓国語初級Ⅱ	秋	2				
		韓国文化Ⅰ	春	2				
		韓国文化Ⅱ	秋	2				
社会科学 (SOC)	政治	政治学	春	2	政治	現代地方自治 社会政策論	春 春	2 2
		まちづくり論	春	2				
		国際関係論	秋	2				
		行政学	秋	2				
		市民参加論	秋	2				
		政策形成ワークショップ	春	2				
	経済	ミクロ経済学	春	2	経済			
		マクロ経済学	秋	2				
		日本経済論	秋	2				
		地域食品産業論	秋	2				
社会科学 (SOC)	法律	日本国憲法	秋	2	法律			
	経営	簿記・会計の基礎	春	2	経営	原価計算・工業簿記 経営学Ⅱ	春	2
		観光マーケティング	春	2				
		マーケティング論	春	2				
		起業論	春	2				
		財務会計	春	2				
		経営学Ⅰ	秋	2				
		流通論	秋	2				
		商品開発	秋	2				
		消費者行動論	秋	2				

グループ	1年次				2年次			
	ユニット	授業科目	学期	単位	ユニット	授業科目	学期	単位
(GGS)	キャリア	ビジネスインターンシップ	春	2	キャリア			
		日本語表現学	春	2				
社会人力養成講座		春	2					
プロジェクトワークショップ		秋	2					
ビジネスマナー		春	2					
秘書検定対策		秋	2					
キャリアデザイン演習		秋	2					
社会学	社会学	秋	2	社会学				
自然科学 (NAT)	情報技術	WEBコミュニケーション	春	2	情報技術	コンピュータ科学	春	2
		ITデータ分析	秋	2				
		Web技術入門	秋	2				
		データベース管理入門	秋	2				
		プログラミング入門	秋	2				
		動画制作	秋	2				
フード (FOD)	フード	調理学実習	秋	2	フード	商品開発演習	春	2
		フィールドスタディⅡ	秋	2		食と健康・美 外食産業論	春 秋	2 2
資格 (QUL)	試験対策	SPI対策	秋	2	試験対策	公務員試験プログラムⅡ	春	2
		公務員試験プログラムⅠ	秋	2		公務員試験プログラムⅢ	春	2
	情報	CGⅠ	秋	2	情報	CGⅡ	春	2
		MOS Word	秋	2				
		MOS Excel	春・秋	2				
		MOS PowerPoint	秋	2				
		ITパスポート対策	秋	2				
	商業	日商簿記試験対策Ⅰ	春	2	商業	ファイナンシャルプランナーⅡ	春	2
		日照簿記試験対策Ⅱ	秋	2				
		ファイナンシャルプランナーⅠ	秋	2				
	事務	色彩学入門	秋	2				
		医療事務試験対策Ⅰ	春	2				
医療事務試験対策Ⅱ		秋	2					
フード	フード・コーディネーター対策講座Ⅰ	春	2	フード	フード・コーディネーター対策講座Ⅲ	春	2	
	フード・コーディネーター対策講座Ⅱ	秋	2					
	スーパーマーケット検定対策	秋	2					

* 卒業要件

- ・必修:基礎演習ⅠとⅡ、卒業研究ⅠとⅡ、キャリアデザイン論、キリスト教入門、情報処理(14単位)
- ・フードビジネス専攻必修:フードビジネス入門・フィールドスタディⅠ・フードビジネス特別講義ⅠとⅡ(8単位)
- ・フードコーディネーター3級認定に必要な科目
 - ・専攻必修科目とは別に、調理学実習、食文化概論、フードコーディネーター対策講座Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、商品開発、商品開発演習、Webコミュニケーション、食と健康・美(18単位)を履修
- ・選択:必修以外の科目の中から46単位以上履修(ただし留学生限定科目「日本語の仕組みⅠ」「日本語の仕組みⅡ」を除く)
- ・合計:68単位以上履修

＜キャリアデザイン学科 授業科目一覧＞2024年度入学生

グループ	1年次				2年次			
	ユニット	授業科目	学期	単位	ユニット	授業科目	学期	単位
必修 (REQ)	基礎演習	基礎演習Ⅰ	春8	2	卒業研究	卒業研究Ⅰ	春6	2
		基礎演習Ⅱ	秋8	2		卒業研究Ⅱ	秋6	2
	必修科目	キャリアデザイン論	春	2	必修科目			
		キリスト教入門	春2	2				
		情報処理	春4	2				
		総合英語	春2秋2	2				
数的リテラシー		春2秋2	2					
文章表現法	春2	2						
英語 (ENG)	基礎英語	ライティング	秋	2	基礎英語			
		オーラル・イングリッシュA	春2	2				
		オーラル・イングリッシュB	秋	2				
		日常英語表現A(2026開講予定)	秋	2				
		日常英語表現B	秋	2				
		トピックス・イン・コミュニケーション	秋	2				
	ビジネスと観光	ビジネス英会話	秋	2	ビジネスと観光	観光英会話	春	2
	英語 イマージョン				英語 イマージョン	スピーチ・コミュニケーション 英語で学ぶアメリカ社会	春 秋	2 2
進学と留学	英文法Ⅰ	秋	2	進学と留学	英米文学 アカデミック・リーディングⅢ	春 春	2 2	
	アカデミック・リーディングⅠ	春	2					
	アカデミック・リーディングⅡ	秋	2					
	英検対策	春	2					
	TOEIC対策	秋	2					
	短期留学A	春	4					
短期留学B(2026開講予定)	春	4						
人文科学 (HUM)	キリスト教	新島襄	春	2	キリスト教			
		ボランティア活動	春	2				
		ボランティアプロジェクト	春	2				
		スタディツアーA(2026開講予定)	秋	2				
		群馬キリスト教史	春	2				
		平和学	秋	2				
	教育	日本教育論	秋	2	教育			
	歴史	日本史概論	春	2	歴史			
		日本思想史	秋	2				
	文学	国文学概論	春	2	文学			
		文学	秋	2				
	文化	美術	秋	2	文化	スローフード論	春	2
		音楽	秋	2				
		日本文化財論	春	2				
日本の伝統文化		秋	2					
スタディツアーB		春	2					
食文化概論		秋	2					
思想	思想	秋	2	思想				
心理	心理学	春	2					
	家族の心理学	秋	2					
日本語	小論文作成法	秋	2	日本語				
	日本語教育A	春	2					
	日本語教育B	秋	2					
	日本語の仕組みⅠ	春	2					
	日本語の仕組みⅡ	秋	2					
	文章理解	秋	2					
韓国	韓国語初級Ⅰ	春2	2	韓国	韓国語中級Ⅰ 韓国語中級Ⅱ	春 春	2 2	
	韓国語初級Ⅱ	秋	2					
	韓国文化Ⅰ	春	2					
	韓国文化Ⅱ	秋	2					
社会科学 (SOC)	政治	政治学	春	2	政治	現代地方自治 社会政策論	春 春	2 2
		まちづくり論	春	2				
		国際関係論	秋	2				
		行政学	秋	2				
		市民参加論	秋	2				
		政策形成ワークショップ	春	2				
	経済	ミクロ経済学	春	2	経済			
		マクロ経済学	秋	2				
		日本経済論	秋	2				
	法律	日本国憲法	秋	2	法律			
経営	簿記・会計の基礎	春	2	経営	原価計算・工業簿記 経営学Ⅱ	春 春	2 2	
	IT財務分析	春	2					
	観光マーケティング	春	2					
	財務会計	秋	2					
	経営学Ⅰ	秋	2					
	流通論	秋	2					
	商品開発	秋	2					

グループ	1年次				2年次			
	ユニット	授業科目	学期	単位	ユニット	授業科目	学期	単位
社会科学 (SOC)	キャリア	ビジネスインターンシップ	春	2	キャリア			
		日本語表現学	春	2				
		社会人力養成講座	春	2				
		プロジェクトワークショップ	秋	2				
		ビジネスマナー	春	2				
		秘書検定対策	秋	2				
		キャリアデザイン演習	秋	2				
	社会学	社会学	秋	2	社会学			
自然科学 (NAT)	情報技術	ITデータ分析 Web技術入門 データベース管理入門 プログラミング入門	秋 秋 秋 秋	2 2 2 2	情報技術	コンピュータ科学	春	2
資格 (QUL)	試験対策	SPI対策	秋	2	試験対策	公務員試験プログラムⅡ	春	2
		公務員試験プログラムⅠ	秋	2		公務員試験プログラムⅢ	春	2
	情報	CGⅠ	秋	2	情報	CGⅡ	春	2
		MOS Word	秋	2				
		MOS Excel	春・秋	2				
		ITパスポート対策	秋	2				
	商業	日商簿記試験対策Ⅰ	春	2	商業	ファイナンシャルプランナーⅡ	春	2
		日商簿記試験対策Ⅱ	秋	2				
		ファイナンシャルプランナーⅠ	秋	2				
	事務	色彩学入門	秋	2	事務			
		医療事務試験対策Ⅰ	春	2				
		医療事務試験対策Ⅱ	秋	2				

* 卒業要件

- ・必修: 20単位すべて履修
- ・選択: 必修以外の科目の中から48単位以上履修(ただし留学生限定科目「日本語の仕組みⅠ」「日本語の仕組みⅡ」を除く)
- ・合計: 68単位以上履修

* 学期欄の数字はクラス数で、数字のないものは1クラス

* コミュニティ子ども学科の科目も履修すれば、原則として単位認定される。ただし、卒業要件には含まれない。

＜コミュニティ子ども学科 授業科目一覧＞ 2025年度入学生

分類	区分	1年次				2年次			
		必修・ 選択必修	授業科目	学期	単位	必修・ 選択必修	授業科目	学期	単位
教養科目	外国語、 体育以外の 科目	選択必修	新島襄ーその時代と生涯ー	春	2	選択必修	音楽	秋	2
		選択必修	日本国憲法	秋	2	選択必修	心理学	春	2
		必修	キリスト教入門	春	2	必修	社会人マナー	春	2
		必修	基礎演習Ⅰ	春7	2	選択必修	情報リテラシーⅡ	秋	2
		必修	基礎演習Ⅱ	秋7	2	選択必修	短期留学	秋	4
		必修	文章表現法	春	1				
		必修	地域と子ども	春	2				
		必修	情報リテラシーⅠ	春2	2				
専門科目	外国語					必修	英語コミュニケーション	春	2
	体育	必修	健康科学論	秋	1	必修	身体運動	秋	1
	保育の 本質・目的	必修	保育原理	秋	2	選択必修	子ども家庭支援論	春	2
		必修	教育原理	春	2	必修	社会福祉	秋	2
		必修	子ども家庭福祉	秋	2	選択必修	障がい者福祉	春	2
		選択必修	社会的養護Ⅰ	春	2	必修	キリスト教保育	秋	2
		必修	保育者論	春	2	選択必修	海外保育事情	秋	2
	保育の 対象の理解	必修	保育の心理学	春	2	選択必修	子どもの理解と援助	春	1
		選択必修	子ども家庭支援の心理学	秋	2	選択必修	子どもの保健	春	2
		選択必修	子どもの食と栄養	秋	2	選択必修	福祉のこころ	春	1
						選択必修	支援のこころ	秋	1
	保育の 内容・方法	選択必修	子どもと表現	春	1	選択必修	子どもと健康	秋	1
		選択必修	カリキュラム論	春	2	選択必修	子どもと人間関係	春	1
		選択必修	保育内容 環境	春	2	選択必修	子どもと言葉	春	1
		選択必修	保育内容 言葉	春	2	選択必修	保育内容 総論	秋	1
		選択必修	保育内容 健康	春	2	選択必修	保育内容 表現	春2	2
		選択必修	保育内容 人間関係	秋	2	選択必修	保育内容の理解と方法(身体)	秋	1
		選択必修	保育内容の理解と方法(音楽)	秋2	1	選択必修	乳児保育Ⅱ	秋	1
		選択必修	保育内容の理解と方法(造形)	秋2	1	選択必修	子どもの健康と安全	秋	1
		選択必修	保育内容の理解と方法(児童文化)	秋2	1	選択必修	特別支援教育と保育	春	2
		選択必修	乳児保育Ⅰ	春	2	選択必修	社会的養護Ⅱ	春	1
		選択必修	保育方法論	秋	2	選択必修	子育て支援	春	1
		選択必修	伴奏法	春2	1	選択必修	教育相談	秋	2
		選択必修	子どもの運動と表現	春	1	選択必修	器楽演習	秋	1
		選択必修	リトミック	秋	1	選択必修	子どもの音楽と表現	春	1
						選択必修	造形表現	春	1
	実習	選択必修	保育実習ⅠA	秋	2	選択必修	保育実習Ⅱ	秋	2
		選択必修	保育実習指導ⅠA	秋	1	選択必修	保育実習指導Ⅱ	秋	1
		選択必修	保育実習ⅠB	秋	2	選択必修	保育実習Ⅲ	秋	2
		選択必修	保育実習指導ⅠB	秋	1	選択必修	保育実習指導Ⅲ	秋	1
		選択必修	教育実習Ⅰ	秋	2	選択必修	教育実習Ⅱ	春	3
		選択必修	教育実習指導	春	1				
	総合演習					選択必修	保育・教職実践演習(幼稚園)	秋	2
	卒業研究					必修	卒業研究Ⅰ	春	1
						必修	卒業研究Ⅱ	秋	1

※卒業要件
・必修:全科目の中から指定されている33単位をすべて履修。
・選択必修:32単位以上(幼免必修を含む)を履修。
・合計65単位以上履修
※学期欄の数字はクラス数で、数字のないものは1クラス。
※キャリアデザイン学科の科目も履修すれば、原則として単位認定される。ただし、卒業要件単位には含まれない。

コミュニティ子ども学科資格要件一覧 2025年度入学生

分類	区分	科目	形態	卒業要件		保育士資格要件		幼免取得要件 必修科目
				必修単位数	選択必修単位数	必修科目	選択必修科目	
教養科目	外国語、体育 以外の科目	新島襄ーその時代と生涯ー	講義		2		○	
		日本国憲法	講義		2		○	○
		キリスト教入門	講義	2		○		
		音楽	講義		2		○	
		心理学	講義		2		○	
		基礎演習Ⅰ	演習	2				
		基礎演習Ⅱ	演習	2				
		文章表現法	講義	1				
		地域と子ども	講義	2				
		社会人マナー	講義	2				
		短期留学	演習		4		○	
		情報リテラシーⅠ	演習	2		○		○
		情報リテラシーⅡ	演習		2		○	
外国語	英語	英語コミュニケーション	演習	2		○		○
		身体運動	実技	1		○		○
		健康科学論	講義	1		○		○
専門科目	保育の本質・ 内容に関する 科目	保育原理	講義	2		○		
		教育原理	講義	2		○		○
		子ども家庭福祉	講義	2		○		
		社会福祉	講義	2		○		
		子ども家庭支援論	講義		2	○		
		社会的養護Ⅰ	講義		2	○		
		保育者論	講義	2		○		
		障がい者福祉	講義		2		○	
		キリスト教保育	演習	2			○	○
		海外保育事情	講義		2		○	
		教職基礎理論	講義		2		○	○
		保育の心理学	講義	2		○		○
		子ども家庭支援の心理学	講義		2	○		
	保育の対象の 理解に関する 科目	子どもの理解と援助	演習		1	○		
		子どもの保健	講義		2	○		
		子どもの食と栄養	演習		2	○		
		福祉のこころ	演習		1		○	
		支援のこころ	演習		1		○	
		子どもと健康	講義		1			○
		子どもと人間関係	講義		1			○
		子どもと言葉	講義		1			○
	保育の内容・ 方法に関する 科目	子どもと表現	講義		1			○
		カリキュラム論	講義		2	○		○
		保育内容総論	演習		1	○		○
		保育内容環境	演習		2	○		○
		保育内容言葉	演習		2	○		○
		保育内容健康	演習		2	○		○
		保育内容人間関係	演習		2	○		○
		保育内容表現	演習		2	○		○
		保育内容の理解と方法（音楽）	演習		1	○		
		保育内容の理解と方法（身体）	演習		1	○		
		保育内容の理解と方法（造形）	演習		1	○		
		保育内容の理解と方法（児童文化）	演習		1	○		
		乳児保育Ⅰ	講義		2	○		
		乳児保育Ⅱ	演習		1	○		
		子どもの健康と安全	演習		1	○		
		特別支援教育と保育	演習		2	○		○
		社会的養護Ⅱ	演習		1	○		
		子育て支援	演習		1	○		
		保育方法論	講義		2		○	○
		教育相談	演習		2		○	○
		伴奏法	演習		1	○		
		器楽演習	演習		1		○	
		子どもの音楽と表現	演習		1		○	
		造形表現	演習		1		○	
		子どもの運動と表現	演習		1		○	
		リトミック	演習		1		○	
	実習	保育実習ⅠA	実習		2	○		
		保育実習指導ⅠA	演習		1	○		
		保育実習ⅠB	実習		2	○		
		保育実習指導ⅠB	演習		1	○		
		保育実習Ⅱ	実習		2		○保育実習Ⅱ保育 実習指導Ⅱか保育 実習Ⅲ保育実習指 導Ⅲを選択	
		保育実習指導Ⅱ	演習		1			
		保育実習Ⅲ	実習		2			
		保育実習指導Ⅲ	演習		1			
		教育実習Ⅰ	実習		2			○
		教育実習指導	演習		1			○
		教育実習Ⅱ	実習		3			○
	総合演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習		2	○		○
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	1				
		卒業研究Ⅱ	演習	1				
	合計			33	99	65	39	47

- * 卒業要件は、卒業要件の必修科目33単位及び選択必修科目32単位以上を履修します。
- * 卒業要件を満たした上で、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得できます。
- 保育士資格取得要件
- ・保育士資格要件の必修科目をすべて履修。

・教養科目の選択必修科目から1科目2単位以上(基礎演習ⅠⅡを除く)を履修。

・保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲのいずれかを履修。

・保育実習Ⅱ・Ⅲ、保育実習指導Ⅱ・Ⅲを除く専門科目の選択必修科目から7単位以上を履修。
- 幼稚園教諭二種免許状取得要件
- ・幼免必修科目をすべて履修

<コミュニティ子ども学科 授業科目一覧> 2024年度入学生

分類	区分	1年次				2年次			
		必修・ 選択必修	授業科目	学期	単位	必修・ 選択必修	授業科目	学期	単位
教養科目	外国語、 体育以外の 科目	選択必修	新島襄ーその時代と生涯ー	春	2	選択必修	音楽	秋	2
		選択必修	日本国憲法	秋	2	選択必修	心理学	春	2
		必修	キリスト教入門	春	2	必修	社会人マナー	春	2
		必修	基礎演習Ⅰ	春7	2	選択必修	情報リテラシーⅡ	秋	2
		必修	基礎演習Ⅱ	秋7	2	選択必修	短期留学	秋	4
		必修	文章表現法	春	1				
		必修	地域と子ども	春	2				
		必修	情報リテラシーⅠ	春2	2				
専門科目	外国語					必修	英語コミュニケーション	春	2
	体育	必修	健康科学論	秋	1	必修	身体運動	秋	1
	保育の 本質・目的	必修	保育原理	秋	2	選択必修	子ども家庭支援論	春	2
		必修	教育原理	春	2	必修	社会福祉	秋	2
		必修	子ども家庭福祉	秋	2	選択必修	障がい者福祉	春	2
		選択必修	社会的養護Ⅰ	春	2	必修	キリスト教保育	秋	2
		必修	保育者論	春	2	選択必修	海外保育事情	秋	2
	保育の 対象の理解	必修	保育の心理学	春	2	選択必修	教職基礎理論	秋	2
		選択必修	子ども家庭支援の心理学	秋	2	選択必修	子どもの理解と援助	春	1
		選択必修	子どもの食と栄養	秋	2	選択必修	子どもの保健	春	2
						選択必修	福祉のこころ	春	1
	保育の 内容・方法					選択必修	支援のこころ	秋	1
		選択必修	子どもと表現	春	1	選択必修	子どもと健康	秋	1
		選択必修	カリキュラム論	春	2	選択必修	子どもと人間関係	春	1
		選択必修	保育内容 環境	春	2	選択必修	子どもと言葉	春	1
		選択必修	保育内容 言葉	春	2	選択必修	保育内容総論	秋	1
		選択必修	保育内容 健康	春	2	選択必修	保育内容 表現	春2	2
		選択必修	保育内容 人間関係	秋	2	選択必修	保育内容の理解と方法(身体)	秋	1
		選択必修	保育内容の理解と方法(音楽)	秋2	1	選択必修	保育内容の理解と方法(造形)	秋	1
		選択必修	保育内容の理解と方法(造形)	秋2	1	選択必修	保育内容の理解と方法(児童文化)	秋	1
		選択必修	乳児保育Ⅰ	秋	1	選択必修	乳児保育Ⅱ	秋	1
		選択必修	保育方法論	春	2	選択必修	子どもの健康と安全	秋	1
		選択必修	伴奏法	春2	1	選択必修	特別支援教育と保育	秋	2
		選択必修	子どもの運動と表現	春	1	選択必修	社会的養護Ⅱ	春	1
		選択必修	リトミック	秋	1	選択必修	子育て支援	春	1
						選択必修	教育相談	秋	2
	実習	選択必修	保育実習ⅠA	秋	2	選択必修	器楽演習	秋	1
		選択必修	保育実習指導ⅠA	秋	1	選択必修	子どもの音楽と表現	春	1
		選択必修	保育実習ⅠB	秋	2	選択必修	造形表現	春	1
		選択必修	保育実習指導ⅠB	秋	1	選択必修	保育実習Ⅱ	秋	2
		選択必修	教育実習Ⅰ	秋	2	選択必修	保育実習指導Ⅱ	秋	1
		選択必修	教育実習指導	春	1	選択必修	保育実習Ⅲ	秋	2
	総合演習					選択必修	保育実習指導Ⅲ	秋	1
	卒業研究					必修	教育実習Ⅱ	春	3
						必修	保育・教職実践演習(幼稚園)	秋	2
						必修	卒業研究Ⅰ	春	1
						必修	卒業研究Ⅱ	秋	1

※卒業要件
・必修:全科目の中から指定されている33単位をすべて履修。
・選択必修:32単位以上(幼免必修を含む)を履修。
・合計65単位以上履修
※学期欄の数字はクラス数で、数字のないものは1クラス。
※キャリアデザイン学科の科目も履修すれば、原則として単位認定される。ただし、卒業要件単位には含まれない。

コミュニティ子ども学科資格要件一覧 2024年度入学生

分類	区分	科目	形態	卒業要件		保育士資格要件		幼免取得要件 必修科目
				必修単位数	選択必修単位数	必修科目	選択必修科目	
教養科目	外国語、体育 以外の科目	新島襄ーその時代と生涯ー	講義		2		○	
		日本国憲法	講義		2		○	○
		キリスト教入門	講義	2		○		
		音楽	講義		2		○	
		心理学	講義		2		○	
		基礎演習Ⅰ	演習	2				
		基礎演習Ⅱ	演習	2				
		文章表現法	講義	1				
		地域と子ども	講義	2				
		社会人マナー	講義	2				
		短期留学	演習		4		○	
		情報リテラシーⅠ	演習	2		○		○
		情報リテラシーⅡ	演習		2		○	
外国語	英語	英語コミュニケーション	演習	2		○		○
	体育	身体運動	実技	1		○		○
		健康科学論	講義	1		○		○
専門科目	保育の本質・ 内容に関する 科目	保育原理	講義	2		○		
		教育原理	講義	2		○		○
		子ども家庭福祉	講義	2		○		
		社会福祉	講義	2		○		
		子ども家庭支援論	講義		2	○		
		社会的養護Ⅰ	講義		2	○		
		保育者論	講義	2		○		
		障がい者福祉	講義		2		○	
		キリスト教保育	演習	2			○	○
		海外保育事情	講義		2		○	
		教職基礎理論	講義		2		○	○
		保育の心理学	講義	2		○		○
	保育の対象の 理解に関する 科目	子ども家庭支援の心理学	講義		2	○		
		子どもの理解と援助	演習		1	○		
		子どもの保健	講義		2	○		
		子どもの食と栄養	演習		2	○		
		福祉のこころ	演習		1		○	
		支援のこころ	演習		1		○	
		子どもと健康	講義		1			○
	保育の内容・ 方法に関する 科目	子どもと人間関係	講義		1			○
		子どもと言葉	講義		1			○
		子どもと表現	講義		1			○
		カリキュラム論	講義		2	○		○
		保育内容総論	演習		1	○		○
		保育内容環境	演習		2	○		○
		保育内容言葉	演習		2	○		○
		保育内容健康	演習		2	○		○
		保育内容人間関係	演習		2	○		○
		保育内容表現	演習		2	○		○
		保育内容の理解と方法（音楽）	演習		1	○		
		保育内容の理解と方法（身体）	演習		1	○		
		保育内容の理解と方法（造形）	演習		1	○		
		保育内容の理解と方法（児童文化）	演習		1	○		
		乳児保育Ⅰ	講義		2	○		
		乳児保育Ⅱ	演習		1	○		
		子どもの健康と安全	演習		1	○		
		特別支援教育と保育	演習		2	○		○
		社会的養護Ⅱ	演習		1	○		
		子育て支援	演習		1	○		
		保育方法論	講義		2		○	○
		教育相談	演習		2		○	○
		伴奏法	演習		1	○		
		器楽演習	演習		1		○	
		子どもの音楽と表現	演習		1		○	
		造形表現	演習		1		○	
		子どもの運動と表現	演習		1		○	
		リトミック	演習		1		○	
	実習	保育実習ⅠA	実習		2	○		
		保育実習指導ⅠA	演習		1	○		
		保育実習ⅠB	実習		2	○		
		保育実習指導ⅠB	演習		1	○		
		保育実習Ⅱ	実習		2		○保育実習Ⅱ保育 実習指導Ⅱか保育 実習Ⅲ保育実習指 導Ⅲを選択	
		保育実習指導Ⅱ	演習		1			
		保育実習Ⅲ	実習		2			
		保育実習指導Ⅲ	演習		1			
		教育実習Ⅰ	実習		2			○
		教育実習指導	演習		1			○
		教育実習Ⅱ	実習		3			○
	総合演習	保育・教職実践演習（幼稚園）	演習		2	○		○
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	1				
		卒業研究Ⅱ	演習	1				
	合計			33	99	65	39	47

- * 卒業要件は、卒業要件の必修科目33単位及び選択必修科目32単位以上を履修します。
- * 卒業要件を満たした上で、保育士資格、幼稚園教諭二種免許状を取得できます。
- 保育士資格取得要件
- ・保育士資格要件の必修科目をすべて履修。
 - ・教養科目の選択必修科目から1科目2単位以上（基礎演習ⅠⅡを除く）を履修。
 - ・保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ、保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲのいずれかを履修。
 - ・保育実習Ⅱ・Ⅲ、保育実習指導Ⅱ・Ⅲを除く専門科目の選択必修科目から7単位以上を履修。
- 幼稚園教諭二種免許状取得要件
- ・幼免必修科目をすべて履修

2-1-8 授業科目および教員配置表
＜キャリアデザイン学科キャリアデザイン専攻1年＞

グループ	ユニット	ナンバリング	授業形態	講義科目	担当教員	学期	単位	備考
必修 (REQ)	基礎演習	REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	駒田 純久	春	2	
		REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	前田 浩	春	2	
		REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	佐竹 美穂	春	2	
		REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	臂 奈津恵	春	2	
		REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	橋本 将志	春	2	
		REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	久保 覚司	春	2	
		REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	リチャード マハー	春	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	駒田 純久	秋	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	前田 浩	秋	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	佐竹 美穂	秋	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	臂 奈津恵	秋	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	橋本 将志	秋	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	久保 覚司	秋	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	リチャード マハー	秋	2	
	必修科目	REQ121	講義	キャリアデザイン論	駒田 純久	春	2	
		REQ131	講義	キリスト教入門	臂 奈津恵	春	2	
		REQ141	講義	情報処理	久保 覚司	春	2	I1
		REQ141	講義	情報処理	大澤 紀子	春	2	I2
		REQ141	講義	情報処理	根岸 泰子	春	2	I3
		REQ161	講義	総合英語	前田 浩	春	2	C1
		REQ161	講義	総合英語	森泉 孝行	春	2	C2
		REQ161	講義	総合英語	森泉 孝行	秋	2	C3
		REQ171	講義	数的リテラシー	大淵 秀代	春	2	M1
		REQ171	講義	数的リテラシー	大淵 秀代	秋	2	M2
		REQ171	講義	数的リテラシー	大淵 秀代	秋	2	M3
		REQ181	講義	文章表現法	佐竹 美穂	春	2	
英語 (ENG)	基礎英語	ENG112	講義	ライティング	リチャード マハー	秋	2	
		ENG113	講義	オーラル・イングリッシュA	リチャード マハー	春	2	人数制限あり
		ENG113	講義	オーラル・イングリッシュA	リチャード マハー	春	2	人数制限あり
		ENG114	講義	オーラル・イングリッシュB	リチャード マハー	秋	2	人数制限あり
		ENG115	講義	日常英語表現A	前田 浩	秋	2	日常英語表現Bと隔年開講
		ENG116	講義	日常英語表現B	前田 浩	秋	2	2026年度開講予定
		ENG117	講義	トピックス・イン・コミュニケーション	砂岡 ヘザー	秋	2	
	ビジネスと観光	ENG123	講義	ビジネス英会話	リチャード マハー	秋	2	人数制限あり
	進学と留学	ENG151	講義	英文法Ⅰ	前田 浩	春	2	
		ENG152	講義	アカデミック・リーディングⅠ	森泉 孝行	春	2	
		ENG154	講義	英検対策	前田 浩	春	2	
		ENG155	講義	TOEIC対策	森泉 孝行	秋	2	
		ENG158	講義	短期留学A	前田 浩	春	4	カナダ 隔年集中講義
		ENG159	講義	短期留学B	リチャード マハー	春	4	ニュージーランド 隔年集中講義 2026年度開講予定
		ENG160	講義	英文法Ⅱ	前田 浩	秋	2	
人文科学 (HUM)	キリスト教	HUM111	講義	新島襄	臂 奈津恵	春	2	
		HUM112	講義	ボランティア活動	臂 奈津恵	春	2	
		HUM115	講義	スタディツアーA	臂 奈津恵	秋	2	隔年集中講義 2026年度開講予定
		HUM116	講義	群馬キリスト教史	手島 仁	春	2	
		HUM118	講義	平和学	臂 奈津恵	秋	2	
		HUM120	講義	ボランティアプロジェクト	臂 奈津恵	春	2	
	教育	HUM121	講義	日本教育論	高山 有紀	秋	2	
	歴史	HUM131	講義	日本史概論	高山 有紀	春	2	
		HUM132	講義	日本思想史	高山 有紀	秋	2	2026年度開講予定
	文学	HUM141	講義	国文学概論	佐竹 美穂	秋	2	
		HUM142	講義	文学	佐竹 美穂	秋	2	
		HUM143	講義	地域の文学	佐竹 美穂	春	2	
	文化	HUM151	講義	美術	喜多村 徹雄	秋	2	
		HUM152	講義	音楽	澤田 まゆみ	秋	2	CC同時開講
		HUM153	講義	日本文化財論	高山 有紀	春	2	
		HUM154	講義	日本の伝統文化	高山 有紀	秋	2	
		HUM155	講義	スタディツアーB	佐竹 美穂	秋	2	隔年集中講義
		HUM156	講義	食文化概論	金澤 亜希子	秋	2	
	思想	HUM161	講義	思想	福田 肇	秋	2	
	心理	HUM171	講義	心理学	成田 小百合	春	2	CC同時開講
		HUM172	講義	家族の心理学	成田 小百合	秋	2	CC同時開講
	日本語	HUM181	講義	日本語教育A	森田 恵	春	2	
		HUM182	講義	日本語教育B	森田 恵	秋	2	
		HUM185	講義	日本語の仕組みⅠ		春	2	留学生科目
		HUM186	講義	日本語の仕組みⅡ		秋	2	留学生科目
		HUM189	講義	小論文作成法	佐竹 美穂	秋	2	
	韓国	HUM191	講義	韓国語初級Ⅰ	金 恩福	春	2	人数制限あり
		HUM192	講義	韓国語初級Ⅱ	金 恩福	秋	2	人数制限あり
		HUM193	講義	韓国文化Ⅰ	厳 アルム	春	2	
		HUM194	講義	韓国文化Ⅱ	厳 アルム	秋	2	

グループ	ユニット	ナンバリング	授業形態	講義科目	担当教員	学期	単位	備考
社会科学 (SOC)	政治	SOC111	講義	政治学	橋本 将志	春	2	
		SOC112	講義	国際関係論	橋本 将志	秋	2	
		SOC113	講義	行政学	橋本 将志	秋	2	
		SOC116	講義	市民参加論	橋本 将志	秋	2	
		SOC117	講義	政策形成ワークショップ	橋本 将志	春	2	人数制限あり
		SOC119	講義	まちづくり論	臂 徹	春	2	
	経済	SOC121	講義	ミクロ経済学	福嶋 聡	春	2	
		SOC122	講義	マクロ経済学	福嶋 聡	秋	2	
		SOC123	講義	日本経済論	福嶋 聡	秋	2	
		SOC126	講義	地域食品産業論	溝口 康	秋	2	
	法律	SOC132	講義	日本国憲法	橋本 将志	秋	2	
	経営	SOC141	講義	簿記・会計の基礎	掛川 康晴	春	2	
		SOC142	講義	財務会計	掛川 康晴	秋	2	
		SOC143	講義	経営学Ⅰ	駒田 純久	秋	2	
		SOC144	講義	流通論	駒田 純久	秋	2	
		SOC146	講義	商品開発	福島 香織	秋	2	
		SOC147	講義	消費者行動論	福島 香織	秋	2	
		SOC148	講義	マーケティング論	福島 香織	春	2	
		SOC149	講義	起業論	駒田 純久	春	2	
		SOC150	講義	観光マーケティング	外山 晶樹	春	2	
	キャリア	SOC161	講義	ビジネスインターンシップ	駒田 純久	春	2	
		SOC163	講義	日本語表現学	福田 肇	春	2	人数制限あり
		SOC164	講義	社会人力養成講座	杉崎 由里	春	2	
		SOC169	講義	プロジェクトワークショップ	橋本 将志	秋	2	人数制限あり
		SOC170	講義	ビジネスマナー	野口 輝美	春	2	
		SOC171	講義	秘書検定対策	野口 輝美	秋	2	
		SOC172	講義	キャリアデザイン演習	駒田 純久	秋	2	
	社会学	SOC181	講義	社会学	松下 峻也	秋	2	
自然科学 (NAT)	情報技術	NAT131	講義	ITデータ分析	久保 覚司	秋	2	人数制限あり
		NAT132	講義	Web技術入門	根岸 泰子	秋	2	人数制限あり
		NAT134	講義	データベース管理入門	根岸 泰子	秋	2	人数制限あり
		NAT136	講義	プログラミング入門	根岸 泰子	秋	2	人数制限あり
		NAT137	講義	Webコミュニケーション	志賀 元清	春	2	人数制限あり
		NAT138	講義	動画制作	志賀 元清	秋	2	人数制限あり
		NAT138	講義	動画制作	志賀 元清	秋	2	人数制限あり
フード (FOD)	フード	FOD113	講義	フードビジネス特別講義Ⅰ	溝口 康	秋	2	
資格 (QUL)	試験対策	QUL111	講義	SPI対策	井野 正康	秋	2	
		QUL112	講義	公務員試験プログラムⅠ	永井 毅	秋	2	
	情報	QUL122	講義	CGⅠ	竹澤 みか	秋	2	人数制限あり
		QUL124	講義	MOS Word	大澤 紀子	秋	2	人数制限あり
		QUL125	講義	MOS Excel	久保 覚司	春	2	人数制限あり
		QUL125	講義	MOS Excel	大澤 紀子	秋	2	人数制限あり
		QUL127	講義	ITパスポート対策	根岸 泰子	秋	2	
		QUL128	講義	MOS PowerPoint	久保 覚司	秋	2	人数制限あり
	商業	QUL131	講義	日商簿記試験対策Ⅰ	掛川 康晴	春	2	
		QUL132	講義	日商簿記試験対策Ⅱ	掛川 康晴	秋	2	
		QUL133	講義	ファイナンシャルプランナーⅠ	宮一 幸子	秋	2	
	事務	QUL141	講義	色彩学入門	柳澤 美樹	秋	2	
		QUL142	講義	医療事務試験対策Ⅰ	小林 美江	春	2	
		QUL143	講義	医療事務試験対策Ⅱ	小林 美江	秋	2	
	フード	QUL151	講義	フード・コーディネーター対策講座Ⅰ	金澤 亜希子	春	2	
		QUL152	講義	フード・コーディネーター対策講座Ⅱ	金澤 亜希子	秋	2	
		QUL153	講義	スーパーマーケット検定対策	溝口 康	秋	2	

2-1-8 授業科目および教員配置表
 <キャリアデザイン学科フードビジネス専攻1年>

グループ	ユニット	ナンバリング	授業形態	講義科目	担当教員	学期	単位	備考
必修 (REQ)	基礎演習	REQ111	演習	基礎演習Ⅰ	福島 香織	春	2	
		REQ112	演習	基礎演習Ⅱ	福島 香織	秋	2	
	必修科目	REQ121	講義	キャリアデザイン論	駒田 純久	春	2	
		REQ131	講義	キリスト教入門	臂 奈津恵	春	2	
		REQ141	講義	情報処理	根岸 泰子	春	2	I3
		REQ	講義	フードビジネス入門	溝口 康	春	2	
		REQ	講義	フィールドスタディⅠ	溝口 康	春	2	
		REQ	講義	フードビジネス特別講義Ⅰ	溝口 康	秋	2	
英語 (ENG)	基礎英語	ENG112	講義	ライティング	リチャード マハー	秋	2	
		ENG113	講義	オーラル・イングリッシュA	リチャード マハー	春	2	人数制限あり
		ENG113	講義	オーラル・イングリッシュA	リチャード マハー	春	2	人数制限あり
		ENG114	講義	オーラル・イングリッシュB	リチャード マハー	秋	2	人数制限あり
		ENG115	講義	日常英語表現A	前田 浩	秋	2	日常英語表現Bと隔年開講
		ENG116	講義	日常英語表現B	前田 浩	秋	2	2026年度開講予定
		ENG117	講義	トピックス・イン・コミュニケーション	砂岡 ヘザー	秋	2	
	ビジネスと観光	ENG123	講義	ビジネス英会話	リチャード マハー	秋	2	人数制限あり
	進学と留学	ENG151	講義	英文法Ⅰ	前田 浩	春	2	
		ENG152	講義	アカデミック・リーディングⅠ	森泉 孝行	春	2	
		ENG154	講義	英検対策	前田 浩	春	2	
		ENG155	講義	TOEIC対策	森泉 孝行	秋	2	
		ENG158	講義	短期留学A	前田 浩	春	4	カナダ 隔年集中講義
		ENG159	講義	短期留学B	リチャード マハー	春	4	ニュージーランド 隔年集中講義 2026年度開講予定
		ENG160	講義	英文法Ⅱ	前田 浩	秋	2	
人文科学 (HUM)	キリスト教	HUM111	講義	新島襄	臂 奈津恵	春	2	
		HUM112	講義	ボランティア活動	臂 奈津恵	春	2	
		HUM115	講義	スタディツアーA	臂 奈津恵	秋	2	隔年集中講義 2026年度開講予定
		HUM116	講義	群馬キリスト教史	手島 仁	春	2	
		HUM118	講義	平和学	臂 奈津恵	秋	2	
		HUM120	講義	ボランティアプロジェクト	臂 奈津恵	春	2	
	教育	HUM121	講義	日本教育論	高山 有紀	秋	2	
	歴史	HUM131	講義	日本史概論	高山 有紀	春	2	
		HUM132	講義	日本思想史	高山 有紀	秋	2	2026年度開講予定
	文学	HUM141	講義	国文学概論	佐竹 美穂	秋	2	
		HUM142	講義	文学	佐竹 美穂	秋	2	
		HUM143	講義	地域の文学	佐竹 美穂	春	2	
	文化	HUM151	講義	美術	喜多村 徹雄	秋	2	
		HUM152	講義	音楽	澤田 まゆみ	秋	2	CC同時開講
		HUM153	講義	日本文化財論	高山 有紀	春	2	
		HUM154	講義	日本の伝統文化	高山 有紀	秋	2	
		HUM155	講義	スタディツアーB	佐竹 美穂	秋	2	隔年集中講義
		HUM156	講義	食文化概論	金澤 亜希子	秋	2	
	思想	HUM161	講義	思想	福田 肇	秋	2	
	心理	HUM171	講義	心理学	成田 小百合	春	2	CC同時開講
		HUM172	講義	家族の心理学	成田 小百合	秋	2	CC同時開講
	日本語	HUM181	講義	日本語教育A	森田 恵	春	2	
		HUM182	講義	日本語教育B	森田 恵	秋	2	
		HUM185	講義	日本語の仕組みⅠ		春	2	留学生科目
		HUM186	講義	日本語の仕組みⅡ		秋	2	留学生科目
		HUM189	講義	小論文作成法	佐竹 美穂	秋	2	
	韓国	HUM191	講義	韓国語初級Ⅰ	金 恩福	春	2	人数制限あり
		HUM192	講義	韓国語初級Ⅱ	金 恩福	秋	2	人数制限あり
		HUM193	講義	韓国文化Ⅰ	巖 アルム	春	2	
		HUM194	講義	韓国文化Ⅱ	巖 アルム	秋	2	
	政治	SOC111	講義	政治学	橋本 将志	春	2	
		SOC112	講義	国際関係論	橋本 将志	秋	2	
		SOC113	講義	行政学	橋本 将志	秋	2	
		SOC116	講義	市民参加論	橋本 将志	秋	2	
		SOC117	講義	政策形成ワークショップ	橋本 将志	春	2	人数制限あり
		SOC119	講義	まちづくり論	臂 徹	春	2	
	経済	SOC121	講義	ミクロ経済学	福島 聡	春	2	
		SOC122	講義	マクロ経済学	福島 聡	秋	2	
		SOC123	講義	日本経済論	福島 聡	秋	2	
		SOC124	講義	地域食品産業論	溝口 康	秋	2	
	法律	SOC132	講義	日本国憲法	橋本 将志	秋	2	

グループ	ユニット	ナンバリング	授業 形態	講義科目	担当教員	学期	単位	備考
社会科学 (SOC)	経営	SOC141	講義	簿記・会計の基礎	掛川 康晴	春	2	
		SOC142	講義	財務会計	掛川 康晴	秋	2	
		SOC143	講義	経営学Ⅰ	駒田 純久	秋	2	
		SOC144	講義	流通論	駒田 純久	秋	2	
		SOC146	講義	商品開発	福島 香織	秋	2	
		SOC147	講義	消費者行動論	福島 香織	秋	2	
		SOC148	講義	マーケティング論	福島 香織	春	2	
		SOC149	講義	起業論	駒田 純久	春	2	
		SOC150	講義	観光マーケティング	外山 晶樹	春	2	
		SOC161	講義	ビジネスインターンシップ	駒田 純久	春	2	
	キャリア	SOC163	講義	日本語表現学	福田 肇	春	2	
		SOC164	講義	社会人力養成講座	杉崎 由里	春	2	
		SOC169	講義	プロジェクトワークショップ	橋本 将志	秋	2	人数制限あり
		SOC170	講義	ビジネスマナー	野口 輝美	春	2	
		SOC171	講義	秘書検定対策	野口 輝美	秋	2	
		SOC172	講義	キャリアデザイン演習	駒田 純久	秋	2	
	社会学	SOC181	講義	社会学	松下 峻也	秋	2	
自然科学 (NAT)	情報技術	NAT131	講義	ITデータ分析	久保 覚司	秋	2	人数制限あり
		NAT132	講義	Web技術入門	根岸 泰子	秋	2	人数制限あり
		NAT134	講義	データベース管理入門	根岸 泰子	秋	2	人数制限あり
		NAT136	講義	プログラミング入門	根岸 泰子	秋	2	人数制限あり
		NAT137	講義	Webコミュニケーション	志賀 元清	春	2	人数制限あり
		NAT138	講義	動画制作	志賀 元清	秋	2	人数制限あり
フード (FOD)	フード	FOD111	講義	調理学実習	伊藤 武	秋	2	
		FOD112	講義	フィールドスタディⅡ	溝口 康	秋	2	
資格 (QUL)	試験対策	QUL111	講義	SPI対策	井野 正康	秋	2	
		QUL112	講義	公務員試験プログラムⅠ	永井 毅	秋	2	
		QUL122	講義	CGⅠ	竹澤 みか	秋	2	人数制限あり
	情報	QUL124	講義	MOS Word	大澤 紀子	秋	2	人数制限あり
		QUL125	講義	MOS Excel	久保 覚司	春	2	人数制限あり
		QUL125	講義	MOS Excel	大澤 紀子	秋	2	人数制限あり
		QUL127	講義	ITパスポート対策	根岸 泰子	秋	2	
		QUL128	講義	MOS PowerPoint	久保 覚司	秋	2	人数制限あり
	商業	QUL131	講義	日商簿記試験対策Ⅰ	掛川 康晴	春	2	
		QUL132	講義	日商簿記試験対策Ⅱ	掛川 康晴	秋	2	
		QUL133	講義	ファイナンシャルプランナーⅠ	宮一 幸子	秋	2	
	事務	QUL141	講義	色彩学入門	柳澤 美樹	秋	2	
		QUL142	講義	医療事務試験対策Ⅰ	小林 美江	春	2	
		QUL143	講義	医療事務試験対策Ⅱ	小林 美江	秋	2	
	フード	QUL151	講義	フード・コーディネーター対策Ⅰ	金澤 亜希子	春	2	
		QUL152	講義	フード・コーディネーター対策Ⅱ	金澤 亜希子	秋	2	
		QUL153	講義	スーパーマーケット検定対策	溝口 康	秋	2	

＜キャリアデザイン学科2年＞

グループ	ユニット	ナンバリング	授業形態	講義科目	担当教員	学期	単位	備考
必修 (REQ)	卒業研究	REQ211	演習	卒業研究Ⅰ	駒田 純久	春	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅰ	高山 有紀	春	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅰ	佐竹 美穂	春	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅰ	臂 奈津恵	春	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅰ	橋本 将志	春	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅰ	久保 覚司	春	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅱ	駒田 純久	秋	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅱ	高山 有紀	秋	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅱ	佐竹 美穂	秋	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅱ	臂 奈津恵	秋	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅱ	橋本 将志	秋	2	
		REQ211	演習	卒業研究Ⅱ	久保 覚司	秋	2	
英語 (ENG)	ビジネスと観光	ENG221	講義	観光英会話	砂岡 ヘザー	春	2	人数制限あり
	英語イマージョン	ENG241	講義	スピーチ・コミュニケーション	リチャード マハー	春	2	人数制限あり
		ENG243	講義	英語で学ぶアメリカ社会	リチャード マハー	秋	2	
	進学と留学	ENG253	講義	英米文学	リチャード マハー	春	2	
		ENG254	講義	アカデミック・リーディングⅢ	前田 浩	春	2	
人文科学 (HUM)	文化	HUM251	講義	スローフード論	金澤 亜希子	春	2	
	韓国	HUM291	講義	韓国語中級Ⅰ	金 恩福	春	2	人数制限あり
		HUM292	講義	韓国語中級Ⅱ	金 恩福	秋	2	人数制限あり
社会科学 (SOC)	政治	SOC211	講義	現代地方自治	橋本 将志	春	2	
		SOC212	講義	社会政策論	橋本 将志	春	2	
	経営	SOC241	講義	原価計算・工業簿記	掛川 康晴	春	2	
		SOC243	講義	経営学Ⅱ	駒田 純久	春	2	
自然科学 (NAT)	情報技術	NAT231	講義	コンピュータ科学	久保 覚司	春	2	人数制限あり
資格 (QUL)	試験対策	QUL211	講義	公務員試験プログラムⅡ	永井 毅	春	2	
		QUL212	講義	公務員試験プログラムⅢ	並木 敏幸	春	2	
	情報	QUL223	講義	CGⅡ	竹澤 みか	春	2	人数制限あり
	商業	QUL231	講義	ファイナンシャルプランナーⅡ	宮一 幸子	春	2	

<コミュニティ子ども学科 1年>

分類	区分	卒業要件 必修・選択	保育士資格 必修・選択	幼稚園免許 必修	授業 形態	ナンバリング	学則科目名称	担当教員	学期	単位	クラス指定等
教養科目（L A）	外国語、 体育以外の科目 （B）	選択必修	選択必修		講義	CLAB1301	新島襄ーその時代と生涯ー	臂 奈津恵	春	2	同時開講CD
		選択必修	選択必修	幼免必修	講義	CLAB1202	日本国憲法	橋本 将志	秋	2	
		必修	必修		講義	CLAB1106	キリスト教入門	臂 奈津恵	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1111	基礎演習Ⅰ	澤田 まゆみ	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1111	基礎演習Ⅰ	鈴木 まゆみ	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1111	基礎演習Ⅰ	成田 小百合	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1111	基礎演習Ⅰ	福島 秀起	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1111	基礎演習Ⅰ	渡邊 哲也	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1111	基礎演習Ⅰ	櫻井 剛	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1111	基礎演習Ⅰ	草間 吉夫	春	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1112	基礎演習Ⅱ	澤田 まゆみ	秋	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1112	基礎演習Ⅱ	鈴木 まゆみ	秋	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1112	基礎演習Ⅱ	成田 小百合	秋	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1112	基礎演習Ⅱ	福島 秀起	秋	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1112	基礎演習Ⅱ	渡邊 哲也	秋	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1112	基礎演習Ⅱ	櫻井 剛	秋	2	
		必修	選択必修		演習	CLAB1112	基礎演習Ⅱ	草間 吉夫	秋	2	
		必修	必修		講義	CLAB1108	文章表現法	佐竹 美穂	春	1	
		必修	必修		講義	CBLA1110	地域と子ども	渡邊 哲也	春	2	
		必修	必修	幼免必修	演習	CLAB1118	情報リテラシーⅠ	根岸 泰子	春	2	H1
		必修	必修	幼免必修	演習	CLAB1118	情報リテラシーⅠ	根岸 泰子	春	2	H2
	体育（PE）	必修	必修	幼免必修	講義	CLAPE1117	健康科学論	後藤 香織	秋	1	
専門科目（M）	保育の本質・ 目的に関する 科目 （EG）	必修	必修		講義	CMEG1101	保育原理	渡邊 哲也	秋	2	
		必修	必修	幼免必修	講義	CMEG1102	教育原理	渡邊 哲也	春	2	
		必修	必修		講義	CMEG1103	子ども家庭福祉	草間 吉夫	秋	2	
		選択必修	必修		講義	CMEG1103	社会的養護Ⅰ	草間 吉夫	春	2	
		必修	必修		講義	CMEG1107	保育者論	福島 秀起	春	2	
	保育の対象の 理解に関する 科目 （UC）	必修	必修	幼免必修	講義	CMUC1112	保育の心理学	成田 小百合	春	2	
		選択必修	必修		演習	CMUC1119	子ども家庭支援の心理学	成田 小百合	秋	2	同時開講CD
		選択必修	必修		演習	CMUC1117	子どもの食と栄養	後藤 香織	秋	2	
	保育の内容・ 方法に関する 科目 （PM）	選択必修	選択必修	幼免必修	講義	CMPM1265	子どもと表現	澤田 まゆみ	春	1	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM1119	カリキュラム論	渡邊 哲也	春	2	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM1121	保育内容 環境	三友 正美	春	2	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM1122	保育内容 言葉	鈴木 まゆみ	春	2	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM1124	保育内容 健康	上村 孝司	春	2	集中講義
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM1125	保育内容 人間関係	成田 小百合	秋	2	
		選択必修	必修		演習	CMPM1141	保育内容の理解と方法（音楽）	澤田 まゆみ 朝倉 美幸 野崎 由美 大馬 葉月	秋	1	H1
		選択必修	必修		演習	CMPM1141	保育内容の理解と方法（音楽）	澤田 まゆみ 星野 香乃 佐藤 貴子 野崎 由美	秋	1	H2
		選択必修	必修		演習	CMPM1139	保育内容の理解と方法（造形）	櫻井 剛	秋	1	H1
		選択必修	必修		演習	CMPM1139	保育内容の理解と方法（造形）	櫻井 剛	秋	1	H2
		選択必修	必修		演習	CMPM1140	保育内容の理解と方法（児童文化）	田子 智代	秋	1	
		選択必修	必修		講義	CMPM1126	乳児保育Ⅰ	樋口 和子	春	2	
		選択必修	選択必修	幼免必修	講義	CMPM1230	保育方法論	福島 秀起	秋	2	
		選択必修	必修		演習	CMPM1137	伴奏法	澤田 まゆみ 久保田 和子 鷹野 恵 茂木 夕起子	春	1	H1
		選択必修	必修		演習	CMPM1137	伴奏法	澤田 まゆみ 久保田 和子 鷹野 恵 茂木 夕起子	春	1	H2
		選択必修	選択必修		演習	CMPM1269	子どもの運動と表現	上村 孝司	春	1	
		選択必修	選択必修		演習	CMPM1364	リトミック	瓜生 郷子	秋	1	20人
	実習 （NP）	選択必修	必修		演習	CMNP1145	保育実習ⅠA	渡邊 哲也	秋	2	集中講義
		選択必修	必修		演習	CMNP1141	保育実習指導ⅠA	渡邊 哲也	秋	1	
		選択必修	必修		演習	CMNP1142	保育実習ⅠB	草間 吉夫	秋	2	集中講義
		選択必修	必修		演習	CMNP1146	保育実習指導ⅠB	草間 吉夫	秋	1	
		選択必修		幼免必修	演習	CMNP1203	教育実習Ⅰ	櫻井 剛	秋	2	集中講義
		選択必修		幼免必修	演習	CMNP1204	教育実習指導	櫻井 剛	春	1	

＜コミュニティ子ども学科 2年＞

分類	区分	卒業要件 必修・選択	保育士資格 必修・選択	幼稚園免許 必修	授業 形態	ナンバリング	学則科目名称	担当教員	学期	単位	クラス指定等
教養科目	外国語、 体育以外の科目 (B)	選択必修	選択必修		講義	CLAB2324	音楽	澤田 まゆみ	秋	2	
		選択必修	選択必修		講義	CLAB1305	心理学	成田 小百合	春	2	同時開講CD
		必修			講義	CLAB2125	社会人マナー	野口 輝美	春	2	
		選択必修	選択必修		演習	CBIL2319	情報リテラシーⅡ	久保 覚司	秋	2	
		選択必修	選択必修		演習	CBLA2313	短期留学	渡邊 哲也	秋	4	集中講義
	外国語(EN)	必修	必修	幼免必修	講義	CLAEN1115	英語コミュニケーション	リチャード マハー	春	2	
専門科目（M）	体育	必修	必修	幼免必修	実技	CLAPE116	身体運動	上村 孝司	秋	1	
	保育の本質・目的 に関する科目 (EG)	選択必修	必修		講義	CMEG2150	子ども家庭支援論	草間 吉夫	春	2	
		必修	必修		講義	CEMG1104	社会福祉	草間 吉夫	秋	2	
		選択必修	選択必修		講義	CMEG1310	障がい者福祉	相馬 美幸	春	2	
		必修	選択必修	幼免必修	演習	CMEG2108	キリスト教保育	渡邊 哲也	秋	2	
		選択必修	選択必修		講義	CMEG2309	海外保育事情	渡邊 哲也	秋	2	
		選択必修	選択必修	幼免必修	講義	CMEG1310	教職基礎理論	福島 秀起	秋	2	
	保育の対象の理 解に関する科目 (UC)	選択必修	必修		演習	CMUC2152	子どもの理解と援助	鈴木 まゆみ	春	1	
		選択必修	必修		講義	CMUC1114	子どもの保健	丸山 憲一	春	2	
		選択必修	選択必修		演習	CMUC1118	福祉のこころ	草間 吉夫	春	1	
		選択必修	選択必修		演習	CMUC2353	支援のこころ	成田 小百合	秋	1	
	保育の内容・方法 に関する科目 (PM)	選択必修	選択必修	幼免必修	講義	CMPM2266	子どもと健康	上村 孝司	秋	1	
		選択必修	選択必修	幼免必修	講義	CMPM2267	子どもと人間関係	成田 小百合	春	1	
		選択必修	選択必修	幼免必修	講義	CMPM2268	子どもと言葉	鈴木 まゆみ	春	1	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM2120	保育内容 総論	黒田 淑子	秋	1	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM2123	保育内容 表現	櫻井 剛	春	2	
		選択必修	必修		演習	CMPM2155	保育内容の理解と方法(身体)	鈴木 まゆみ	秋	1	
		選択必修	必修		演習	CMPM2158	乳児保育Ⅱ	樋口 和子	秋	1	
		選択必修	必修		演習	CMPM2159	子どもの健康と安全	野口 和恵	秋	1	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM1127	特別支援教育と保育	成田 小百合	春	2	
		選択必修	必修	幼免必修	演習	CMPM1128	社会的養護Ⅱ	草間 吉夫	春	1	
		選択必修	必修		演習	CMPM2160	子育て支援	鈴木 まゆみ	秋	1	
		選択必修	選択必修	幼免必修	演習	CMPM2361	教育相談	成田 小百合	秋	2	
		選択必修	選択必修		演習	CMET2336	器楽演習	澤田 まゆみ 福島 秀起 朝倉 美幸 佐藤 貴子 猿谷 友規	秋	1	30人
		選択必修	選択必修		演習	CMPM2270	子どもの音楽と表現	澤田 まゆみ 朝倉 美幸 野崎 由美 佐藤 貴子 鷹野 恵	春	1	24人
		選択必修	選択必修		演習		造形表現	櫻井 剛	春	1	
	実習(NP)	選択必修	選択必修		実習	CMNP2343	保育実習Ⅱ	渡邊 哲也	秋	2	
		選択必修	選択必修		演習	CMNP2347	保育実習指導Ⅱ	渡邊 哲也	秋	1	
		選択必修	選択必修		実習	CMNP2344	保育実習Ⅲ	草間 吉夫	秋	2	
		選択必修	選択必修		演習	CMNP2348	保育実習指導Ⅲ	草間 吉夫	秋	1	
		選択必修		幼免必修	実習	CLTT2204	教育実習Ⅱ	櫻井 剛	春	3	
	総合演習	選択必修	必修	幼免必修	演習	CMCE2149	保育・教職実践演習(幼稚園)	櫻井 剛 澤田 まゆみ 鈴木 まゆみ	秋	2	
	卒業研究	必修	必修		演習	CBLA2120	卒業研究Ⅰ	澤田 まゆみ	春	1	
		必修	必修		演習	CBLA2120	卒業研究Ⅰ	鈴木 まゆみ	春	1	
		必修	必修		演習	CBLA2120	卒業研究Ⅰ	成田 小百合	春	1	
		必修	必修		演習	CBLA2120	卒業研究Ⅰ	福島 秀起	春	1	
		必修	必修		演習	CBLA2120	卒業研究Ⅰ	渡邊 哲也	春	1	
		必修	必修		演習	CBLA2120	卒業研究Ⅰ	櫻井 剛	春	1	
		必修	必修		演習	CBLA2120	卒業研究Ⅰ	草間 吉夫	春	1	
		必修	必修		演習	CBLA2121	卒業研究Ⅱ	澤田 まゆみ	秋	1	
		必修	必修		演習	CBLA2121	卒業研究Ⅱ	鈴木 まゆみ	秋	1	
		必修	必修		演習	CBLA2121	卒業研究Ⅱ	成田 小百合	秋	1	
		必修	必修		演習	CBLA2121	卒業研究Ⅱ	福島 秀起	秋	1	
		必修	必修		演習	CBLA2121	卒業研究Ⅱ	渡邊 哲也	秋	1	
		必修	必修		演習	CBLA2121	卒業研究Ⅱ	櫻井 剛	秋	1	
		必修	必修		演習	CBLA2121	卒業研究Ⅱ	草間 吉夫	秋	1	

2-2 授業

2-2-1 授業期間

授業期間は春学期と秋学期の2学期に分かれ、それぞれ15週実施します。(7～10 ページ参照)

2-2-2 単位の計算方法

学則第8条 [16 ページ] 及び、単位について [38 ページ] をご覧ください。

2-2-3 授業科目の単位

39～51 ページをご覧ください。

2-2-4 授業時間

授業時間は次のとおりです。

	1 時限	2 時限	3 時限	4 時限	5 時限
開 始	9 : 00	10 : 40	13 : 10	14 : 50	16 : 30
〃	〃	〃	〃	〃	〃
終 了	10 : 30	12 : 10	14 : 40	16 : 20	18 : 00

2-2-5 授業欠席（公欠）の取扱い

コミュニティ子ども学科では、厚生労働省の指導により、いかなる理由であっても公欠の取扱いはいたしません。

キャリアデザイン学科では、就職活動や編入学試験、大会参加等のため止む得ず授業等を欠席する場合の「公欠」の取扱いを下記のように定めます。

①授業時間にできるだけかからないよう努力してください。

やむを得ず授業等に重なる場合は、原則として、事前に公欠する科目担当教員の了解を得てから欠席してください。(無断で欠席しないようにしてください。)

②キャリアセンター窓口で交付願に記入の上、事前に本学所定の用紙の交付を受け、参加後7日以内に提出してください。

交付・提出窓口：キャリアセンター（本館1階）

各提出書類は、押印がない場合、原則受理しません。

また、提出期日経過後は、原則受理しません。(欠席扱いとなります。)

③公欠として認められる事項

- ・ 就職活動（会社説明会、就職試験、内定式等）
- ・ 編入学試験
- ・ 感染症にかかった場合（「感染症」については、61 ページを参照。）
- ・ 関東レベル（一都六県）以上の公的競技への参加で学生委員会が認めたもの
- ・ 本学からの要請に基づく校務遂行のため教務委員会が認めたもの
- ・ ビジネスインターンシップ、新短ワークプロジェクトA～D等、正規の授業によるもの
- ・ その他、教育上有益な活動で教務委員会が認めたもの
- ・ 忌引き

④所定用紙は次のとおり

A「公欠願」（用紙サイズB5判）

- ・ 公欠として授業を欠席する場合に提出する。
- ・ 就職活動で公欠する場合は、B「就職試験受験（会社訪問）証明書」を添付する。
- ・ ビジネスインターンシップ、新短ワークプロジェクトA～D等に参加した場合は、訪問した企業

に証明をもらう

- ・ 編入学試験で公欠する場合は、「受験票の写し」を添付する。
- ・ 大会参加等の場合は、「学外大会試合等参加願」を事前に学務課へ提出する。
- ・ 授業の公欠回数（累計）を記入する。（就職以外の公欠も含む累計）
- ・ 欠席回数は自己管理すること。
- ・ 原則として1科目につき公欠3回を限度

B「就職試験受験（会社訪問）証明書」（用紙サイズB5判）

- ・ 就職活動の場合にA「公欠願」に添付する用紙。
- ・ 会社説明会、就職試験、内定式等に参加する場合、訪問した企業の担当者に証明してもらう。ただし、合同企業ガイダンスの場合は、主催者に証明してもらう。
- ・ 会社訪問等複数企業訪問の場合も、この「証明書」は複数枚交付を受ける（一企業ごと）。ただし、合同企業ガイダンスの場合は、主催者の証明1枚でよい。

2-3 試験・成績評価・単位の付与

2-3-1 定期試験

- ①春学期及び秋学期の定期試験期間は学年暦（7～10 ページ）に記載されていますが、実施科目、日程、時間割等の連絡は、本館掲示板・ポータルサイト（Web）で発表します。
- ②当該科目の授業出席数が2/3に満たないときは、受験できません。この判断は、担当教員・教務委員会が行い、ポータルサイトによって通知します。
- ③授業料、その他の費用を納入していなければ受験できません。都合により延納しなければならないときは、総務財務課に届け出て許可を受けてください。

④成績評価

本学では、GPA（Grade Point Average）制度を導入しています。GPAとは、履修登録した科目の成績評価の点数を、履修登録単位数で割った平均点のことです。GPA制度は、日本国内はもとより海外でも通用する、より客観的な学力証明の指標です。

区分	評価	評点（素点）	GP	GP対象	評価内容	評価の証明書記載
合 格	S	80～100 点	4	○	特に優れた成績	○
	A		3		優れた成績	
	B	70～79 点	2		妥当と認められる成績	
	C	60～69 点	1		合格と認められる最低限の成績	
不合格	E	40～59 点	0	○	合格と認められる最低限の成績に達していない成績「再試験受験資格有」	×
	F	0～39 点			合格と認められる最低限の成績にはるかに達していない成績（出席回数が2/3未満、定期試験を無許可で欠席含む）「再試験受験資格無」	
保 留	R	一時表記	—	×	正当な理由で定期試験未受験で、追試験受験許可を得た科目、成績保留科目	×
放 棄	W	履修放棄	—	×	休学のため当該学期に履修ができない科目	×
認 定	P	単位認定科目	—	×	他大学等で履修した科目の単位を本学の単位として認定した科目	○

◆GPA算出方法

$$GPA = \frac{4 \times S \text{の修得単位数} + 3 \times A \text{の修得単位数} + 2 \times B \text{の修得単位数} + 1 \times C \text{の修得単位数}}{\text{総履修登録単位数 (R・W・Pを含まない)}}$$

- ・対象科目は、S・A・B・C・E・Fの評価を得た全ての履修登録科目とする。
(卒業要件対象科目以外も含む)
- ・不合格科目 (E・F) を再履修して単位を取得した場合、過去の不合格分GPは算入されない。
- ・小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位までを示す。
- ・GPAは、成績通知書・成績証明書に記載する。
- ・成績通知書は、ゼミ担当教員がコメントを付して、成績発表日に学生に配布する。
2年次秋学期は、学務課が配布する (ゼミ担当教員のコメントなし)。

ii 成績不振学生への支援

GPA2.00以下の学生に対しては、ゼミ担当教員が面談を実施し、学習や生活に関してどのような支援が可能であるかを聞き取り、指導を行います。必要に応じて保護者との面談を実施し、定期的に授業の出席状況も確認します。

⑤単位の付与

成績評価によって合格した科目 (60点以上) については、所定の単位が与えられます。

⑥成績問い合わせ

成績発表日から約1週間、成績を問い合わせることができます。各学期の成績発表日に問い合わせ方法をポータルサイトで通知します。期間外に成績を問い合わせることはできません。

2-3-2 追試験

- ①病気、事故、その他正当な理由で試験が受けられなかったときは、定期試験期間終了後3日以内に、「追試験願」を下記③に定める書類と共に学務課に提出してください。試験の時間割は、ポータルサイトで発表します。
- ②遅刻、時間割等の見間違い、本人の不注意による未受験は追試験の対象とはなりません。
- ③就職試験や風邪等病気で受験できないときは、証明書等客観的に立証される書類を必ず用意してください。正当な理由がないときには、追試験を受験することができません。
- ④追試験の成績評価は、定期試験と同様に評価されます。

2-3-3 再試験

- ①定期試験の結果がE評価 (40～59点) の場合、2年次の学生に対しては再試験を行います。1年次の学生に対して再試験を行うか否かは、担当教員の判断によります。再試験を受験する場合には、「再試験願」を提出してください (手数料 2,000 円)。試験の時間割は、本館掲示板及びポータルサイトで発表します。
- ②再試験の成績評価は、素点が60点以上であってもすべて「C (合格・60点)」となり、素点が59点以下であれば「E (不合格)」となります。

2-3-4 卒業再試験

- ①定期試験等の結果、1科目のみが不合格であるために卒業の要件を満たさない学生に対し、卒業再試験を行うことがあります。卒業再試験を受験する場合には、「卒業再試験願」を提出してください (手数料 2,000 円)。
- ②卒業再試験の成績評価は、「C (合格・60点)」又は「F (不合格)」となります。

2-3-5 定期試験等受験上の注意点（「新島学園短期大学試験規程」参照）

筆記試験の場合

- ①机上の見やすい場所に学生証を置きます。万一、学生証を忘れた場合は、学務課で受験許可証を発行してもらってください。
- ②試験開始後 20 分以上遅刻した場合は、受験できません。試験開始後の退室については、監督者の指示に従ってください。
- ③試験会場に、試験に必要なものを持ち込まないでください。
- ④試験中、不正行為を行った場合は、学則第 45 条に規定する懲戒処分があります。この場合、当該科目は不合格となります。

レポート試験の場合

- ①担当教員から学務課への提出が指示された場合は、事務室開室時間（9 時から 17 時まで）に提出してください。締切日・締切時間以降は受け付けません。また、学務課の受付印をもらってください。

2-4 卒業

2-4-1 卒業の要件

①キャリアデザイン学科

卒業のためには、本学に 2 年間以上修学し、所定科目を履修し、卒業に必要な履修単位（68 単位以上）を修得することが必要です。

②コミュニティ子ども学科

卒業のためには、本学に 2 年間以上修学し、所定科目を履修し、卒業に必要な履修単位（65 単位以上）を修得することが必要です。

2-4-2 短期大学士の学位

卒業が認定された学生に、短期大学士の学位を授与します（学則第 11 条）。

キャリアデザイン学科 短期大学士（キャリアデザイン）

コミュニティ子ども学科 短期大学士（コミュニティ子ども）

3. 履修登録手続きについて

学期のはじめ、指定された期間内にその学期に履修する授業科目を登録します。2 年間に履修する科目を充分考慮して、間違いのないように登録してください。

3-1 履修上の注意事項

- ① 登録した科目でなければ単位を修得できません。
- ② 既に単位を修得した科目は登録できません。ただし、許可を得て聴講することは可能です。
- ③ 同日の同一時限に 2 科目を登録することはできません。
- ④ 科目によっては、クラス別に指定されているものがあります。この場合、指定された学生以外は、原則として登録できません。
- ⑤ 科目によっては、人数を制限するものがあります。この場合、指定された日時、場所で履修者を抽選の上、決定します。抽選に合格した学生は、必ず登録してください。
- ⑥ 登録した履修科目の単位を修得できなかった場合
 - i 必修科目のときは、再履修のために必ず再登録します。
 - ii 選択科目のときは、再履修のために再登録するか、あるいは他の選択科目を登録して、これに代えることができます。
- ⑦ 本学は、キャップ制を設けています。各学期に登録できる単位数は 25 単位とします。キャップ制は、授業の予習・復習の時間を確保し、適切に履修計画を立てて学修ができるように各学期に履修登録できる上限を設けることです。ただし、コミュニティ子ども学科の幼稚園教諭免許・保育士資格の修得に必要な授業科目は、履修できる単位数の上限対象としません。
- ⑧ 1 年生は 2 年次科目の登録をすることができません。2 年生は 1 年次科目を登録することができます。

3-2 履修科目登録

- ① 当該学期に履修する科目が決定したら、決められた期間内に履修科目登録を行ってください。期間内に登録しない場合は、履修できません。
- ② 登録方法（ポータルサイト）

履修科目登録は、本人の責任のもとにポータルサイトから行います。また、登録の際は、ガイダンス時に配付するマニュアルを確認してください。
- ③ 学期途中で休学した場合の科目成績評価は、「W（履修放棄）」とします。

4. 長期履修学生制度について

長期履修学生制度は、これまでのように2年間で本学を卒業する制度と異なり、一定の条件のもとに、学生が長期（上限は4年間）に計画的に授業科目を履修することによって、本学を卒業することができる制度です。この場合、学費もその年数によって1年間の支払額が変わります（総額は変わりません。）。この制度を詳しく知りたい学生は、ゼミ担当教員又は学務課で相談してください。

＊学則第3条の2参照

5. 短期留学・国内スタディツアーについて

8月～9月（春学期）及び2月（秋学期）に、異文化理解を深める主な目的として、短期留学・国内スタディツアーを実施します。参加を希望する学生は、所定の申込書を提出の上、事前・事後に行われるオリエンテーションに必ず参加してください。なお、参加希望者が10人に満たない場合は、短期留学・国内スタディツアーを中止することがあります。

短期留学

2024年度、キャリアデザイン学科では「短期留学B」を実施します。約2週間ニュージーランドのリンカーン大学(Lincoln University)で英語集中学習等を行う予定です。

コミュニティ子ども学科は、アメリカ合衆国フレズノパシフィック大学（姉妹校）で集中学習と研修旅行（約2週間）を行う予定です。

国内スタディツアー

2024年度、キャリアデザイン学科は国内において約1週間のプログラムで行う予定です。

6. 転学科について

転学科（現在所属する学科から他の学科へ所属を移すこと）を希望する場合は、本人の申請（転学科願）により、これを許可することがあります。転学科について詳しいことを知りたい学生は、ゼミ担当教員又は学務課で相談してください。

学生生活の手引き 目次

1. 日常生活

- 1-1 ゼミ担当教員
- 1-2 学生証
- 1-3 服装等
- 1-4 電話連絡
- 1-5 学生への連絡方法
- 1-6 遅刻・早退・欠席
- 1-7 学生ホール
- 1-8 学生旅客運賃割引証（学割証）
- 1-9 自動車等の通学
- 1-10 備品の貸し出し
- 1-11 弔意・災害見舞金制度
- 1-12 防災と避難
- 1-13 台風等で交通機関が遮断された場合の措置

2. 健康管理

- 2-1 定期健康診断
- 2-2 保健室
- 2-3 学生教育研究災害傷害保険
- 2-4 学生総合保険

3. 生活設計

- 3-1 奨学金等
- 3-2 アルバイト
- 3-3 遠距離入学者への補助

4. キャンパスライフ支援

- 4-1 学生生活支援
- 4-2 キャリア支援
- 4-3 障がい学生支援
- 4-4 学生相談室

5. 課外活動

- 5-1 クラブ・同好会・サークル
- 5-2 グラウンド、体育館等の使用
- 5-3 学生による集会
- 5-4 ポスター等の掲示
- 5-5 印刷物等配布
- 5-6 募金・署名活動
- 5-7 学外合宿
- 5-8 学友会
- 5-9 大学祭
- 5-10 同窓会

6. 学費

- 6-1 支払い方法
- 6-2 学費の延納
- 6-3 特待生の扱い
- 6-4 休学する場合

7. 学籍

- 7-1 休学
- 7-2 復学
- 7-3 退学
- 7-4 除籍

8. 諸手続き

- 8-1 学籍に関すること
- 8-2 身の上に関すること
- 8-3 試験に関すること
- 8-4 経済・生活に関すること
- 8-5 課外活動に関すること
- 8-6 各種証明書
- 8-7 授業料・手数料等支払いに関すること
- 8-8 その他

9. 事務取扱時間

10. 正門、西門開門時間

VI. 学生生活の手引き

皆さんは「建学の精神」「学則」「学生便覧」などをよく理解し、学修上、生活上の両面にわたり確実な生活設計をたて、充実した明るい学生生活を実現するよう努力してください。

そのために、まず、下記の学生生活について特に注意しなければならない事項や是非知っておかなければならない心得を遵守してください。

1. 日常生活

1-1 ゼミ担当教員

1年ゼミ（Fゼミ）、2年ゼミ（Aゼミ）の担当教員が、学生の学業・生活の諸問題、卒業後の進路等について、相談に応じています。個人相談、あるいは先生を囲む友人との会合等を通じて、先生や友人との交流を深めてください。

1-2 学生証

学生証は本学学生としての身分を明らかにするものですから、入学時に交付を受け、常に携帯し必要な時には提示してください。 *卒業の際に返却していただきます。

紛失した場合は、直ちに学務課に届け出て、再交付の手続きを取ってください。

なお、学生証の裏面に記載されている注意事項を確認してください。

1-3 服装等

本学学生としての品位を保つ服装等を心掛けてください。

1-4 電話連絡

電話による学生の呼び出し・問い合わせについては、緊急の場合を除いて原則として応じません。保護者等にもその旨知らせてください。

1-5 学生への連絡方法

学生に連絡する事項は、ヴェリタスホール（本館）掲示板及びポータルサイト（Webによる情報提供サービス）でお知らせしますので、毎日確認してください。

掲示板及びポータルサイトで通知した事項は、全て伝達されたものとして取り扱います。
見なかったことを理由に、責任を逃れることはできません。

ヴェリタスホール（本館） 以外の掲示板	掲示内容
グレースホール1階	催し物、キャリアセンターに関するもの
ビブリオホール（図書館棟） 入口	図書館に関するもの
屋外掲示板	宗教活動等に関するもの
キャリアセンター前	就職・編入に関するもの（企業セミナー等）
キャリアセンター内	就職・編入に関するもの（企業、保育園等の個別情報）
学生ホール	クラブ活動に関するもの
ソレイユ（研究棟）1階	実習・ボランティア・アルバイトに関するもの

1-6 遅刻・早退・欠席

出欠をとる時点以降を遅刻とします。更に、講義開始から 30 分を経過した後は欠席となります。無断早退は欠席とみなします。

出・欠席の確認については、その都度各科目の担当教員に申し出て、必要があれば訂正を願い出てください。学務課に連絡する必要はありません。後日の訂正願いは受け付けません。

また、感染症による欠席については、2. 健康管理欄を参照してください。

1-7 学生ホール

本学では、学生ホール内に食堂を開設しています。使用する場合は、秩序を守り、他の利用者に迷惑をかけないように注意してください。また学生ホールの使用は、昼食時の使用に限らず、友人との団らん等にも自由に利用することができますので活用してください。学食営業時間は、11 時 30 分から 13 時 00 分です。試験期間中や長期休暇等は営業していない場合もありますので、ヴェリタスホール（本館）掲示板及びポータルサイトを確認してください。

1-8 学生旅客運賃割引証（学割証）

課外活動、あるいは帰省等のため片道 100 kmを超えて鉄道旅行（JR のみ）する場合は、学割証が使用できます。使用希望者は、2 日以上以上の余裕を持って学務課で申請手続きをしてください。

1-9 自動車等の通学

駐車スペースが限られているため、原則として通学距離が片道 2 km以上の学生を対象に、駐車場（西門・グラウンド）を有料で貸し出します。駐車場の使用を許可された学生以外の学生の駐車場乗り入れを禁止します。大学周辺の不法駐車・路上駐車・迷惑駐車も厳禁です。なお、個人で近隣の駐車場と契約することは差し支えありません。

学内駐車場申し込みは毎年 3 月と 7 月に行い、使用許可者を決定します。無許可駐車を発見した場合、ただちにタイヤロックし、ペナルティ料（3,000 円）を徴収します。

1-10 備品の貸し出し

①ロッカー：ロッカーの使用申し込みは毎年 4 月に行い、その年度の使用許可者を決定します。

②ノートパソコン：事務室で貸し出しをしています。使用可能時間は平日 9 時～17 時。

③自転車：事務室で貸し出しをしています。使用可能時間は平日 9 時～17 時。

1-11 弔意・災害見舞金制度

「父母の会」は、弔意・災害見舞金制度を設けています。父母等及び子女が死亡した時、災害に遭われた時は、ゼミ担当教員及び学務課に速やかに申し出てください。

1-12 防災と避難

火災・地震等の場合の避難路（非常口、非常階段等）は、どこが適当かを常に念頭において承知しておき、非常の場合に対処できるようにしてください。なお、授業中に避難を要する事態が発生した場合は、担当教員の指示に従って避難してください。

1-13 台風等で交通機関が遮断された場合の措置

① 台風襲来及び降雪等の場合、高崎市に警報（大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪のいずれか 以下「警報」）が発令中であれば休講とします。午前 7 時に発令中であれば午前中（1・2 限）の授業は休講とし、午前 10 時 30 分に警報が発令中であれば午後の授業（3・4・5 限）を休講とします。定期試験期間中の場合、午前 7 時に発令中であれば終日休講とします。

② 自然災害等で交通機関が遮断された場合、一律の休校はしませんが、交通機関の混乱が予想されますので、無理して通学しないでください。お住まいの地域で災害等が発生し、通学が困難な場合も同様とします。通学できなかった学生は、後日その旨を授業担当教員に届け出てください。当日、教員が来られない場合は、掲示板及びポータルサイトにより連絡します。通学した学生は、図書館等の施設を利用し、自主的に学修に努めてください。

2. 健康管理

健康管理は、学生生活においてきわめて大切な事ですが、軽視されがちです。若さに任せて不摂生をしたため健康を害したり、学修に支障をきたしたりすることのないよう、健康管理には、十分配慮してください。

感染症における登学停止について

感染症にかかった場合、他の学生に感染する恐れがあるため、学校保健安全法施行規則により登学停止となります。登学できるようになったら事務室学務課で必要書類に記入してください。

出席停止期間の基準は下記のとおりです。

	対象疾病	出席停止の期間の基準
第1種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ熱、ラッサ熱、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、急性灰白髄炎（ポリオ）、鳥インフルエンザ（H5N1）、新型コロナウイルス肺炎を含む指定感染症など	治癒するまで
第2種	インフルエンザ	発症後5日、かつ、解熱後2日が経過するまで
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または、5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで
	麻疹（はしか）	解熱した後3日を経過するまで
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
	風しん	発疹が消失するまで
	水痘	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで
	結核	病状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
	結核髄膜炎菌性髄膜炎	病状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで
第3種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎等	病状により学校医その他の医師が感染の恐れがないと認めるまで

*上記の表は基準であって、主治医の証明があれば、この限りではありません。

*溶連菌感染症、ウィルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症等については高崎市医師会ホームページ「出席停止の病気について」を参照して下さい。

禁煙について

本学敷地内及び建物内、周辺歩道は禁煙です。駐車場における車内での喫煙もできません。

2-1 定期健康診断

定期健康診断は、自身の健康状態を知り、病気の早期発見、治療を行うために毎年実施しますので、必ず受けてください。(学校保健法による)

2-2 保健室

保健室を使用したいときは、学務課に申し出てください。

2-3 学生教育研究災害傷害保険

この保険は、通学途中・授業中・学校行事中・課外活動における不慮の事故による負傷、疾病、死亡といった不測の事態に備えてできた保険です。本学では、教育研究の円滑な実施のため、全学生が加入しています。事故等にあった場合は、速やかに学務課に報告してください。

2-4 学生総合保険

学生教育研究災害傷害保険の他に、本学の紹介により、学生と特定の保険会社との間で任意契約により、加入する総合保険があります。

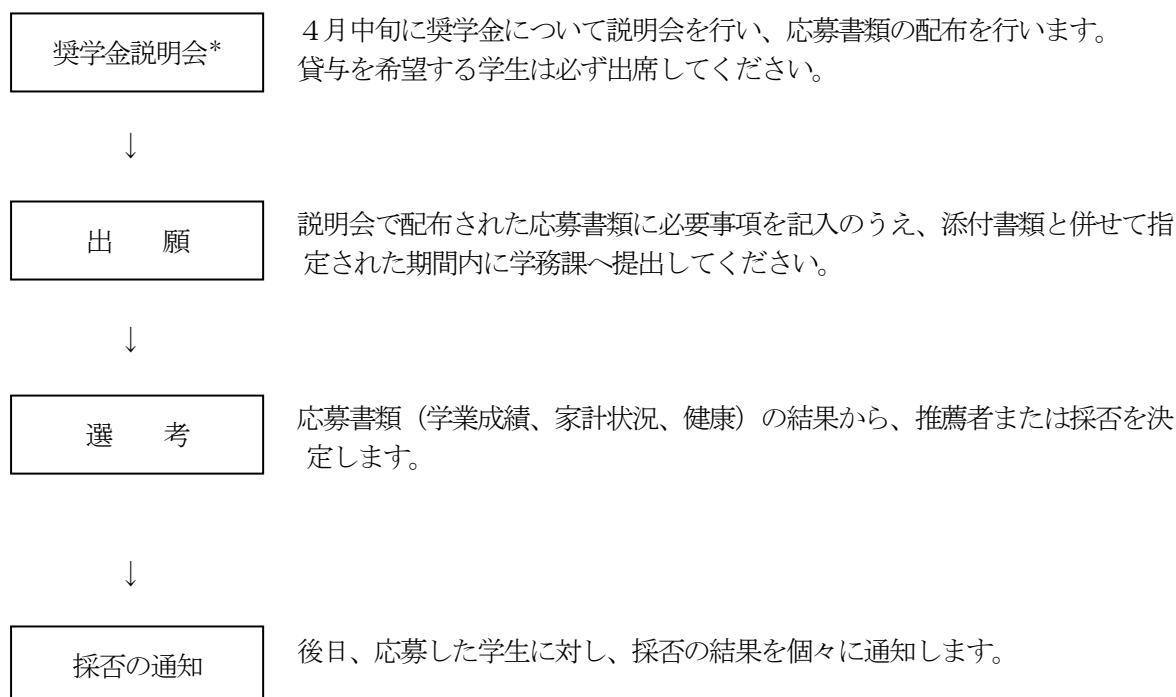
3. 生活設計

学生の皆さんに、より充実し、少しでも満足のいく学生生活になるように、いろいろな制度を設け、学生生活をサポートしています。

3-1 奨学金等

「独立行政法人日本学生支援機構」及び本学独自の「新島学園短期大学貸与奨学金」、その他地方公共団体、民間奨学金団体の奨学金制度があります。日本学生支援機構及び本学貸与奨学金の説明会は、毎年4月中旬に実施しますので、奨学金の貸与を希望する学生は、必ず参加してください。

奨学生として採用されるまでの流れ



* 4月以降に臨時の募集を行う場合は、説明会を実施しないことがあります。

* 家計の急変等の事情がある場合は、随時受け付けますので、学務課に申し出てください。

①在学期間中をサポートする奨学金

名 称	区分	金 額	採用条件
新島学園短期大学 貸与奨学金	貸 与	500,000 円（一括貸与）	応募者の中から成績・経済状況から総合的に選考 9 月中旬に指定口座に振込み 無利子 卒業後 10 年以内に返済
在学学生特待生制度	授業料 免 除	2 年次の授業料全額又は半額を免除 ・キャリアデザイン学科 最大 3 人 ・コミュニティ子ども学科 1 人	2 年生に対して 1 年次の学力等が優秀であって、本学の模範となる者
遠距離入学者 住宅費補助	給 付	月額 10,000 円のアパート代補助	自宅からの通学が困難な者 その他給付条件あり
新幹線補助	給 付	月額 10,000 円の新幹線補助	新幹線で通学している者 その他給付条件あり
資格取得 奨励奨学金	給 付	5,000 円～50,000 円	指定する資格を取得または試験に合格、もしくは一定の得点を取得
日本学生支援機構 奨学金	給 付	月額 12,800 円～75,800 円 ※区分による	応募者の中から成績・経済状況から総合的に選考 日本学生支援機構は国の奨学事業を行い、その目的は優秀な学生で、経済的な理由のため、就学困難な者に学費を貸与し、教育の機会均等を図り、国や社会の発展に尽くすことにあります。
	貸 与	第 1 種 月額 自宅 20,000 円～53,000 円 自宅外 20,000 円～60,000 円 第 2 種 月額 20,000 円～120,000 円	

※高等教育の修学支援新制度により授業料等の減免支援も受けられます。

②地方公共団体及び民間奨学金団体

奨学金の募集は、大学を通して募集するもの、奨学団体が直接募集するものがありますので、希望者は、学務課あるいは出身の都道府県や市町村の教育委員会又は奨学団体に問い合わせてください。
なお、団体等の奨学金貸与が決定した学生は、学務課まで報告してください。

3-2 アルバイト

学務課は、授業に差し支えない範囲で、学生らしい職種を選択し紹介します。

3-3 遠距離入学者への補助

住宅費補助

アパートを希望する場合は、学務課に申し出てください。学務課では、学生が安心して生活が送れるよう短大周辺の優良な物件を紹介しています。住所を変更した場合は、必ず学務課に連絡してください。

なお、一定の条件のもと、月々のアパート代の補助が受けられます。詳しいことは、学務課で確認してください。

新幹線補助

新幹線を使用して通学する場合、一定の条件のもと月々の新幹線代の補助が受けられます。詳しいことは、学務課で確認してください。

4. キャンパスライフ支援

本学は、キリスト者、教育者である新島襄の「人ひとりは大切」という教育方針を受け継ぐ学校です。学生とともに模索しながら課題の解決に取り組み、「学生自身の成長」を促し、充実したキャンパスライフを送り、社会に出て行けるようサポートする体制を整えています。＊詳細はHPで確認できます。

障がいや不安を有する人、学生生活に不安がある人は、必要に応じて修学上の配慮を受けることができます。随時相談に応じますのでゼミ担当教員または学務課へご相談ください。

4-1 学生生活支援

学生生活全般にわたる相談を受け付けています。学生生活を送る上で、いろいろな悩みごとを持ち、自分だけではどうにもならないことが生じるものです。ひとりで悩まず、ゼミ担当教員又は学務課へご相談ください。状況により学生相談室や外部の機関の紹介もしています。

ー新島学園短期大学のハラスメント対策ー

ハラスメントとは、相手を不快にさせる言動を言います。学内における本学の学生や教職員、または本学の学生の保護者等を不快にさせる性的な言動も対象となります。

本学では「学校法人新島学園におけるハラスメントの防止等に関する規程＊」に基づき、男女計4人の相談員がハラスメントに関する苦情の申し出及び相談に当たります。

なお苦情相談には、ハラスメント被害を受けた本人からのものだけでなく、①他の者がハラスメントをされているのを見て不快に感じる構成員（教職員・学生等）からの苦情の申し出②他の構成員からハラスメントをしている旨の指摘を受けた教職員からの相談③他の構成員からハラスメントに関する相談を受けた構成員からの相談も含まれます。＊本規程は学務課で閲覧できます。

4-2 キャリア支援

進路・就職全般にわたる相談を受け付けています。進路・就職相談、四大編入に関すること、就職活動の方法、求人情報に関すること、エントリーシート・履歴書の記入方法、面接指導を行います。ゼミ担当教員又はキャリアセンターにご相談ください。

4-3 障がい学生支援

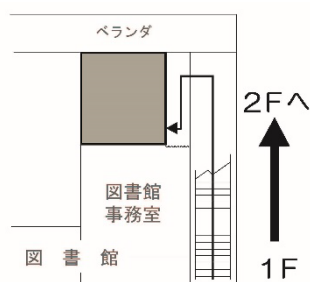
障がい等のある学生の支援に関する相談を受け付けています。障がいや状況により、周囲の教職員への配慮依頼、試験や課題における配慮の調整、支援機器の設置、教室配慮等を行います。ゼミ担当教員又は学務課までご相談ください。

4-4 学生相談室

学生のさまざまな悩みの相談を受けるために学生相談室を開設しています。勉強のこと、アルバイトのこと、対人関係のこと、家族のこと、身体のこと、彼氏・彼女のこと、将来のこと等、内容は何でも大丈夫です。少しでも気になることがあれば訪ねてください。カウンセラー（臨床心理士・公認心理師）が秘密厳守でお話を聴きます。相談は無料です。

開室日・開室時間は、ヴェリタスホール（本館）掲示板又はポータルサイトで確認してください。予約優先で相談をお受けしますので、予約フォーム [ポータルサイトにリンクがあります]、メール (soudan@ns.niitan.jp) か、学務課で予約してください。

＊学生相談室はビブリオホール（図書館棟）2階です。
場所は学内配置図を参照して下さい。



5. 課外活動

学生が課外活動をすることは、大学生活の一環として重要な意味を持つものです。健全で活発なクラブ活動を期待しています。また学生が、団体の結成、学内外での行事集会、掲示等を行う場合は、事前に学務課と十分連絡を取って、課外活動は円滑に実施できるよう努めてください。

5-1 クラブ・同好会・サークル

クラブ・同好会・サークルは同好者5名以上をもって結成することができます。クラブ・同好会・サークルを結成しようとするときは、(イ) 団体名、(ロ) 顧問教員、(ハ) 設立の目的、(ニ) 規約、(ホ) 会員名簿、(ヘ) 年間計画表、(ト) 主な活動場所等を明らかにし、学務課に願い出てください。また、規約を改正するときは、学務課へ願い出て許可を受けてください。

クラブ・同好会・サークル一覧

体育系

ソフトボール部、バスケットボール部、バドミントンサークル、バレーボールサークル

文化系

着付け部、茶道部、ボランティア部、聖歌隊、軽音楽部、吹奏楽部、Gospel、オルガニストクラブ

5-2 グラウンド、体育館等の使用

授業以外でグラウンド、体育館、教室や備品を使用するときは、学務課に使用許可願を提出して許可を受けてください。

5-3 学生による集会

学内で集会を行うときは、事前に学務課に願い出て許可を受けてください。また、クラブ・同好会・サークルにあつては、予め顧問の承認を受けてください。

5-4 ポスター等の掲示

ポスター等は、クラブ・同好会・サークルの場合は、専用の掲示板に自由に掲示できます。これ以外の場合で、ポスター等を掲示する場合は、学務課に願い出て許可を受けてから、掲示してください。

なお、期限が経過した掲示は自らはずしてください。

5-5 印刷物等配布

学内外を問わずアンケートその他の印刷物を発行又は配布するときには、事前に印刷物を添えて、学務課に許可を願い出てください。

5-6 募金・署名活動

募金、署名活動を行う場合は、事前に、その目的・方法を記入した計画書を学務課に提出して許可を受けてください。

5-7 学外合宿

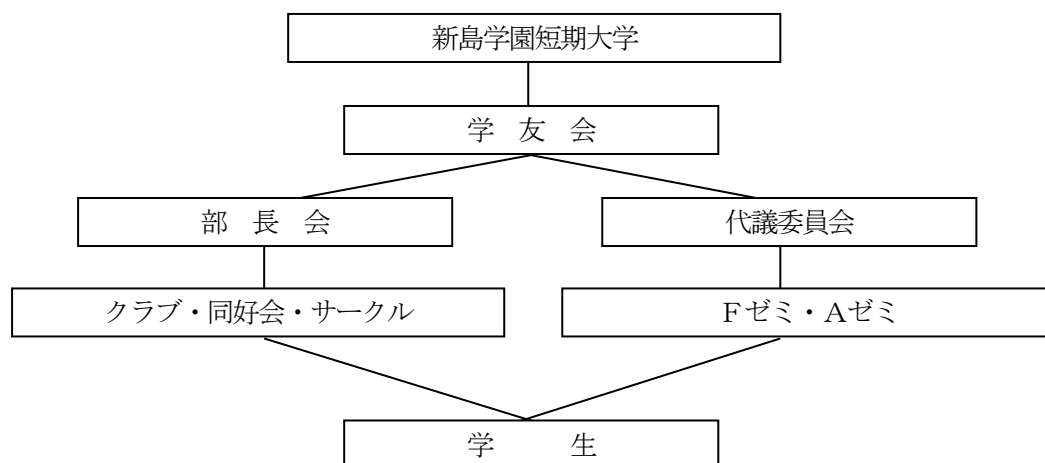
学外において合宿を行う場合は、実施の一週間前までに、顧問を通して合宿届を学務課に提出してください。

なお、この合宿が認められるのは、正式に届出されているクラブ・同好会・サークルに所属する本学学生及び顧問、コーチに限られます。

合宿前には、必ず、合宿先の住所・電話番号等を自宅等に連絡しておいてください。合宿終了後、部長は、顧問及び学務課に合宿終了の報告を行うことが義務付けられています。

5-8 学友会

学友会（学生自治会）は、学生の全員参加で組織されています。建学の精神にのっとり、学生の自主的な活動と協力により、学生生活の向上と進歩及び学生間の親睦をはかることを目的としています。



5-9 大学祭

大学祭（襄祭）は、全学をあげて行います。襄祭実行委員会を中心に、クラブ・同好会・サークル及び学生有志によって展示、音楽会、講演会、模擬店、その他の催し物など多彩な企画を行います。学生生活のなかで数多くの楽しい思い出を残すことができ、同窓会も参加しますので、先輩との交流を深めることができる良い機会です。

5-10 同窓会

同窓会は、卒業生の正会員（入会者）を中心に組織しています。会員名簿・会報等の刊行、各期同窓会開催等の事業を行っています。同窓会室：ソレイユ（研究棟）1階

6. 学費

学費は、授業料・教育研究振興費・施設設備費に分かれており、春学期と秋学期に分けて納入していただきます。

キャリアデザイン学科1年生

	入学手続き時	秋学期	合 計
入 学 金	250,000 円	—	250,000 円
授 業 料	310,000 円	310,000 円	620,000 円
教育研究振興費	140,000 円	140,000 円	280,000 円
施 設 設 備 費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
計	750,000 円	500,000 円	1,250,000 円

*上記の他、学友会費、父母の会費、同窓会費を納付していただきます。

フードビジネス専攻の学生には、実習費（実費）も納付していただきます。

キャリアデザイン学科2年生

	春学期	秋学期	合 計
授 業 料	310,000 円	310,000 円	620,000 円
教育研究振興費	140,000 円	140,000 円	280,000 円
施 設 設 備 費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
計	500,000 円	500,000 円	1,000,000 円

*上記の他、父母の会費を納付していただきます。

コミュニティ子ども学科1年生

	入学手続時	秋学期	合 計
入 学 金	250,000 円	—	250,000 円
授 業 料	325,000 円	325,000 円	650,000 円
教育研究振興費	140,000 円	140,000 円	280,000 円
施 設 設 備 費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
計	765,000 円	515,000 円	1,280,000 円

*上記の他、学友会費、父母の会費、同窓会費、実習費（実費）を納付していただきます。

コミュニティ子ども学科2年生

	春学期	秋学期	合 計
授 業 料	325,000 円	325,000 円	650,000 円
教育研究振興費	140,000 円	140,000 円	280,000 円
施 設 設 備 費	50,000 円	50,000 円	100,000 円
計	515,000 円	515,000 円	1,030,000 円

*上記の他、父母の会費、実習費（実費）を納付していただきます。

6-1 支払い方法

春学期・秋学期とも総務財務課からご登録いただいた LC 学費サイトに通知します。指定された期間内に銀行振込にてお支払いください。

区 分	納入時期	備 考
春学期	4 月末日	4 月上旬に LC 学費サイト(アプリ)に通知します。 (1 年生は入学手続期間に納入)
秋学期	10 月末日	10 月上旬に LC 学費サイト(アプリ)に通知します。

特別な理由がなく納入期限までに納付されず、督促しても応じない場合は、除籍の扱いとなりますので、必ず納入期限までにお支払いください。

6-2 学費の延納

経済的理由により納付期限までに学費の納入が困難であると認められた場合、その他やむを得ない事情があると認められた場合は、延納・分納できる場合がありますので、総務財務課に相談してください。

6-3 特待生の扱い

①入学時に特待生として採用された学生については、所定の申請手続きをすることによって以下の扱いとなります。

特待1種 500,000 円を奨学金として支給

特待2種 350,000 円を奨学金として支給

特待3種 250,000 円を奨学金として支給

特待4種 100,000 円を奨学金として支給

②在学生特待生制度（2 年生対象：1 年次の成績が優秀で本学学生として模範となるもの）

A種 授業料1 年分免除

B種 授業料半期分免除

ただし、成績が著しく不良の場合、重要な欠陥事由が生じた場合は、特待生の資格を失うことがあります。

6-4 休学する場合

休学のため学籍が移動する場合の学費の扱いは、以下のとおりです。

学期の初日から末日まで休学する場合	在籍料として 50,000 円を納入していただきます。
学期の途中から末日まで休学する場合	在籍料 50,000 円に加え、休学していない期間の学費として 1 カ月につき学費の 6 分の 1 を納入していただきます。

*学費について詳しくは、学則第 5 章をご覧ください。

7. 学籍

病気や怪我による入院、海外の学校へ留学等で学籍に関わる事由（休学・復学・退学）が発生した場合は、まずゼミ担当教員に相談し、必要に応じて学務課で申請手続きを行ってください。

7-1 休学

3 カ月以上にわたって修学できない場合は、休学願（本学所定用紙）に学生本人と正保証人連署の上、必要事項を記入し、学務課に提出してください。

7-2 復学

休学期間が終了し復学する場合は、復学願（本学所定用紙）に学生本人と正保証人連署の上、必要事項を記入し、学務課に提出してください。

7-3 退学

病気やその他特別な理由で退学を希望する場合は、保護者・ゼミ担当教員とよく相談の上、やむを得ない場合は、退学願（本学所定用紙）に学生本人と正保証人連署の上、必要事項を記入し、学務課に提出してください。

7-4 除籍

学費の納付を怠り、督促してもなお納付しない場合や、在学期間が 4 年を超えた場合、休学期間を超えて修学できない場合、2 年以上行方不明の学生は、除籍扱いとなります。

*学籍について詳しくは、学則第 4 章をご覧ください。

8. 諸手続

在学中の諸届出や願い出は、次により行ってください。（用紙は提出先にあります。）

8-1 学籍に関すること（提出先：学務課）

事 項	提出書類名	備 考
3 カ月以上にわたって欠席するとき	休学願	事故・傷病等の場合には、診断書を添付
休学期間終了後復学するとき	復学願	
退学又は転学したいとき	退学願	学生証を返却 *学期末までに提出されない場合は、翌学期の学費が請求される
退学した者が再入学したいとき	再入学願	理由書等を添付
他の学科へ移りたいとき	転学科願	

*上記の場合は、願出提出前に必ずゼミ担当教員の承認を得ること。

8-2 身の上に関すること（提出先：学務課）

事 項	提出書類名	備 考
氏名を変更したとき	改 姓 名 届	戸籍抄本1通を添付
住所を変更したとき	住 所 変 更 届	自宅住所変更の場合、住民票抄本1通を添付
保証人を変更したとき	保 証 人 変 更 届	新保証人の保証書を添付

8-3 試験に関すること（提出先：学務課）

事 項	提出書類名	備 考
就職試験その他正当な理由で試験が受けられないとき	定期試験欠席届	試験前に提出
病気、事故、その他正当な理由で定期試験が受けられなかったとき	追 試 験 願	事故、傷病等の場合は、証明書・診断書等を添付すること 試験期間後3日以内に願い出ること
再試験を受けようとするとき	再 試 験 願	手数料1科目当り 2,000 円
卒業再試験	卒 業 再 試 験 願	手数料1科目当り 2,000 円
試験期間中、学生証を忘れたとき	受 験 許 可 証	試験終了後直ちに返却のこと 当該日のみ有効

8-4 経済・生活に関すること（提出先：学務課）

事 項	提出書類名	備 考
奨学金を希望するとき	奨学金受給希望書	4月中旬に申し込み説明会実施 家計の急変等の事情のある場合は随時受付
学割が必要なとき	学生旅客運賃割引証交付願	発行は申し込み日の2日後
通学定期券を購入するとき	通 学 証 明 書 交 付 願	即日発行
授業中に事故に遭ったとき	保 険 金 請 求 書	
物を紛失又は拾得したとき	紛失届拾得物届	
遠距離入学者の補助を受けたいとき	住宅費補助申請書	春学期分は5月、秋学期分は9月に募集
	新幹線補助申請書	新幹線通学定期を購入時以降随時申請
駐車場を使用したいとき	駐 車 場 使 用 申 請 書	西門3,000円、グラウンド 2,000円（半期） 春学期分は3月、秋学期分は7月募集 無許可車を発見次第タイヤロック ペナルティ料3,000円徴収
ロッカーを使用したいとき	ロ ッ カ ー 使 用 申 込 書	1年間1,000円 4月に募集 秋学期定期試験終了日まで使用可

8-5 課外活動に関すること（提出先：学務課）

事 項	提出書類名	備 考
学内団体を結成しようとするとき	クラブ・同好会 結 成 願	所定事項を必ず記入すること
学内団体を解散したとき	クラブ・同好会 休 廃 止 届	
行事を開催したいとき	行 事 開 催 願	
大学施設・備品を使用したいとき	施 設 ・ 備 品 使 用 許 可 願	
印刷物を配布したいとき	印 刷 物 配 布 願	
集会を開きたいとき	集 会 願	
募金運動をするとき	募 金 運 動 願	
合宿をするとき	合 宿 願	

8-6 各種証明書

事 項	提出先	提出書類名	備 考
学業成績（単位修得）証明書を必要とするとき	学 務 課	証 明 書 交 付 願	和文 300 円 英文 1,500 円
卒業見込証明書を必要とするとき	学 務 課		和文 300 円 英文 1,000 円
卒業証明書を必要とするとき	学 務 課		和文 300 円 英文 1,000 円
在学証明書を必要とするとき	学 務 課		和文 300 円 英文 1,000 円
健康診断書を必要とするとき	学 務 課		和文 300 円
推薦書を必要とするとき	キャリアセンター		無 料
資格取得見込証明書（保育士）を必要とするとき	学 務 課		和文 300 円
免許状取得見込証明書（幼児）を必要とするとき	学 務 課		和文 300 円

発行は、申し込みの3日後（但し、英文証明書及び推薦書は1週間後）となるので、余裕をもって申し込むこと。

8-7 授業料・手数料等支払いに関すること

事 項	提出先	提出書類名	備 考
授業料、その他の費用の納入について知りたいとき	総務財務課	—	
学納金納入が遅れるとき	総務財務課	学納金延納願	

8-8 その他

事 項	提出先	提出書類名	備 考
学生証を紛失したとき	学 務 課	学生証再交付願	手数料 1,200 円
1 週間以上（土日祝日を含む）欠席するとき	学 務 課	長期欠席届	事故・傷病等の場合は証明書・診断書を添付すること。
父母・配偶者・子・兄弟姉妹・祖父母・伯叔父母の死亡により授業を欠席するとき	学 務 課	忌 引 届	父母、配偶者、子の場合…7 日 兄弟姉妹、祖父母の場合…3 日 伯・叔父母の場合…1 日
履修科目を決めたとき	学 務 課	—	Web による履修登録（学期始め）
パスワードを紛失したとき	学 務 課	パスワード再交付願	手数料 1,000 円
就職活動のため授業を欠席するとき	キャリアセンター	企業訪問・就職試験受験による公欠願	1 科目 3 回を限度 （キャリアデザイン学科）
就職試験を受験したとき	キャリアセンター	就職受験報告書	1 企業ごとの提出
進路が決定したとき （就職・進学・家事等）	キャリアセンター	就職内定（決定）・進路（決定）報告書	卒業後の進路（就職先や進学先、家事等）が確定したときに提出
進路を変更したとき	キャリアセンター	進路変更届	進路カードにより登録した進路を変更した時に提出

9. 事務取扱時間

窓 口	取扱時間
学 務 課	月曜日～金曜日 8 : 45～17 : 00
総務財務課	
キャリアセンター	
図 書 館	

*チャペルアワー（火曜日2時限）、土曜日・日曜日・祝日及び本学が定める休日は、全窓口の事務の取り扱いを行いません。

10. 正門、西門開門時間

開門時間 8 : 00 閉門時間 19 : 00（授業日以外は変動することがあります）

*夏期・冬期・春期休暇中 開門時間 8 : 30 閉門時間 17 : 00

Ⅶ. 卒業後の進路

1. 就職

学生の就職のためにキャリアセンターとゼミ担当教員が中心となり、就職活動の相談と指導、求人票の紹介等を行っています。

一般的な進路ガイダンスは、1年次秋学期から2年次春学期の前半にわたり実施します。なお、本年の進路ガイダンス・公務員対策講座日程は、ポータルサイトや掲示板にて連絡します。ガイダンスでは、就職情報サイトや企業への就職登録の仕方、就職先の選び方、企業研究法、就職活動の心得、先輩の体験談、エントリーシート・履歴書の書き方、面接試験での答え方や一般常識、模擬テスト等について実施、資料を配布し分かりやすく解説、指導いたしますので、就職希望者は必ず参加してください。

なお、1年次の10月に「進路カード（自己申告書兼求職票）」を提出していただきます。これは、希望進路の登録を目的としていますが、就職希望者だけでなく、四年制大学編入希望者等を含めた1年生全員が必ず提出してください。

「進路カード（自己申告書兼求職票）」提出後に進路変更を行う場合は、その都度キャリアセンターで所定の変更手続きを行ってください。

1-1 キャリアセンター

就職のための参考図書、受験報告書、公務員試験対策資料、各企業資料等を備えておくほか、進路支援をしており、いつでも就職相談に応じていますので、随時利用してください。

利用時間は次のとおりです。

月曜日～金曜日（土日祝日除く） 8:45～17:00

*ただし、チャペルアワー（火曜日2時限）を除く。

1-2 就職情報

本館及びグレースホールの掲示板に、必要に応じて、各種の情報連絡事項等を掲示しますので、キャリアセンター前の掲示連絡と同様に必ず見てください。

求人票は随時キャリアセンター内に掲示します。また、ポータルサイトで求人一覧表や就職情報を配信しますので必ず確認してください。

2. 四年制大学への編入学について

次に掲載した大学への推薦編入学の道が開かれています。本学で修得した単位のほとんどは、各大学の単位として認定されますが、編入学希望者はゼミ担当教員、キャリアセンターと相談し、編入学に関するアドバイスを受けてください。

推薦編入学の場合は、両学科とも、GPAを基本として推薦されます。

また、キャリアセンターには私立・国公立大学の過去問題、募集要項や各大学のパンフレット、受験報告書等がありますので、希望者は閲覧することができます。次ページ以外の四年制大学のパンフレット等もあります。

キャリアセンター直通電話 027-326-6161

前年度推薦編入学指定校一覧(地域順)

CD＝キャリアデザイン学科
CC＝コミュニティ子ども学科

地域	大 学 名	学部名等	学科名・(コース・専攻)	枠 人 数	対象学科
山 形	東北文教大学	人間科学部	子ども教育学科	1名	CC
			人間関係学科	1名	
新 潟	敬和学園大学	人文学部	国際文化学科	2名	
			英語文化コミュニケーション学科		
			共生社会学科		
長 野	佐久大学	人間福祉学部	人間福祉学科	1～2名	
静 岡	静岡産業大学	経営学部	経営学科	1名	
			心理経営学科	1名	
群 馬	関東学園大学	経済学部	経済学科	2名	
			経営学科		
	高崎商科大学	商学部	経営学科	1名	
	東京福祉大学	社会福祉学部	社会福祉学科	2名	
		保育児童学部	保育児童学科		
		心理学部	心理学科		
		教育学部	教育学科		
埼 玉	埼玉工業大学	人間社会学部	情報社会学科 経営システム専攻	若干名	
			情報社会学科 メディア文化専攻		
	聖学院大学	政治経済学部	政治経済学科	2名	
		人文学部	欧米文化学科	1名	
			日本文化学科	1名	
			子ども教育学科	1名	
		心理福祉学部	心理福祉学科	1名	
東 京	杏林大学	総合政策学部	総合政策学科	2名	CD
			企業経営学科		
	国立音楽大学	音楽学部	音楽文化教育学科 幼児音楽教育専攻	若干名	CC
	国士舘大学	経営学部	経営学科	2名	CD
		政経学部	政治行政学科	1名	CD
			経済学科	1名	
	駒澤大学	経済学部	現代応用経済学科	1名	CD
	駒沢女子大学	人間総合学群	人間文化学類	各期4名	
			観光文化学類	各期2名	
	白梅学園大学	子ども学部	子ども学科	若干名	CC
			発達臨床学科	若干名	
			家族・地域支援学科	若干名	
	大正大学	文学部	人文学科	1名	
			歴史学科		
			日本文学科		
		社会共生学部	社会福祉学科		
		心理社会学部	人間科学科		
			臨床心理学科		
		仏教学部	仏教学科		
	大東文化大学	国際関係学部	国際関係学科	2名	
			国際文化学科		
	東京家政大学	人文学部	英語コミュニケーション学科	若干名	CC
		子ども支援学部	子ども支援学科	若干名	
	東京経済大学	経営学部	流通マーケティング学科	2名	
		現代法学部	現代法学科	2名	
	東京神学大学	神学部	神学科	2名	
	東京富士大学	経営学部	経営学科	1名	
			イベントプロデュース学科	1名	
	東洋学園大学	グローバル・コミュニケーション学部	グローバル・コミュニケーション学科	1名	
			英語コミュニケーション学科	1名	
		現代経営学部	現代経営学科	2名	
		人間科学部	人間科学科	2名	

地域	大 学 名	学部名等	学科名・(コース・専攻)	枠 人 数	対象学科
	日本女子体育大学	体育学部	子ども運動学科	若干名	CC
	法政大学	キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科(2年次)	2名	CD
	ビジネス・ブレークスルー大学	経営学部 (通信教育課程)	グローバル経営学科 デジタルビジネスデザイン学科	若干名	
神 奈 川	鎌倉女子大学	教育学部	教育学科	若干名	
	関東学院大学	国際文化学部	英語文化学科	CD,CC各1名	
			比較文化学科	CD,CC各1名	
		社会学部	現代社会学科	CD,CC各1名	
		経済学部	経済学科	1名	CD
		経営学部	経営学科	1名	
		法学部	法学科	CD,CC各1名	
			地域創生学科	CD,CC各1名	
		理工学部	情報ネット・メディアコース	1名	CD
		人間共生学部	コミュニケーション学科	1名	
			共生デザイン学科	1名	
	相模女子大学	学芸学部	日本語日本文学科	2名	
			英語文化コミュニケーション学科	2名	
			メディア情報学科	1名	
		人間社会学部	社会マネジメント学科	1名	
			人間心理学科	1名	
		学芸学部	子ども教育学科	1名	CC
	東洋英和女学院大学	人間科学部	人間科学科	4名	
			保育子ども学科	4名	
		国際社会学部	国際社会学科	4名	
			国際コミュニケーション学科	4名	
千 葉	川村学園女子大学	文学部	国際英語学科	1名	CD
		生活創造学部	観光文化学科	1名	
	聖徳大学	教育学部	児童学科	若干名	
			教育学科	若干名	
		心理・福祉学部	心理学科	若干名	
			社会福祉学科	若干名	
		文学部	文学科	若干名	
		音楽学部	音楽学科	若干名	
	聖徳大学短期大学部	医療保育専攻		若干名	CC
京 都	京都外国語大学	外国語学部	英米語学科	1名	CD
	同志社大学	神学部	神学科	1名	
		経済学部	経済学科	2名	
大 阪	大阪経済法科大学	経済学部	経済学科	前期・後期を通じて1名	
		経営学部	経営学科		
		国際学部	国際学科		
		法学部	法律学科		
	太成学院大学	人間学部	子ども発達学科	若干名	
			健康スポーツ学科		
			心理カウンセリング学科		
		経営学部	現代ビジネス学科		
	桃山学院大学	国際教養学部	英語・国際文化学科	3名	
		社会学部	社会学科		
			ソーシャルデザイン学科(福祉)		
		法学部	法律学科		
		経済学部	経済学科		
		経営学部	経営学科		
兵 庫	園田学園大学	経営学部	ビジネス学科	2名	
愛 媛	松山東雲女子大学	人文科学部	心理子ども学科 子ども専攻	若干名	CC

VIII. 附属図書館利用の手引き

1. 利用者マナー

- ・図書館資料は大切に取り扱い、携帯電話等による無断撮影、切り取り、書入れ、汚損等しないこと。
- ・館内では、静寂を保ち、他の利用者に迷惑をかけないこと。
- ・携帯電話の使用は、館外ですること。
- ・館内での飲食及び喫煙をしないこと。
- ・所持品は各自の責任において注意し、図書館利用に不必要なものは、必ずロッカーに収めること。
- ・その都度、各指示に従うこと。

2. 開館時間

- ・月曜日～金曜日 8:45～17:00
- ・チャペルアワー（火曜日2時限）は閉館する。
- ・変更のある場合は、その都度掲示する。

3. 休館日

- ・土曜日、日曜日
- ・群馬県民の日
- ・国民の祝日
- ・本学が定める休日
- ・館長が必要と認めた日

4. 館内閲覧

- ・図書、雑誌、紀要、新聞、AV資料（DVD等）
- ・書庫の図書を閲覧する場合は必ず閲覧室を使用し、カウンター係に返却すること。
- ・閲覧室に持ち込みできるものは、筆記用具、ノート類と参考書のみ。

5. 館外貸出

- ・貸出
借りようとする資料を、「学生証」とともにカウンター係に提出すること。
貸出点数…6点以内 貸出期間…2週間
*点数には、図書・雑誌・視聴覚資料（CD）を含む。
- ・継続
貸出期間内にカウンター係に申し出た場合は、1回に限り継続貸出ができる。（予約・延滞がない場合に限る。）
- ・返却
借り受けた図書を返却する場合は、カウンター係又は返却ボックスに返却すること。（但し、視聴覚資料・紙芝居を除く。）

資料を紛失、汚損・破損した場合は同一の資料での弁償となるため、取り扱いに注意すること。

6. レファレンスサービス

- ・ 図書の紹介、文献資料の検索等についての質問相談に応じる。但し、直接の問題解決は行わない。

7. コピーサービス

- ・ 図書館資料をコピーする場合は、コピー使用申込書に必要事項を記入し、カウンター係に提出すること。

8. 図書の分類と配架

- ・ 基本的に図書は、日本十進分類法（NDC）によって分類し、配架してある。ただし、大型文書、参考図書（百科事典類）等は、別置してある。蔵書検索性PCで検索し、館内図を確認すること。
- ・ 書庫内にも多数本を所蔵している。不明の場合は、カウンター係に声をかけること。

9. 相互貸借（Interlibrary Loan, ILL）

- ・ 県内外の図書館から、必要とする本を借りることができる。

10. 学外者利用

- ・ 事前に電話連絡すること。
- ・ 初めて利用するとき、図書館利用申請書に記入すること。（ハンコ・身分証明書が必要）
- ・ 利用可能サービス
 閲覧、貸出（図書のみ、一部不可）、コピー等
- ・ 卒業生も来館時、利用者ノートに記入すること。

*** マナーを守ることが図書館を利用しやすいものとします。
皆さんのご協力をお願いします。**

IX. 教職員組織

教員組織

キャリアデザイン学科

学 長	博 士 (文 学)	高 山 有 紀
教 授	修 士 (経 営 学)	駒 田 純 久
特任教授	教 育 学 修 士	前 田 浩 浩
特任教授	商 学 士	溝 口 康
准 教 授	M. A.	Richard A. Maher
専任講師	修 士 (保 健 学)	久 保 覚 司
専任講師	博 士 (文 学)	佐 竹 美 穂
専任講師	修 士 (政 治 学)	橋 本 将 志
専任講師	修 士 (神 学)	臂 奈 津 恵
専任講師	経営管理修士 (専門職)	福 島 香 織

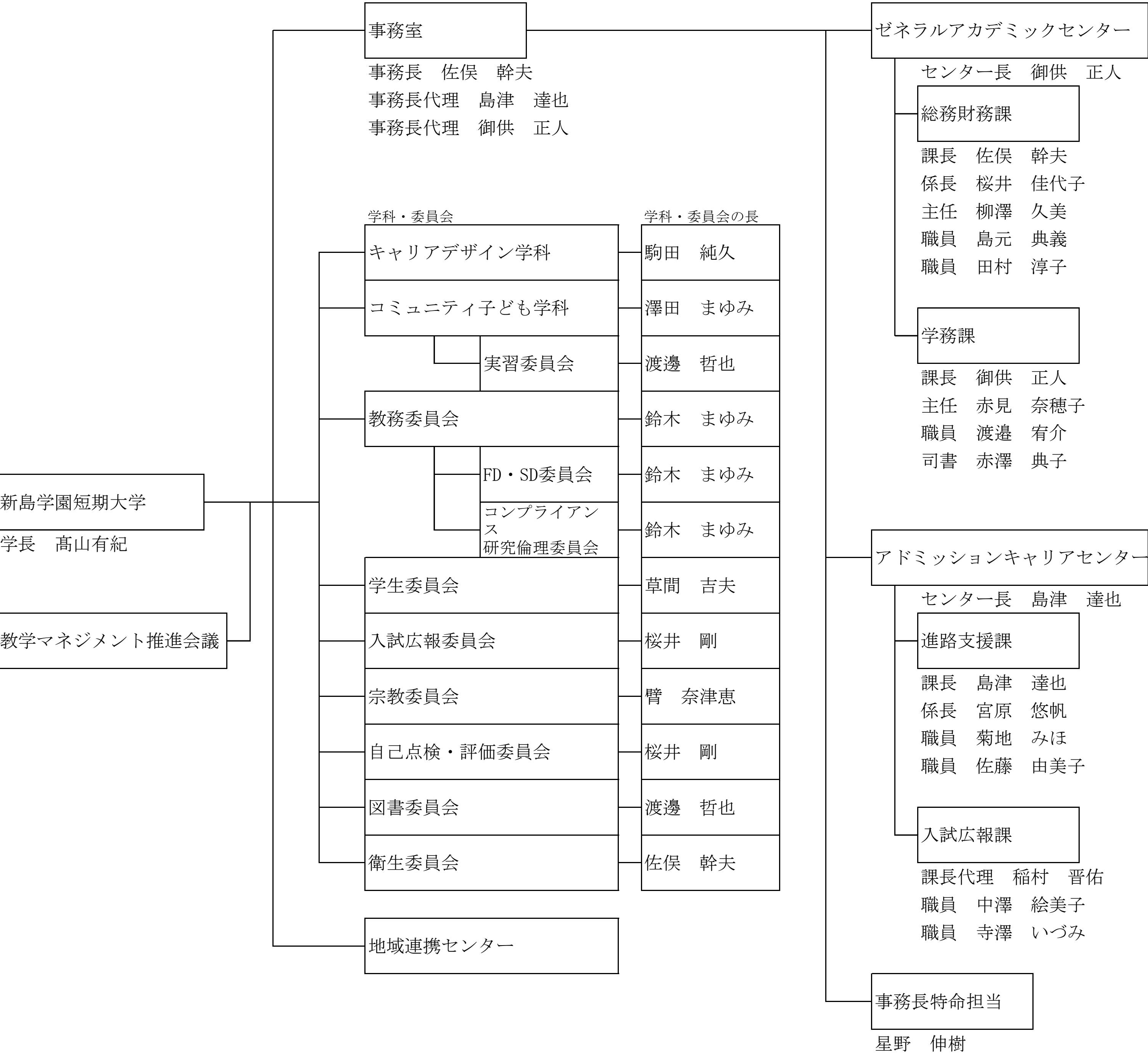
コミュニティ子ども学科

教 授	修 士 (社 会 福 祉)	草 間 吉 夫
教 授	修 士 (学 術)	櫻 井 剛
教 授	修 士 (音 楽)	澤 田 まゆみ
教 授	修 士 (教 育 学)	鈴 木 まゆみ
教 授	商 学 士	福 島 秀 起
教 授	M. A.	渡 邊 哲 也
特任教授	修士 (臨床心理学) 臨床心理士	成 田 小百合

客員教授	見 城 美枝子
客員教授	茂 原 璋 男
客員教授	藤 口 光 紀

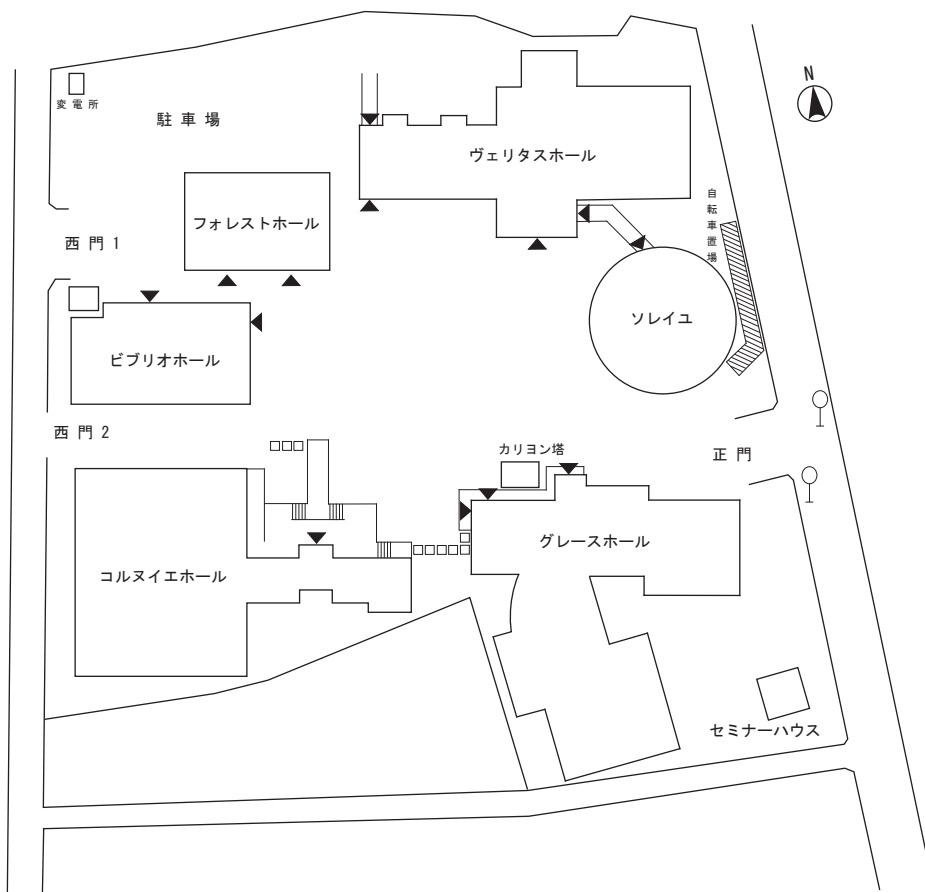
兼任教員	朝 倉 美 幸
兼任教員	伊 藤 正 武
兼任教員	井 野 正 康
兼任教員	瓜 生 郷 子
兼任教員	大 澤 紀 子
兼任教員	大 馬 葉 月
兼任教員	大 渕 秀 代
兼任教員	巖 ア ル ム
兼任教員	掛 川 康 晴
兼任教員	金 澤 亜 希 子
兼任教員	上 村 孝 司
兼任教員	喜 多 村 徹 雄
兼任教員	金 恩 福
兼任教員	久 保 田 和 子
兼任教員	黒 田 淑 子
兼任教員	後 藤 香 織
兼任教員	佐 藤 貴 子
兼任教員	猿 谷 友 規
兼任教員	志 賀 元 清
兼任教員	杉 崎 由 里

新島学園短期大学組織図

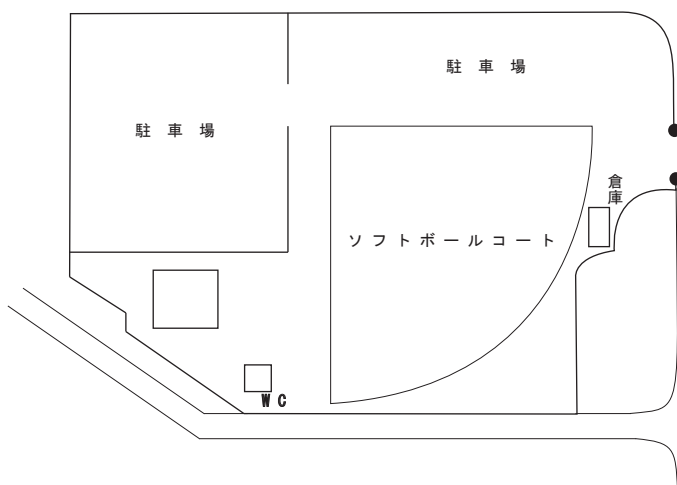


X. 学内配置図

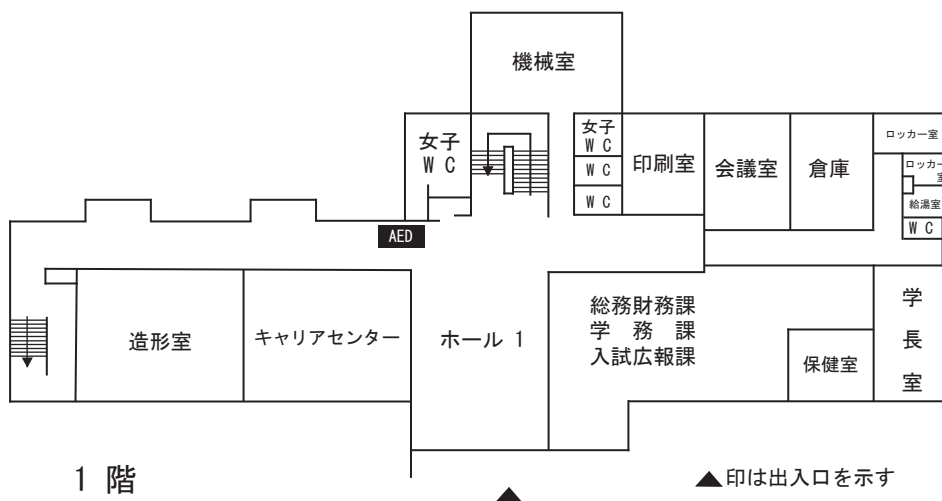
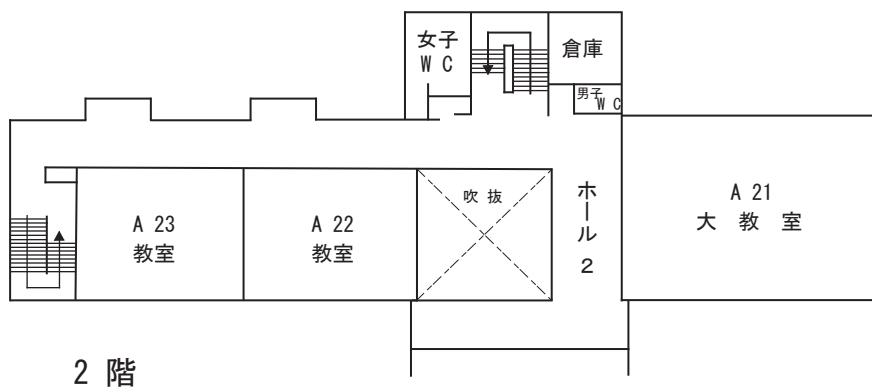
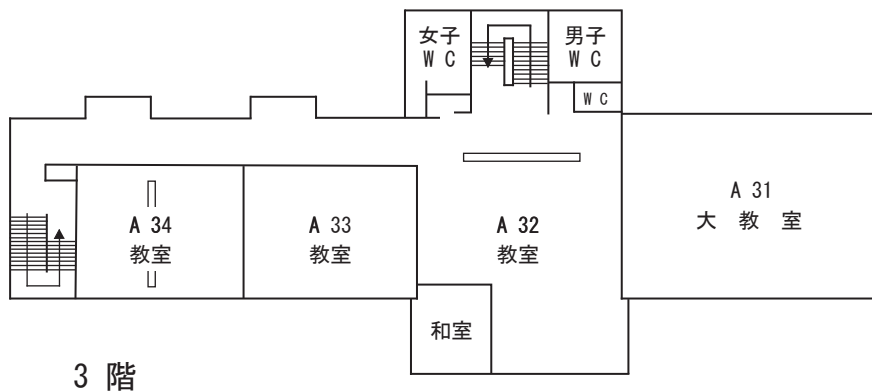
校舎等建物配置図



グラウンド

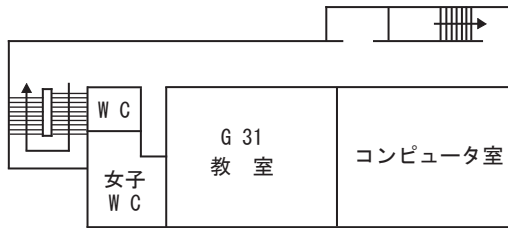


ヴェリタスホール各階平面図

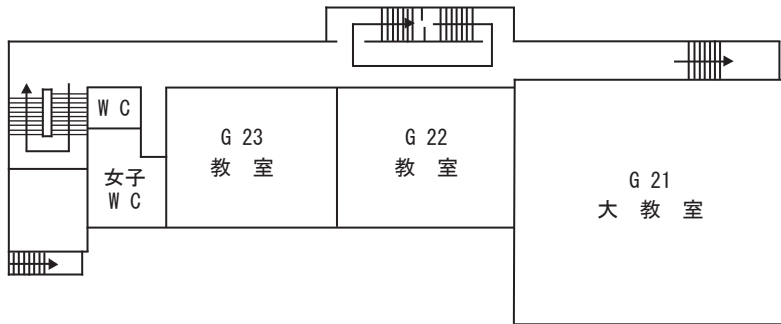


グレースホール各階平面図

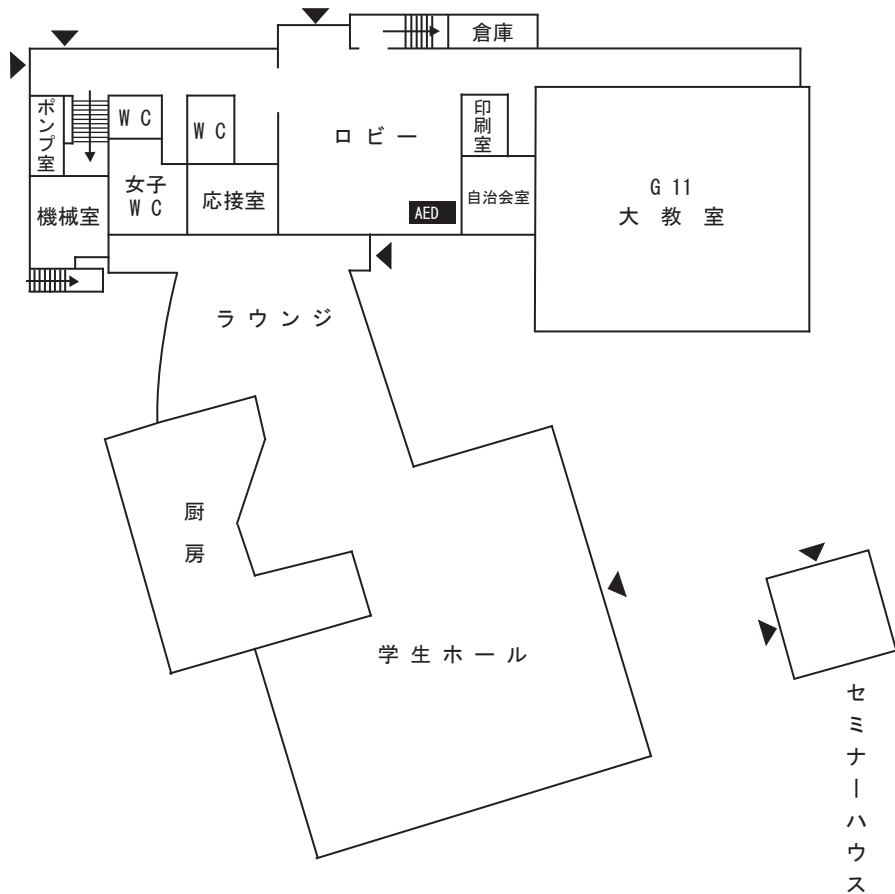
3 階



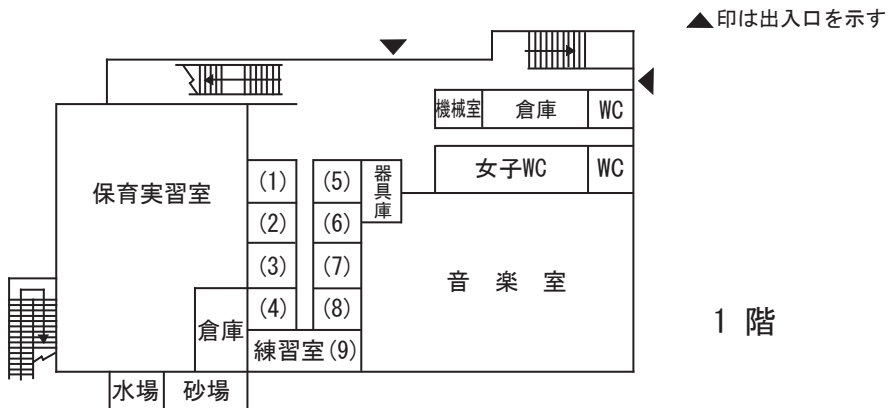
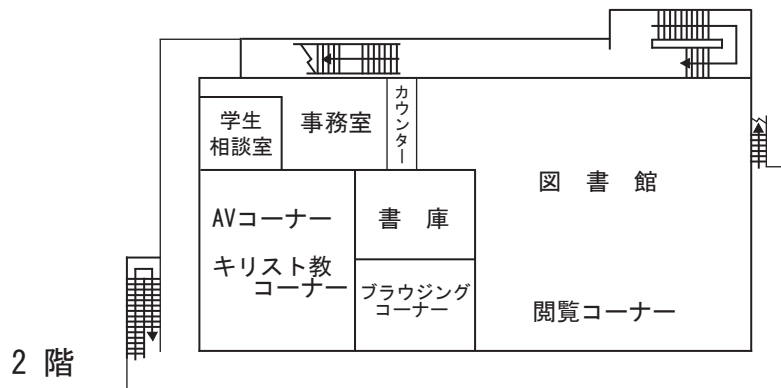
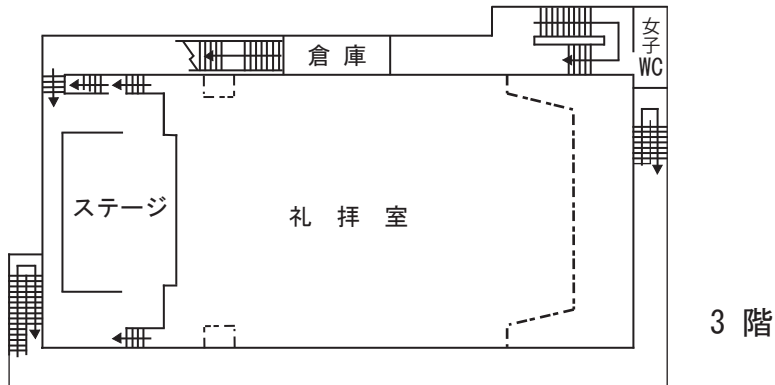
2 階



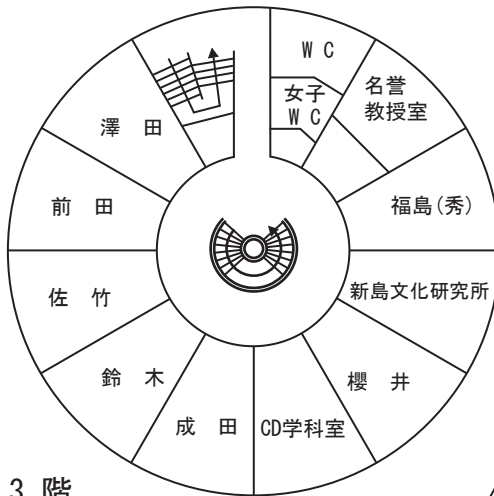
1 階



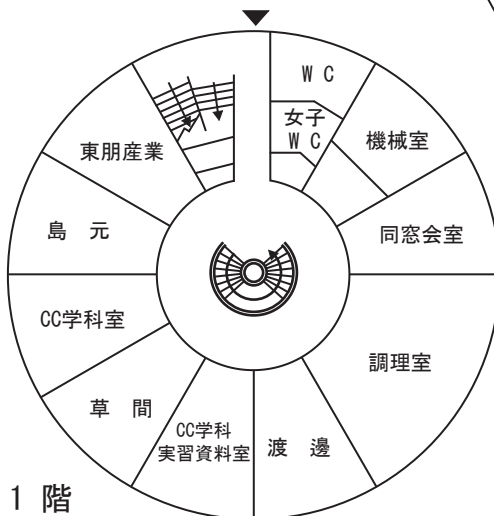
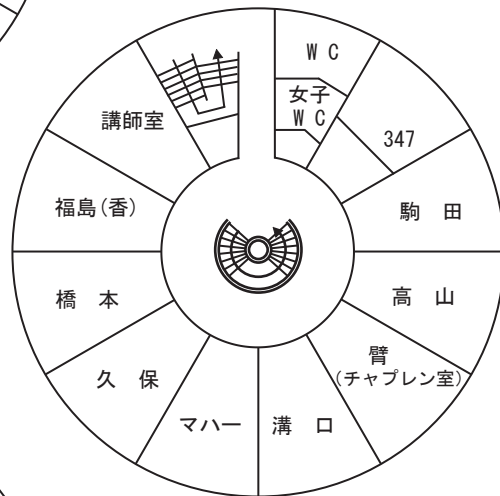
ビブリオホール各階平面図



ソレイユ各階平面図

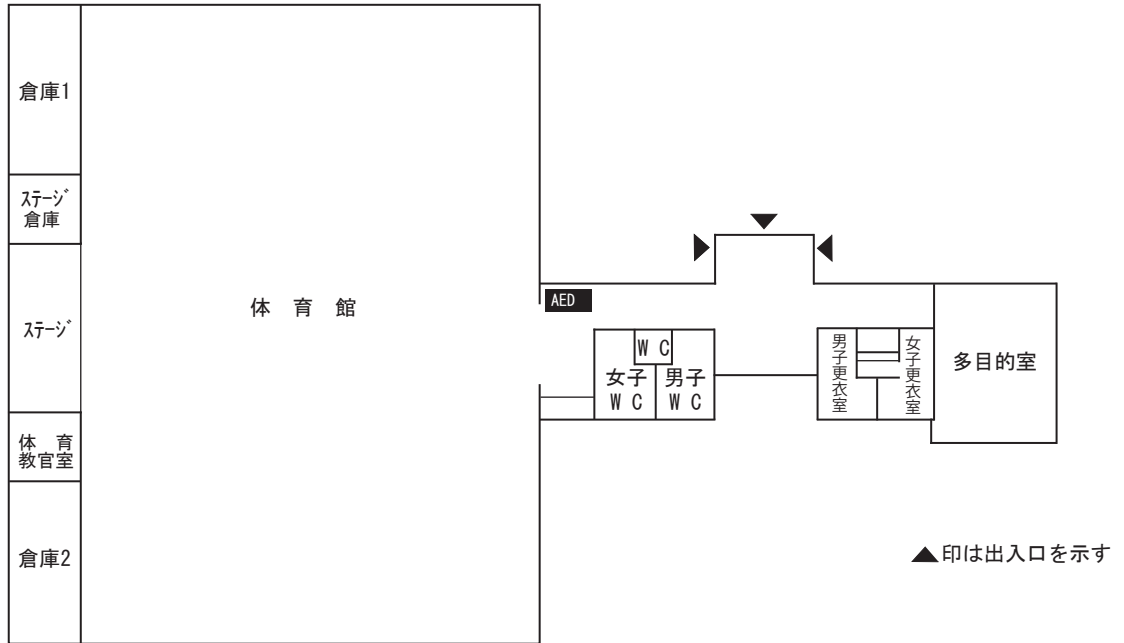


2 階

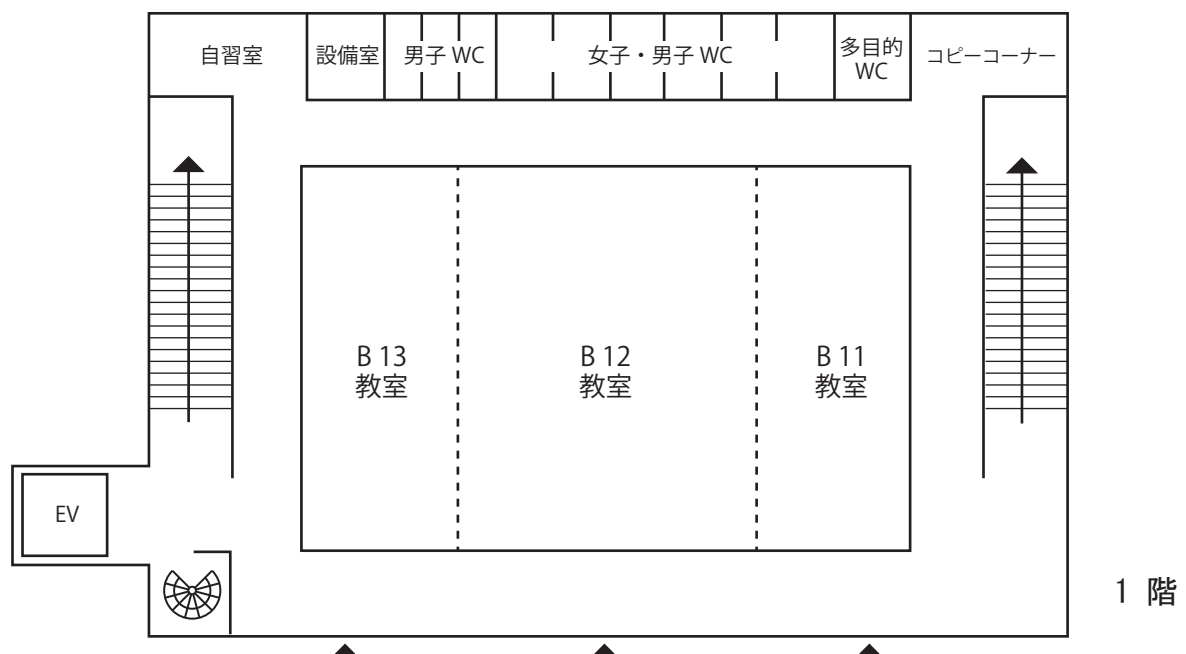


▲印は出入口を示す

コルヌイエホール平面図



フォレストホール各階平面図



XI. 各種規程集

新島学園短期大学履修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、新島学園短期大学学則第5条及び第5条の2の規定に基づき、新島学園短期大学キャリアデザイン学科及びコミュニティ子ども学科の授業科目の種類、必修科目、選択必修科目、選択科目の区分、単位数等について定めるものとする。

(キャリアデザイン学科の授業科目の種類等)

第2条 キャリアデザイン学科の授業科目の種類、必修科目、選択必修科目、選択科目の区分、単位数等は、別表第1に定めるところによる。

(コミュニティ子ども学科の授業科目の種類等)

第3条 コミュニティ子ども学科の授業科目の種類、必修科目、選択必修科目の区分、単位数等は、別表第2に定めるところによる。

(幼稚園教諭二種免許状取得希望者の履修科目)

第4条 コミュニティ子ども学科の学生で、幼稚園教諭二種免許状を取得しようとするものは、別表第3に定める必要な科目を履修し、かつ、新島学園短期大学学則第6条に定める卒業資格を充足しなければならない。

(保育士資格取得希望者の履修科目)

第5条 コミュニティ子ども学科の学生で、保育士資格を取得しようとするものは、別表第4に定める必要な科目を履修し、かつ、新島学園短期大学学則第6条に定める卒業資格を充足しなければならない。

(CAP制)

第6条 各学期に登録できる単位数は25単位を上限とする。ただし、次の各号に掲げる授業科目及びコミュニティ子ども学科の幼稚園教諭二種免許状・保育士資格の取得に必要な授業科目は、履修できる単位数の上限対象としない。

- (1) 政策形成ワークショップ
- (2) ボランティアプロジェクト
- (3) 短期留学A
- (4) 短期留学B
- (5) ボランティア活動
- (6) スタディツアーA
- (7) スタディツアーB
- (8) 短期留学

(規程の改廃)

第7条 この規程の改廃は、教授会の意見を参考にして学長が行う。

附 則

この規程は、2025年4月1日から施行する。

(別表省略)

新島学園短期大学試験規程

(目的)

第1条 この規程は、新島学園短期大学学則（以下「学則」という。）第9条第2項の規定に基づき、実施方法、受験資格等について必要な事項を定めることを目的とする。

(試験)

第2条 学則第9条に定める試験は、定期試験（追試験・再試験を含む。以下同じ。）・臨時試験・レポート試験・卒業再試験とする。

- (1) 定期試験は、各学期末に試験時間割を定めて一斉に行う試験をいう。
- (2) 臨時試験は、定期試験を補う目的で担当教員が授業時間中に行う試験をいう。
- (3) レポート試験は、前もって課題を与え、後日レポートによって提出させる試験をいう。これをもって、定期試験にかえることもできる。
- (4) 卒業再試験は、1科目のみが不合格であるために卒業の要件を満たさない学生に対し、教授会の承認を経て実施する試験をいう。

(受験資格)

第3条 次の各号の一にあたる者は、原則としてその科目の定期試験・レポート試験・卒業再試験の受験資格を認めない。

- (1) その学期に当該科目の履修登録をしていない者
- (2) 当該科目の欠席回数が授業回数の3分の1を超える者
- (3) 学費未納者（延納の許可を受けた者を除く）
- (4) 休学期間中の者、停学・謹慎処分中の者
- (5) 学生証または受験許可証のない者

(追試験)

第4条 病気・その他やむを得ない事情で定期試験を受験できなかった者は、追試験の受験を願い出ることができる。

2 追試験を受けようとする者は、原則として当該学期の定期試験の最終日から3日以内に、その理由を証明する診断書等を添え、事務室において追試験の願い出をしなければならない。

3 追試験の成績評価は、定期試験等と同様に行う。

(再試験)

第5条 定期試験の結果が40～59点（評価E）の場合、教員は再試験を実施することができる。

2 再試験を受けようとする者は、再試験受験前に、事務室において手数料（2,000円）とともに再試験の願い出をしなければならない。

3 再試験の成績評価は、「C」（合格）又は「E」（不合格）とする。

（卒業再試験）

第6条 定期試験等の結果、1科目のみが不合格であるために卒業の要件を満たさない学生に対し、教員は卒業再試験を実施することができる。

2 卒業再試験を受けようとする者は、卒業再試験受験前に、事務室において手数料（2,000円）とともに卒業再試験の願い出をしなければならない。

3 卒業再試験の成績評価は、「C」（合格）又は「E」（不合格）、「F」（不合格）とする。

（定期試験受験）

第7条 定期試験受験に際しては、次の事項を守らなければならない。

（1）試験場では、監督者が見やすい位置に学生証を提示しなければならない。学生証を忘れた場合は、学務課で発行する受験許可証を提示しなければならない。

（2）試験開始20分以内に入室しなければ、受験は認められない。

（3）試験開始30分以内の退室は原則として認められない。

（4）机の上には、学生証・指示された資料のほか、筆記用具以外は置いてはならない。

（5）机内には、持ち物を置いてはならない。

（6）試験中に私語をしてはならない。

（7）試験中にはいかなるものも貸借してはならない。

（レポート試験受験）

第8条 レポート試験受験に際しては、次の事項を守らなければならない。

（1）学務課に提出する場合は、事務室取扱時間内に提出しなければならない。

（2）文献・資料の無断引用をしてはならない。

（3）生成AIツールが作成したレポートをそのままあるいは若干書き換えて提出してはならない。

（不正行為）

第9条 不正行為とは、受験者が定期試験及びその他の試験において行う第7条及び第8条に規定する事項に反する行為及びその他の違反行為、さらには、試験場での試験監督の指示に反する行為をいう。

2 不正行為が発覚した場合、試験監督者及び補助監督者は次の各号に掲げる措置をとるものとする。

（1）当該不正行為の事実関係を確認し、不正の証拠がある場合は没収の上、保管する。

（2）不正行為者の学籍番号及び氏名を確認の上、受験を停止させ、退室を命じる。

（3）試験終了後、速やかに不正行為報告書を作成し、没収した不正の証拠とともに教務部長に提出する。

（4）補助監督者が不正行為を発見した時は、補助監督者が同様の措置をするとともに、試験監督者にも報告する。

（不正行為者の処分）

第10条 第9条第2項の報告を受けた場合、教務部長は速やかに学長に報告する。

2 不正行為者の処分は、学生の懲戒について定めた新島学園短期大学学生懲戒規程に従って行われる。

(改廃)

第 11 条 この規程の改廃は、教務委員会の議を経て、教授会の意見を参考にして学長が行う。

附 則

この規程は、2024 年 4 月 1 日から施行する。

新島学園短期大学入学後資格取得奨励奨学金支給規程

(目的)

第 1 条 この規程は、新島学園短期大学（以下「本学」という。）に在学し意欲的に資格取得等に取り組む学生に対して支援を行い、学生の努力を促すことを目的とする。

(支給対象)

第 2 条 入学後資格取得奨励奨学金（以下「奨学金」という。）を受給することのできる者は、本学に在学し、指定する資格を取得又は試験に合格、若しくは一定の得点を取得した学生とする。

(適用除外)

第 3 条 入学前に受験したものについては適用しない。

(奨学金支給対象資格等並びに金額)

第 4 条 奨学金支給の対象となる資格等並びに金額は、別表のとおりとする。

2 前項の資格等の名称が変更された場合、変更の前後を通じその資格等の同一性が明らかであるときは、継続するものとする。

(申請手続)

第 5 条 奨学金の受給を希望する者は、新島学園短期大学入学後資格取得奨励奨学金申請書（別記様式）に次の書類を添えて学務課へ提出しなければならない。

(1) 合格証等資格を取得したこと等を証明する書類

(2) その他本学が必要と認める書類

2 前項の申請は、1つの資格等に対して在学中1回限りとする。ただし、同一資格で上位の級に合格又は得点を取得した場合は2回目以降の申請を認め、その場合の奨学金額は従前に支給した奨学金額との差額とする。

3 第1項の申請は、原則として資格等取得後1ヶ月以内とする。ただし、資格等取得日が卒業後となる場合は申請することができない。

(支給の決定)

第 6 条 奨学金の支給は、別表に応じ、学長が決定する。

(支給の方法)

第7条 奨学金の申請が認められた者に対しては、総務財務課から現金で支給する。

(支給の時期)

第8条 奨学金を支給する時期は、毎学期末とする。ただし、卒業年次生については、原則として卒業年月の前月末とする。

(決定の取り消しと奨学金返還義務)

第9条 奨学金を支給された者が提出した書類等に虚偽があったときは、学長が決定を取り消す。

2 決定が取り消されたときは、奨学金を受給した者は受給した奨学金を返還しなければならない。

(雑則)

第10条 この規程に定めるもののほか、この規程に関し必要な事項は、学長が定める。

(規程の改廃)

第11条 この規程の改廃は、常任理事会の議を経て、学長が行う。

附 則 (2025年4月10日)

この規程は、2025年4月10日から施行する。(第4条関係 別表に資格を追加)

別表(第4条関係) 新島学園短期大学入学後資格取得奨励奨学金対象資格(検定)

主催団体	資格・検定	奨学金額			
		5万円	3万円	1万円	5千円
(公財) 日本英語検定協会	実用英語技能検定	1級	準1級	2級	
(一財) 国際ビジネスコミュニケーション協会	TOEIC	945点以上	785点以上	500点以上	
全国語学ビジネス観光教育協会	観光英語検定		1級	2級	
(独行) 情報処理推進機構	ITパスポート			合格	
	基本情報技術者試験		合格		
マイクロソフト	マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) Word (文書作成ソフト)				エキスパート (上級)
	マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS) Excel (表計算ソフト)				
日本商工会議所	簿記検定	1級	2級		3級
(特非) 日本ファイナンシャルプランナーズ協会	ファイナンシャル・プランニング技能検定	1級	2級		3級
(一社) 金融財政事情研究会					
(一財) 日本ビジネス技能検定協会	医療事務(医科)能力検定試験			1級	2級
日本商工会議所	リテールマーケティング(販売士)検定試験	1級	2級		3級
(一社) 全国旅行業協会	国内旅行業務取扱管理者試験		合格		
(公財) 実務技能検定協会	秘書技能検定	1級	準1級		2級
	サービス接遇検定			1級	2級
	ビジネス文書技能検定		1級	2級	3級
	ビジネス実務マナー検定		1級	2級	3級
(公財) 日本漢字能力検定協会	日本漢字能力検定	1級	準1級	2級	準2級
(公財) 色彩検定協会	色彩検定			1級	2級
(公財) 日本生態系協会	2級こども環境管理士		合格		
ABOUT芸術と遊び創造協会	おもちゃインストラクター				合格
全国体験活動指導者認定委員会自然体験活動部会	自然体験活動指導者(NEALリーダー)			合格	
(一社) 幼児教育・保育英語検定協会	幼保英語検定				3級
(公財) ライフスポーツ財団	キッズスポーツインストラクター(ミドルインストラクター)				合格
(公財) 日本レクリエーション協会	レクリエーションインストラクター資格			合格	
(公財) 日本バラスポーツ協会	障がい者スポーツ指導者				初級
(株) ベネッセコーポレーション	Literas論理言語力検定			1級	
(一社) 全国スーパーマーケット協会	S検(スーパーマーケット検定) 流通用語入門講習			合格	
	S検(スーパーマーケット検定) 食品表示入門講習				
	S検(スーパーマーケット検定) 食品安全衛生入門講習				

マイクロソフトオフィススペシャリストについては、WordとExcelの2科目に合格した場合に支給
S検については、流通用語入門講習、食品表示入門講習、食品安全衛生入門講習のすべてに合格した場合に支給。

受講・受験について

- ・講習・検定の日程は主催団体が決定します。講習・検定の日程が本学の実習の日程と重なる場合は、受講・受験ができません。
- ・講習・検定は定員が定められている場合があります。定員により講習・検定を受講・受験できないことがあります。
- ・主催団体の都合で講習・検定が実施されない場合、受講・受験ができません。

新島学園短期大学科目等履修生規程

(趣旨)

第1条 この規程は、新島学園短期大学学則（以下「学則」という。）第39条第3項の規定に基づき、科目等履修生について必要な事項を定めるものとする。

(資格)

第2条 科目等履修生として志願することができる者は、学則第13条に規定する入学資格がある者とする。

(出願手続)

第3条 科目等履修生として志願する者は、所定の期日までに検定料を添え、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 科目等履修生願書
- (2) 科目等履修生検定料納入書
- (3) 最終学校卒業証明書
- (4) その他学長が必要と認める書類

(履修許可)

第4条 科目等履修生として志願する者に対しては、新島学園短期大学の教育に支障がない限りにおいて、学長が必要と認めた教職員が書類審査、面接により選考を行い、教授会の意見を参考にして、学長が履修を許可する。

(履修手続)

第5条 履修を許可された者は、所定の期日までに学則第23条の別表第1、同第2に規定する受講料等を納めなければならない。

- 2 学長は、前項の手続を完了した者に対して、科目等履修生証を交付する。
- 3 納入した受講料等は返付しない。

(受入れの時期及び期間)

第6条 科目等履修生の受入時期は、学期始めとし、履修の期間は半年以内とする。

(単位の付与)

第7条 科目等履修生は、履修した科目の定期試験を受験することができる。

2 科目等履修生が履修した科目の試験に合格した場合は単位を認定し、成績・単位修得証明書を交付する。

(履修単位数の上限及び履修対象授業科目)

第8条 科目等履修生として履修できる単位数の上限は、半期12単位までとする。

- 2 履修対象授業科目は、当該年度に開講する授業科目とする。

(準用)

第9条 この規程に定めるもののほか、学則その他学生に関する諸規程は、原則として科目等履修生について準用する。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会の意見を参考にして、学長が行う。

附 則

この規程は、2025年2月10日から施行する。

新島学園短期大学学友会 会則

(目的)

第1条 この会則は、新島学園短期大学学友会（以下「学友会」という。）の組織の構成及び運営を明確にし、学友会の適正かつ円滑な運営を図ることを目的とする。

(下部組織及び構成員)

第2条 学友会の下部組織として、各クラブ・同好会の長で組織する部長会、各ゼミ長で組織する代議委員会を設置し、部長会及び代議委員会の構成員により、学友会を構成する。各会の運営については、別に定める。

(会費)

第3条 学友会費（10,000円）は、第1年次学費と同時に徴収する。

(役員)

第4条 学友会は、下記の役員を置く。

- (1) 会長1人
- (2) 副会長2人
- (3) 書記2人
- (4) 会計2人
- (5) 会計監査2人

2 会長が、学友会を招集し、運営する。会長に事故がある場合は、この限りではない。

(役割)

第5条 学友会は、当該年度の下記の事項について審議する。

- (1) 予算・決算に関する事
- (2) クラブ援助金に関する事
- (3) 卒業記念品の決定に関する事
- (4) 卒業記念パーティに関する事
- (5) 同窓会幹事に関する事
- (6) その他必要な事項

2 学友会役員の2年次生は卒業後、新島学園短期大学同窓会幹事に就任する。

(総会)

第6条 総会は会長が招集し、原則として年2回開く。ただし、会長が必要と認める場合はこの限りではない。

(議案)

第7条 議案は会長が提案する。

2 会長は、担当学生に議案を説明させることができる。

(その他)

第8条 その他必要な事項はその都度、学生委員会で審議する。

(改廃)

第9条 この会則の改廃は、学生委員会の議を経て、学生部長が行う。

附 則

この会則は、2014年4月1日から施行する。

新島学園短期大学 部長会内規

(目的)

第1条 この内規は、新島学園短期大学部長会（以下「部長会」という。）を円滑に実施するため、「新島学園短期大学 学友会会則」第2条に基づき、必要な事項について定める。

(構成員)

第2条 部長会は、各クラブの部長により構成する。

(役員)

第3条 部長会は、下記のとおり役員を置く。

- (1) 議長1人
- (2) 副議長1人
- (3) 書記1人
- (4) 会計1人

2 議長が、部長会を招集し、運営する。議長に事故がある場合は、この限りではない。

(会議)

第4条 構成員は、年6回行われる部長会に出席しなければならない。出席できない場合は、代理人を選定し、代理人が出席しなければならない。また、部長会は下記のとおり開催・審議する。

- (1) 3月…クラブリーダー研修会
- (2) 5月…クラブ援助金申請、会員名簿・年間活動予定表等提出
- (3) 6月…夏期予定連絡
- (4) 9月…予算変更・裏祭について
- (5) 12月…決算報告書類説明
- (6) 1月…クラブ援助金決算報告

2 上記の他、部長会として必要な事項を審議する

(提出書類)

第5条 各クラブの部長は、所定の用紙に当該年度の会員名簿、年間行事予定表、クラブ援助金申請書、コーチ名等を所定の期日までに学務課へ届出なければならない。

2 届出締切から書類提出の請求を3回受けてもなお書類を提出しないクラブについては、当該年度の学内での活動を禁止する。

(クラブ援助金の支給)

第6条 クラブ援助金は、当該年度のクラブから申請された書類に基づき、部長会及び学友会において審議の上、支給する。また、申請書類の提出がないクラブ及び第4条第1項第1号、第2号及び第6号部長会への出席がないクラブに対して、当該年度の援助金は支給しない。

(クラブ援助金の返還)

第7条 下記の一つに該当する場合は、クラブ援助金の全額あるいは一部を返還しなければならない。

(1) 当該年度末までに、清算できなかったとき。

(2) 決算報告書類に不備があるとき。

(3) 第4条第1項第1号、第2号及び第6号部長会への出席がなく、学生委員会から返還請求があったとき。この場合は、顧問の責任において、一月以内に遅滞なく支給された援助金の全額を返還しなければならない。

(4) クラブ援助金が返還されないクラブに対して、学生委員会は審議の上、当該クラブを廃止することができる。

(5) その他学生委員会が認めたとき。

(その他)

第8条 その他必要な事項はその都度、学生委員会で審議する。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、学生委員会の審議を経て、学生部長が行う。

附 則

この内規は、2014年4月1日から施行する。

新島学園短期大学 代議委員会内規

(目的)

第1条 この内規は、新島学園短期大学代議委員会（以下「代議委員会」という。）を円滑に実施するため、「新島学園短期大学 学友会会則」第2条に基づき、必要な事項について定め

る。

(構成員)

第2条 代議委員会は、各ゼミのゼミ長及び副ゼミ長により構成する。

(役員)

第3条 代議員会は、下記のとおり役員を置く。

(1) 議長1人

(2) 副議長1人

(3) 書記2人

2 議長が、代議委員会を招集し、運営する。議長に事故がある場合は、この限りではない。

(会議)

第4条 構成員は、代議委員会に出席しなければならない。出席できない場合は、代理人を選定し、代理人が出席しなければならない。

(審議)

第5条 学友会会則第5条第1項に記載する事項について審議する。

2 議案は、議長が提案する。

3 議長は、担当学生に議案を説明させることができる。

(その他)

第6条 その他必要な事項はその都度、学生委員会で審議する。

(改廃)

第7条 この内規の改廃は、学生委員会の審議を経て、学生部長が行う。

附 則

この内規は、2014年4月1日から施行する。

新島学園短期大学 クラブ・同好会・サークル内規

1. 結成

クラブ・同好会・サークルは同好者5名以上をもって結成することができる。

クラブ・同好会・サークルの結成には（イ）団体名、（ロ）顧問教員、（ハ）設立の目的、（ニ）規約、（ホ）会員名簿、（ヘ）年間計画表、（ト）主な活動場所 を明らかにし、学務課に願い出る。学生委員会で審議の上、学長が決定、教授会で報告する。
また、学長はそのうちいくつかを本学指定クラブとすることができる。

2. 顧問

クラブ・同好会・サークルには本学専任教員の顧問をおく。

顧問はクラブ・同好会・サークルの活動内容を把握し、指導監督にあたる。

顧問は1人の教員が2つまで引き受けることができる。

顧問料は1つのクラブ・同好会・サークルにつき年間10,000円とする。

3. 外部講師・コーチ

外部講師・コーチを依頼する場合、新年度提出書類にて申請した者に限り許可する。

指導料は年間30,000円とする。

ただし、本学指定クラブについてはこの限りではない。

4. 援助金

援助金は5月の書類提出時点で存在しているクラブ・同好会・サークルを対象に支給する。援助

金は部長会予算委員会で審議の後、学友会総会を経て学友会から支給する。

援助金で部員個人の持ち物を購入することは認めない。

援助金は新年度提出書類にて申請する。

申請した物以外を購入した場合、金額に関わらず援助金全額を返金しなければならない。

本学指定クラブについてはこの限りではない。

5. 部長会

部長は年間で計画されている部長会へ出席しなくてはならない。

部長自ら出席出来ない場合は、代理の者の出席を許可する。

6. 書類提出

部長は定められた期日までに各種書類を提出しなければならない。

7. 廃止

下記いずれかに当てはまる場合、存続について学生委員会で審議の上、学長が決定、教授会で報告する。ただし、本学指定クラブについてはこの限りではない。

①部長会に無断欠席した場合

②やむを得ない理由なく、書類の提出期限が守れなかった場合

③1年間活動がなかった場合

④5月の書類提出時点で5名以上集まらなかった場合

⑤本学の学則に違反し、又は学生の本分に反する行為等があった場合

8. その他

その他必要なことは、その都度学生委員会で審議する。

9. 内規の改廃

内規の改廃については、学生委員会で審議の上、学長が決定、教授会で報告する。

10. 附則

2019年4月1日 から施行

2022年7月1日 改正

新島学園短期大学 指定クラブ内規

1. 目的

新島学園短期大学は建学の精神の育成と課外活動の活性化を目的として、「新島学園短期大学指定クラブ」を置く。当該クラブに所属する学生は勉学と部活動の両立に励み、大学行事や運営等に貢献する。

2. 対象

ソフトボール部、聖歌隊、吹奏楽部

3. 活動支援金

学友会からの援助金とは別に、学外での活動について次のとおり父母の会総会を経て父母の会より支援される。

- 1) ソフトボール部 大会参加登録費、交通費・宿泊費（関東大会等は半額、全国大会は全額）
- 2) 聖歌隊・吹奏楽部 交通費・宿泊費（半額）

4. 正課授業と課外活動

正課授業を最優先とする。

5. 指導体制

当該クラブは「新島学園短期大学 クラブ・同好会・サークル内規」で定められている外部講師・コーチ（指導料 年間30,000円）以外に指導者を大学から委嘱することがある。

6. 指定と解除

学長は当該クラブの指定、解除について決定権をもつ。

7. その他

その他必要なことは、その都度学生委員会で審議する。

8. 内規の改廃

内規の改廃については、学生委員会で審議の上、学長が決定、教授会で報告する。

9. 附則

この内規は2022年7月1日から施行する。

附則

この内規は2025年4月1日から施行する。（奨学金制度変更に伴う改正）

新島学園短期大学ソーシャルメディア・ポリシー

新島学園短期大学は、ソーシャルメディアを有意義に活用するため、ソーシャルメディア・ポリシーを策定しました。

ソーシャルメディアとは、Facebook、Instagram、LINE、X（旧 Twitter）、TikTok、ブログ、電子掲示板などのインターネットを通じてコミュニケーションするデジタル・メディアや、YouTube やニコニコ動画などの動画投稿サイトなどのメディアの総称です。これらと同様の機能をもつ新しく生み出されたコミュニケーション・メディアを含みます。本ポリシーは、新島学園短期大学の公式ソーシャルメディアの運用ルールや、教職員や学生のソーシャルメディア利用に関して定めたものです。

新島学園短期大学のソーシャルメディア・ポリシーは、以下の3つからなります。

- ・公式ソーシャルメディアの運用ガイドライン
- ・教職員のソーシャルメディア利用のガイドライン
- ・学生のソーシャルメディア利用のガイドライン

1. 新島学園短期大学の公式ソーシャルメディアの運用ガイドライン

新島学園短期大学が運営する公式ソーシャルメディアの運用については、下記のガイドラインに基づいて運用します。以下に定める新島学園短期大学の公式ソーシャルメディアに対して、下記のような情報が掲載された場合には削除を行うことがあります。

- (1) 新島学園短期大学の活動・情報に関係しない内容
- (2) 誹謗中傷や第三者の権利を侵害する情報
- (3) 個人情報を含む情報
- (4) 違法な情報や猥褻な内容を含む情報
- (5) 権利が保護されているソフトウェアの無許可でのアップロード、リンク
- (6) コンピュータウイルスを含むファイルへのリンク
- (7) 建設的な議論を妨げる内容
- (8) なりすまし、虚偽の内容詐称やミスリーディング
- (9) スパム行為
- (10) 政治的な広告・宣伝・勧誘に関する情報
- (11) その他、大学が不適切と判断した情報

■新島学園短期大学の公式ソーシャルメディア一覧■

新島学園短期大学が運営する公式ソーシャルメディアは下記の通りです。これ以外のものは公式サイトではありませんので、ご注意ください。

- ・Facebook
「新島学園短期大学 Facebook ページ」
URL <https://www.facebook.com/NiijimaGakuenJuniorCollege/>
- ・Instagram
「新島学園短期大学 Instagram アカウント」
URL <https://www.instagram.com/niijimagakuenjuniorcollege/>
- ・LINE
「新島学園短期大学 LINE 受験生応援アカウント」
URL <https://page.line.me/lag7959z>

- ・ X (旧 Twitter)
「新島学園短期大学・広報プロジェクト」
URL https://twitter.com/niitan_nyushi

- ・ TikTok
「新島学園短期大学」
URL <https://www.tiktok.com/@niitan1983>

2. 教職員のソーシャルメディア利用のガイドライン

新島学園短期大学は、教職員の職務上のソーシャルメディアの利用に関して、また個人的、私的なソーシャルメディアの利用に関して以下のようなガイドラインを設置します。ガイドラインを遵守すべき「教職員」は、新島学園短期大学に所属する者をいいます。

(1) 表現の自由

新島学園短期大学は、ソーシャルメディアにおける教職員の職務上及び私生活における表現の自由を尊重します。ただし、社会におけるさまざまな法令、ルール、マナーを遵守し、公序良俗に反しないことを前提とします。

(2) 法令等の遵守

ソーシャルメディアの利用にあたっては日本国の法令のみでなく、諸外国の法令や国際法規も遵守してください。特に、著作権や他者の名誉権、肖像権、財産権などの権利を侵害しないよう、心がけてください。学校法人新島学園就業規則などの学内規則も遵守してください。

(3) 人権の尊重

ソーシャルメディアの利用では、利用者一人ひとりの人権を尊重し、異なる意見や考え方を尊重したコミュニケーションを心がけてください。

(4) 正確な情報

教育機関に属するものとして、ソーシャルメディアでは、正確な情報を発信し、伝聞や推測に基づく不確かな情報や、虚偽情報、欺瞞^{きまん}情報を伝達して社会を混乱させ、迷惑をかけないように注意してください。

(5) 発言の責任

ソーシャルメディアでは、匿名で発言したとしても、技術的に発言者を特定することができます。ソーシャルメディアで発言する際には、教職員として新島学園短期大学の名誉を汚さない、良識ある発言を心がけ、情報発信や発言に個人としての責任をもってください。また、ソーシャルメディアにおいて、新島学園短期大学の教職員であることを明らかにした上でコミュニケーションする場合には、自身の発言、行動が新島学園短期大学の意見・見解を代表、代弁するものではないことがわかるよう注意してください。

(6) 守秘義務・機密情報の取扱

ソーシャルメディアにおいて、職務上で知り得た守秘義務のある情報を発信したり公開しないでください。教育や研究上で知り得た機密情報や個人情報についても公開しないよう心がけてください。これは「公益通報者保護法」に基づく情報発信を妨げるものではありません。

(7) その他

教職員が、新島学園短期大学の授業やサークル活動などでソーシャルメディアを活用する際にも、上記のガイドラインに準じます。新島学園短期大学の名前を使用する際には十分に注意してください。

3. 学生のソーシャルメディア利用のガイドライン

新島学園短期大学は、学生の個人的、私的なソーシャルメディアの利用に関して以下のようなガイドラインを設置します。

(1) 表現の自由

新島学園短期大学は、ソーシャルメディアにおける学生の表現の自由を尊重します。ただし、社会におけるさまざまな法令、ルール、マナーを遵守し、公序良俗に反しないことを前提とします。

(2) 法令等の遵守

ソーシャルメディアの利用にあたっては日本国の法令のみでなく、諸外国の法令や国際法規も遵守してください。特に、著作権や他者の名誉権、肖像権、財産権などの権利を侵害しないよう、心がけてください。新島学園短期大学の学則などの学内規則も遵守してください。他にも特に下記のような情報発信は行わないよう注意を払ってください。

- ① 犯罪行為に結びつく行為、またはその恐れのある行為に関する発信
- ② 暴力的、わいせつな有害情報やそれらの描写が含まれる情報の発信
- ③ 公職選挙法など政治的活動における違反行為に関する発信
- ④ 詐欺などの悪質な商的行為に関する情報の発信
- ⑤ カルト教団や団体への過度な勧誘に関する発信
- ⑥ 差別的、攻撃的な言動で他者に対して不快な思いをさせるような発信
- ⑦ 虚偽の個人情報や、なりすまし等により他人の情報を提供するような発信

(3) 人権の尊重

ソーシャルメディアの利用では、利用者一人ひとりの人権を尊重し、異なる意見や考え方を尊重したコミュニケーションを心がけてください。

(4) 正確な情報

ソーシャルメディアでは、正確な情報を発信し、伝聞や推測に基づく不確かな情報や、虚偽情報、欺瞞情報を伝達して社会を混乱させ、迷惑をかけないように注意してください。

(5) 発言の責任

ソーシャルメディアで発言する際には、新島学園短期大学の学生として大学の名誉を汚さない、良識ある発言を心がけ、情報発信や発言に個人としての責任をもってください。新島学園短期大学の学生であることを公表して発言する場合には、自身の発言が新島学園短期大学のイメージに影響を及ぼすことを自覚してください。またソーシャルメディアでは、匿名で発言したとしても、技術的に発言者を特定することができます。匿名で発言した場合でも、発言の責任が発生することを自覚してください。

(6) 守秘義務・機密情報の取扱

ソーシャルメディアにおいて、大学の活動上で知り得た守秘義務のある情報を発信したり公開しないでください。大学で知り得た機密情報や個人情報についても公開しないよう心がけてください。

(7) 自身の個人情報とプライバシー保護

ネット上の情報は第三者によって収集され、様々な活動に利用されることがあります。ソーシャルメディアの利用については、自身の個人情報の登録、プロフィール公開について十分注意してください。

(8) その他

学生が、新島学園短期大学の授業やサークル活動などでソーシャルメディアを活用する際にも、上記のガイドラインに準じます。新島学園短期大学の名前を使用する際には十分に注意してください。

新島学園短期大学における「生成系 AI の利用」について

現在、急速に発展している「生成系 AI」は、社会のあらゆる場面で、その活用が進められており、様々な分野での貢献も期待されています。但し、収集された膨大なデータの扱いなどが不明瞭となっているため、生成物の信頼性・信憑性には、まだ多くの疑問が残されています。

本学における「生成系 AI」の使用・対応については、教育研究機関として、一定の価値や課題の存在を認めつつ、学生の学修活動を進めるに当たって、下記の留意事項を理解の上、進めたいと考えています。

記

- (1) 生成系 AI への入力情報が、意図せずに流出・漏洩する可能性があります。そのため、個人情報や研究上・業務上の機密情報等は入力しないでください。
- (2) 生成系 AI により生成された文章や画像等の取扱いは、著作権等の観点から十分に慎重を期することが必要です。
- (3) 生成系 AI により生成された文章、翻訳、質問応答等には、精度の高い情報から明らかな誤りや盗作などもあり、全てが信頼できる情報とは限りません。利用に当たっては正しく検証するスキルや倫理的問題も理解しなければなりません。
- (4) 学生が学びのために生成系 AI を使用する際には、誰もが使い得る道具であることから、得られた情報にはオリジナリティがないことを承知で使用する必要があります。

以上の事から、本学では、今後も引き続き生成系 AI の利用については、検討を進めて参ります。なお、生成系 AI の使用の可否やその程度については、授業担当教員の指導方針や成績評価方針などに関係しているため、各教員の指示に従ってください。

以上